

平成28年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への

応用に関する研究調査事業

## 報告書

平成29年 3月

千葉大学



# 目次

要約 .....	1
1. 背景と目的、本事業の課題の設定.....	1
2. 指標設定のフレームワークの検討.....	2
3. 地域診断指標の再検討 .....	3
(1) 指標の階層化の考え方 .....	3
4. 横浜市でのアンケート調査と分析 .....	3
(1) 調査概要 .....	3
(2) コア指標間の相関について .....	3
5. 介護予防プロセス評価指標の検討.....	4
6. まとめ.....	5
<b>1章. 先行研究のレビュー(これまでの到達点と課題) .....</b>	<b>6</b>
1. 「見える化」とマネジメントサイクルについて.....	6
(1) 「見える化」のねらいとマネジメントサイクル.....	6
(2) これまで開発してきた「見える化」システム.....	7
(3) 社会参加と介護予防効果の関係についての分析例.....	9
(4) 課題発見から実践に結びついた事例 .....	10
(5) 保険者・市町村職員による評価 .....	11
2. 課題と今年度調査の方針.....	12
(1) 課題の抽出方法.....	12
(2) 保険者の担当職員から出された意見 .....	12
(3) 既存データの分析から見えてきた課題.....	13
(4) 抽出された課題.....	17
(5) 第1回委員会で提示された方針 .....	18
<b>2章. 指標設定のフレームワークの検討 .....</b>	<b>19</b>
1. 指標設定のフレームワークについて .....	19
(1) フレームワーク.....	19
(2) フレームワークと今年度調査.....	20
<b>3章. 地域診断指標の再検討 .....</b>	<b>21</b>
1. 今年度の検討.....	21
(1) 指標の階層化 .....	21
(2) インタビュー .....	21

2.	指標の階層化.....	21
(1)	指標の階層化の考え方.....	21
(2)	フレームワークも考慮した上での階層化.....	22
(3)	階層化と指標検討のための文献調査.....	24
(4)	地域診断指標リスト.....	30
3.	インタビュー調査.....	32
(1)	インタビュー調査の概要.....	32
(2)	インタビュー結果の要約.....	33
4.	インタビュー及び検討会等が出た意見を踏まえた方針.....	36
<b>4章.</b>	<b>横浜市でのアンケート調査と分析.....</b>	<b>37</b>
1.	調査概要.....	37
2.	調査結果の概要.....	37
3.	コア指標間の関連について.....	38
4.	地域診断指標に関する今後の課題について.....	42
<b>5章.</b>	<b>介護予防プロセス評価指標の検討.....</b>	<b>43</b>
1.	背景と本検討の位置づけ.....	43
2.	介護予防の効果発現を多角的に確認する方法の必要性.....	44
(1)	プロセス指標の検討.....	44
(2)	アウトカム指標の検討.....	45
(3)	まとめ.....	47
3.	介護予防プロセスの指標リスト.....	48
<b>6章.</b>	<b>資料編.....</b>	<b>49</b>
1.	(巻末資料1)第1回委員会概要.....	49
2.	(巻末資料2)第2回委員会概要.....	52
3.	(巻末資料3)第1～3回ワーキンググループ議事概要.....	55
4.	(巻末資料4)要支援・要介護リスク評価尺度.....	59
5.	(巻末資料5)地域診断指標の計算方法等.....	62
6.	(巻末資料6)横浜市でのアンケート調査の記述統計.....	72

## 図表リスト

図表 1 「見える化」による「課題設定」と「手がかりの発見」マネジメントサイクル	6
図表 2 地域診断書のイメージ	7
図表 3 シングルマップのイメージ	8
図表 4 ダブルマップのイメージ	8
図表 5 スポーツ組織への参加と転倒歴	9
図表 6 A 地区での介護予防事業「お寄りませ」に至る経過	10
図表 7 「ベンチマークシステムが課題の発見に役立つか？」への保険者職員による回答	11
図表 8 過年度調査における 35 指標	12
図表 9 6 つの評価基準	13
図表 10 認定率と要介護リスク	14
図表 11 運動器／認知機能低下と社会参加・社会経済的要因	15
図表 12 地域単位ごとの地域関連マトリックス	16
図表 13 体操等の拠点数と要支援・要介護認定率との相関	17
図表 14 課題と対応方針	18
図表 15 政策評価指標群のフレームワーク	19
図表 16 政策評価指標群のフレームワークと「介護予防プロセス評価指標」「地域診断指標」	20
図表 17 コア指標、重要指標、参照指標の選定基準	21
図表 18 指標群の階層化(2017)	22
図表 19 地域診断指標検討のための文献調査フロー	24
図表 20 地域診断指標検討のための文献リスト	26
図表 21 地域診断指標	30
図表 22 本調査事業で実施したインタビュー等	32
図表 23 旧地域診断指標の指標に対する行政職員の評価	34
図表 24 地域診断指標の改訂方針	36
図表 25 調査事業計画書	37
図表 26 JAGES2016 横浜市の調査実施状況	37
図表 27 趣味の会参加者割合とうつ割合	38
図表 28 コア指標間の相関(前期高齢者)	40
図表 29 コア指標間の相関(後期高齢者)	41
図表 30 政策評価指標群のフレームワークと「介護予防プロセス評価指標」	43
図表 31 要介護認定率を最終アウトカム指標にすることにより生じる課題	45
図表 32 介護予防プロセス評価指標	48
図表 33 介護予防の評価尺度(合成指標)の開発	59
図表 34 要介護リスク評価尺度と介護・医療費	60



# 要約

## 1. 背景と目的、本事業の課題の設定

これまで、JAGES(日本老年学的評価研究)プロジェクトでは、約 30 市町村を対象に、地域診断指標を集計し、それを WEB 上の地図で比較できるようにしてきた<sup>1</sup>。本調査事業は、それを改善することにより、市町村担当者が介護予防にかかる事業評価とその改善に効果的、効率的に取り組めるようにするため、従来の地域診断指標群の課題を抽出し、指標群のフレームワークなどを見直すと同時に、データ収集を行って、指標の妥当性の検証を行うことを目的とした。

課題の抽出は、2 つの方法で行った。一つは、今までの保険者との共同研究会等で出された意見、もう一つは、既存データの分析から見えてきた課題である。それらを整理すると、少なくとも以下の 3 つの課題が抽出された。

### 課題1: 指標の数が多すぎること

「見える化」システム<sup>2</sup>に掲載された指標の数が多く、「どの順番でどの指標を見れば分からない」といった意見があった。

### 課題2: 妥当性の検証が不十分

予想される相関が見られないものがあることが判明した。例えば、認知症機能低下が多い市町村で要介護認定率が高いという相関がみられなかった。

### 課題3: 課題把握の後のアクションが見えてこないこと

指標が業務マネジメントのフレームワーク(PDCA 等)に沿って構造化されていないことから、指標等を見ることで課題があきらかになったとしても、行政職員としてどのように分析しアクションをとればいいかが、分からないという意見があった。

以上の 3 つの課題を受けて本調査事業では、市町村担当者が介護予防にかかる事業評価とその改善に効果的、効率的に取り組むため、地域診断指標群のフレームワークや指標群の見直しをすると共に、データ収集を行ってコア指標の妥当性の検証を行った。

図表 A 課題と対応方針

課題1に対応した方針	・指標設定のフレームワークの検討(2章) ・地域診断指標群の再検討(3章) ・指標の階層化(3章)
課題2に対応した方針	・横浜市でのアンケート調査と分析(4章)
課題3に対応した方針	・介護予防プロセス評価指標の検討(5章)

<sup>1</sup> JAGES-HEART(Health Equity Assessment and Response Tool) 2013-2014 による「見える化」

<sup>2</sup> Instant Atlas™によるもの。

## 2. 指標設定のフレームワークの検討

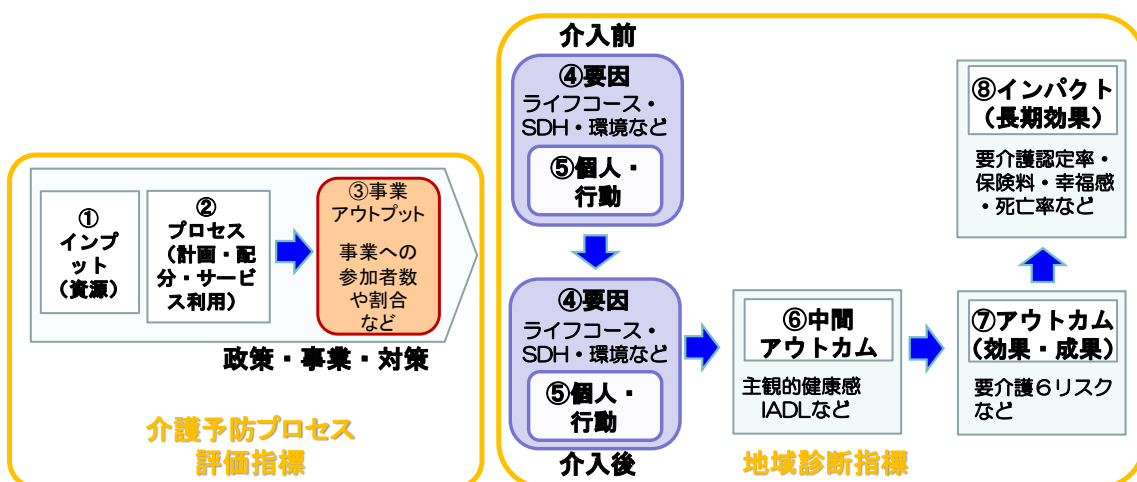
保険者間や保険者内の日常生活圏域間で、指標を比較するだけでは、課題は抽出できたとしても具体的な実践(アクション)には結び付きにくく、PDCA サイクルが回るまでには至らない可能性がある。そこで、PDCA サイクルを意識したフレームワーク(枠組み)が必要と考えられ、本検討では、以下のようなフレームワークを検討した。

フレームワークには、Donabedian の医療の質の 3 要素<sup>3</sup>に対応した①インプット、②プロセス、⑦アウトカムに、③事業アウトプット、④要因、⑤個人・行動を加えた<sup>4</sup>。また、介護予防事業の評価のために要介護認定率だけを見ることは、不適とする意見があったことから、要介護認定率は⑧インパクト(長期効果)として位置づけ、⑦アウトカムには要介護6リスクなどを設定し、⑥中間アウトカムを含むフレームワークを作成した(下図表)。

本調査事業では、このフレームワークに基づき最終的に以下の二つの指標群を作成した。一つ目の指標群は「地域診断指標」である。これは、主に、これまで、JAGES が改良を重ねてきた「見える化」システムに表示するための指標群であり、保険者の恣意性を排除すべく高齢者調査データから作成する定量的な指標で構成されている。

二つ目の指標群は「介護予防プロセス評価指標」である。これは、保険者が各保険者の介護予防事業において、適切に PDCA 等のマネジメントが行われ効果が出ているかを把握するためのものであり、保険者の自己評価による定性的な指標も含まれている。

図表 B 政策評価指標群のフレームワークと「介護予防プロセス評価指標」「地域診断指標」



<sup>3</sup> Donabedian, A., "Evaluating the Quality of Medical Care." Milbank Memorial Fund Quarterly 44 (1966):166-203

<sup>4</sup> ④は特に、地域の環境に関する要因を示しており、近隣に公園があるか否かといった要因から、地域に趣味やスポーツの組織があるか否か、また、地域住民間の信頼感などといった要因を示している。⑤には個人の所得や教育年数などが含まれる。



### 3. 地域診断指標の再検討

#### (1) 指標の階層化の考え方

保険者が「見える化」システムを利用する際に、指標を3つのグループ(コア指標、重要指標、参照指標)に階層化することとした。コア・重要・参照指標それぞれについて以下の定義とし地域診断指標群を作成した(p21)。

**図表 C コア指標、重要指標、参照指標の選定基準**

	選定基準	利用目的
<b>コア指標</b>	6つの評価基準をすべて満たすもの。	地域診断の第1段階で全体状況を把握する
<b>重要指標</b>	6つの評価基準の多くを満たすもの。	以下を選択的に利用する <b>中間アウトカム・インパクト分析用</b> > コア指標の良し悪しの要因を分析する際に有用な指標 <b>短期対策検討用</b> > 課題とした指標を改善するための対策やその短期効果検証用の指標 <b>長期対策検討用</b> > 死亡率や幸福感など、介護予防と並んで重要なアウトカム等の指標
<b>参照指標</b>	6つの評価基準のうち、一部のみ満たすもの。	関連要因の分析時に参照する

### 4. 横浜市でのアンケート調査と分析

#### (1) 調査概要

新たな地域診断書に載せる指標作成と妥当性検証に必要なデータを収集するために、横浜市で介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(以下、ニーズ調査)の拡充版を実施した。

**図表 D JAGES2016 横浜市の調査実施状況**

調査対象者数(発送数)	20,700
回収数	15,045
回収率	72.7%
白票数	9
個票データ票数(白票を除いた回収数)	15,036
個票データ回収率	72.6%

#### (2) コア指標間の相関について

上記データを用いて、コア指標間の相関を前期高齢者と後期高齢者に層化した集計値を得てピアソンの相関係数を算出した。前期高齢者および後期高齢者の集計値の両方において、ほとんどの指標の間で有意な相関が見られ、特に「スポーツの会への参加者割合」や「趣味の会への参加者割合」と、うつや認知症のリスク指標との相関がみられ一定の妥当性があることが確認された(p39)。

## 5. 介護予防プロセス評価指標の検討

平成 28 年 11 月 25 日に出された「介護保険制度の見直しに関する意見(素案)」によれば、自立支援や介護予防に向けた様々な取り組みを推進するため、財政面においても、市町村や都道府県に対するインセンティブを設けることが検討されている。

このような背景も踏まえ本調査事業では介護予防プロセスとアウトカムを評価する指標を<sup>5</sup>検討した。

プロセス指標等は約 15 指標を試作し、委員会や自治体職員向けインタビュー等で意見を頂いた。「定性的なので把握の際に恣意的にならないか」「保険者の努力のみで決まらないのではないか」「(自治体の)介護保険部局の努力だけで達成できないのではないか」などの意見が出された。

**図表 E 要介護認定率をアウトカム指標にすることにより生じる課題**

保険者による恣意的操作の可能性
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ いわゆる「水際作戦」と呼ばれるもので、認定審査会等における認定の一連のプロセスにおいて保険者が独自ルール等により、要介護認定自体の基準を厳しくするもの。</li> <li>➤ 保険者が、介護給付や予防給付サービスを利用しようとする申請者に対して、それ以外のサービスを利用者に紹介するもの。</li> </ul>
介護予防事業による操作可能性への疑問の余地
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 保険者としても、「これをやれば必ず要介護認定率が下がる」という方法が分からないため、介護予防事業を要介護認定率だけで評価されることに抵抗があると考えられる。</li> <li>➤ 保険者が、介護予防事業により実際に要介護認定率を下げたという根拠は、特にポピュレーション戦略による介入研究では限られており、方法論が確立されているとは言い難い<sup>6</sup>。</li> </ul>

<sup>5</sup> 第二回検討会に介護予防プロセス評価指標の素案を提示し、委員のアドバイスを受けた上で、本調査事業における最終案を示した。

<sup>6</sup> サロン参加により要介護認定を受ける確率が下がったことを示した論文として、以下がある。

Hikichi H, Kondo N, Kondo K, Aida J, Takeda T, & Kawachi I Effect of community intervention program promoting social interactions on functional disability prevention for older adults: propensity score matching and instrumental variable analyses, JAGES Taketoyo study. J Epidemiol Community Health 2015; 0: 1-6.

また、サロン参加が非参加者と比較し主観的健康感に好影響があったことを示した論文として、以下がある。

Ichida Y, Hirai H, Kondo K, Kawachi I, Takeda T, & Endo H Does social participation improve self-rated health in the older population? A quasi-experimental intervention study. Social science & medicine 2013; 94: 83-90.

そのため、介護予防の効果発現を多角的に確認するアウトカム指標等として、以下を含めることが妥当という意見が多かった。

- 6つの要介護リスク
- 基本チェックリストの虚弱
- 要支援・要介護リスク評価尺度によるリスク点数

以上を踏まえ、介護予防プロセス評価指標を検討した(p48)。

## 6. まとめ

---

フレームワークを作成し、それぞれに該当する指標群を再検討し3階層に分けた。横浜市で約1.5万人からデータ回収し(回収率72.6%)、コア指標間の相関を検討した。

その結果、一部のコア指標間に相関を認めたものの、一部には相関を認めなかった。今後さらなる検討が必要と思われる。

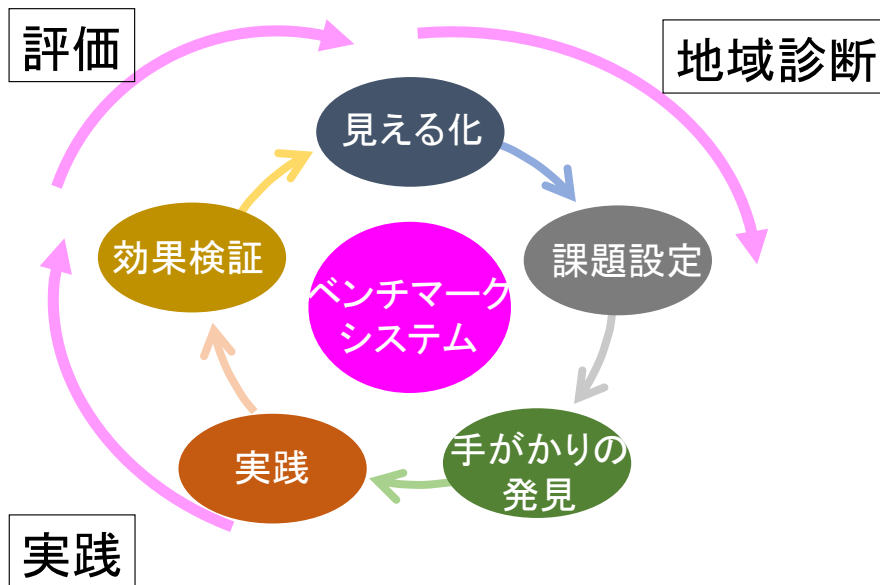
# 1章. 先行研究のレビュー（これまでの到達点と課題）

## 1. 「見える化」とマネジメントサイクルについて

### (1) 「見える化」のねらいとマネジメントサイクル

これまで、JAGES プロジェクトでは、30 の自治体で実施したアンケート調査の結果を指標毎に市町村や生活圏域で集計し、それを WEB 上の地図で視覚的に比較できるように表示してきた（JAGES-HEART2013-2014 による「見える化」）。その考え方の背景には、「見える化」により保険者等の「課題設定」から「手がかりの発見」がより円滑になり、「実践」につながるであろうというマネジメントサイクルのモデルがある（下図表）。

図表 1 「見える化」による「課題設定」と「手がかりの発見」マネジメントサイクル



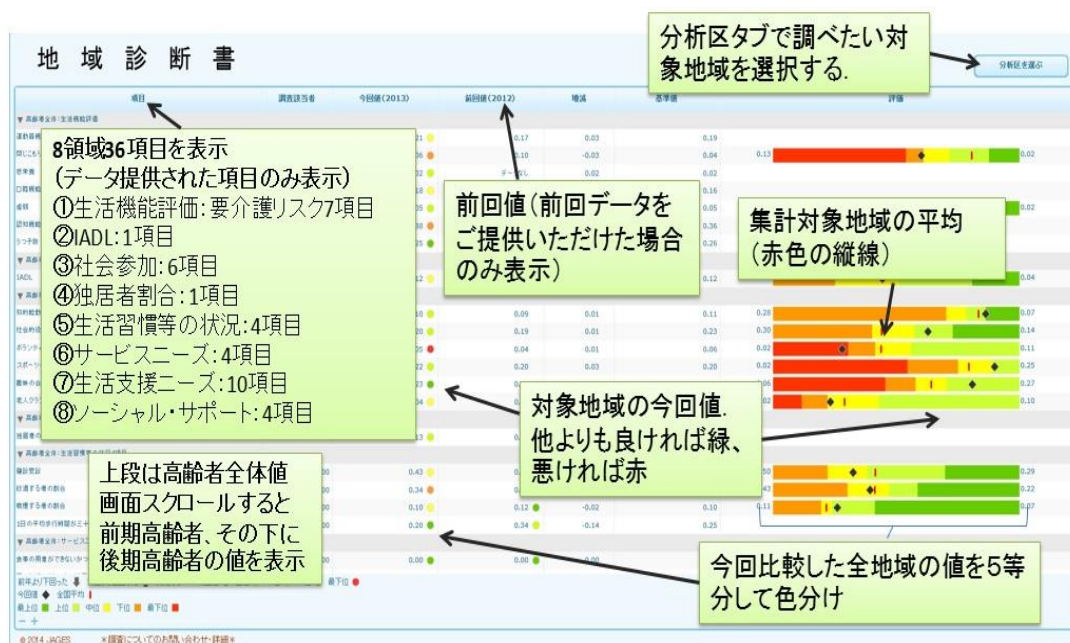
## (2) これまで開発してきた「見える化」システム

これまで、地域マネジメントを支援するシステムとして以下を Web マップにより作成してきた。Web マップを利用することで、多くの指標の地図やグラフをそれぞれ作成する必要は無くなり、Web 上で指標を切り替えることで、各指標に対する地図やグラフを表示できる。また、端末に依存せず、インターネット上のホームページと同様に誰もがアクセスが可能であることから、関係者の間での情報共有に有用である。

### ① 地域診断書

JAGES プロジェクトでは地域診断指標を「見える化」したものを「地域診断書」と呼んでいる。今回値や前回値、また他の対象地域と比べた良悪の相対的位置が分かるようになっており、この地域診断書によって、事業評価やどの項目を優先するかなど、戦略的な地域政策を立案することに活用できる。

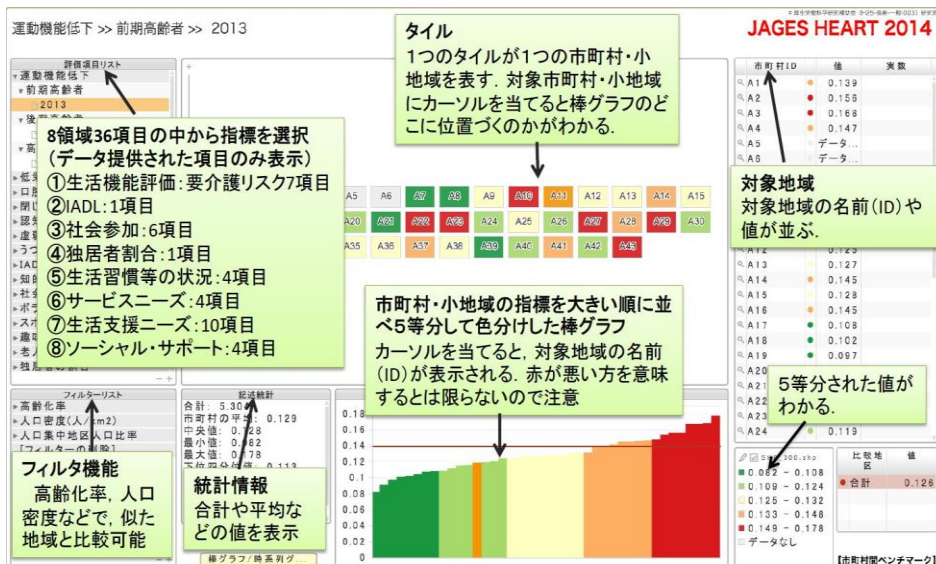
図表 2 地域診断書のイメージ



## ② シングルマップ

評価したい指標が、他の参加市町村や小地域と比較して、どれ位多い(少ない)のか、相対的位置が分かる。指標は「前期高齢者」「後期高齢者」「高齢者全体」の中から、いずれかを選択できる。

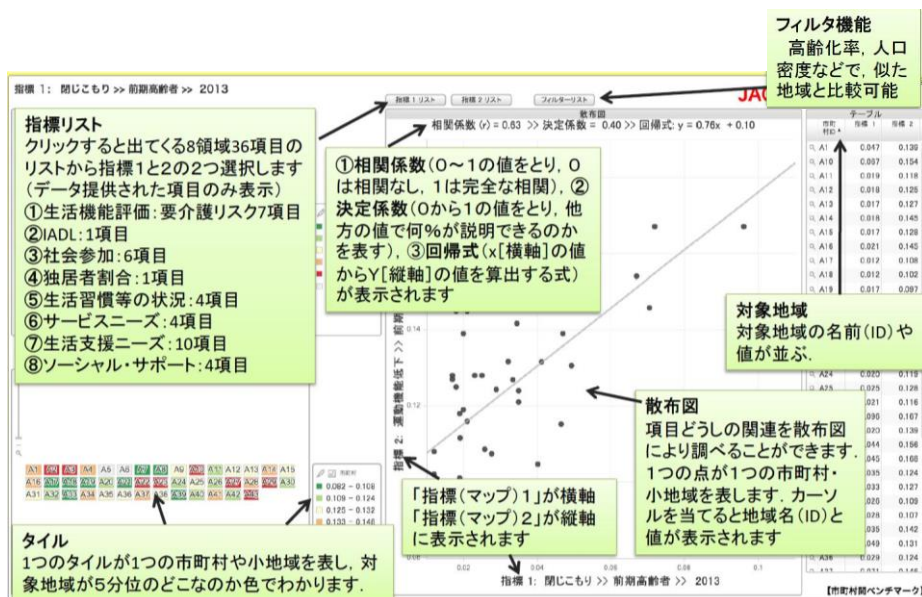
図表 3 シングルマップのイメージ



## ③ ダブルマップ

選択した2指標間の関連を散布図で見る事が出来る。相関係数なども表示される。

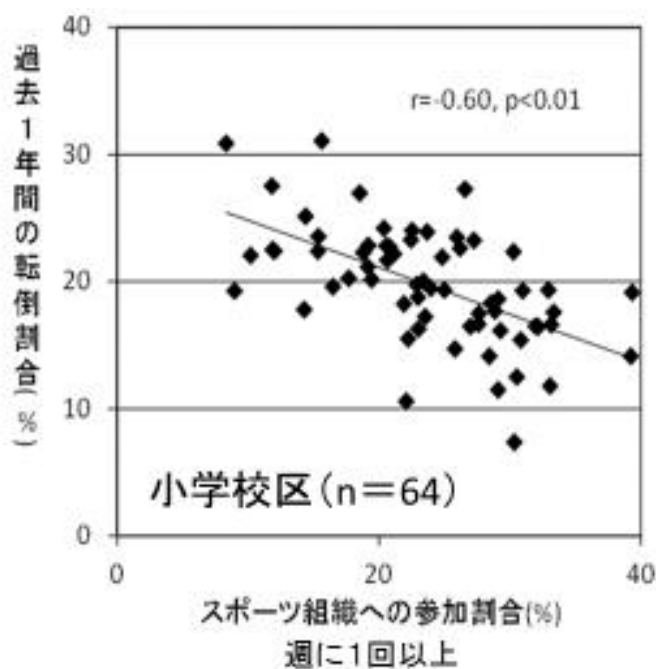
図表 4 ダブルマップのイメージ



### (3) 社会参加と介護予防効果の関係についての分析例

JAGES では「実践」につながる「課題」や「手がかり」を明らかにするために、様々な分析が実施されてきた。例えば、JAGES の 9 自治体分のデータを利用して、前期高齢者を対象に小学校区単位で集計し、相関を見たところ、スポーツ関係・ボランティア・趣味関係のグループ等の地域組織への参加割合が高い地域ほど、認知症や転倒やうつリスクが低い傾向がみられた<sup>7</sup>。

図表 5 スポーツ組織への参加と転倒歴

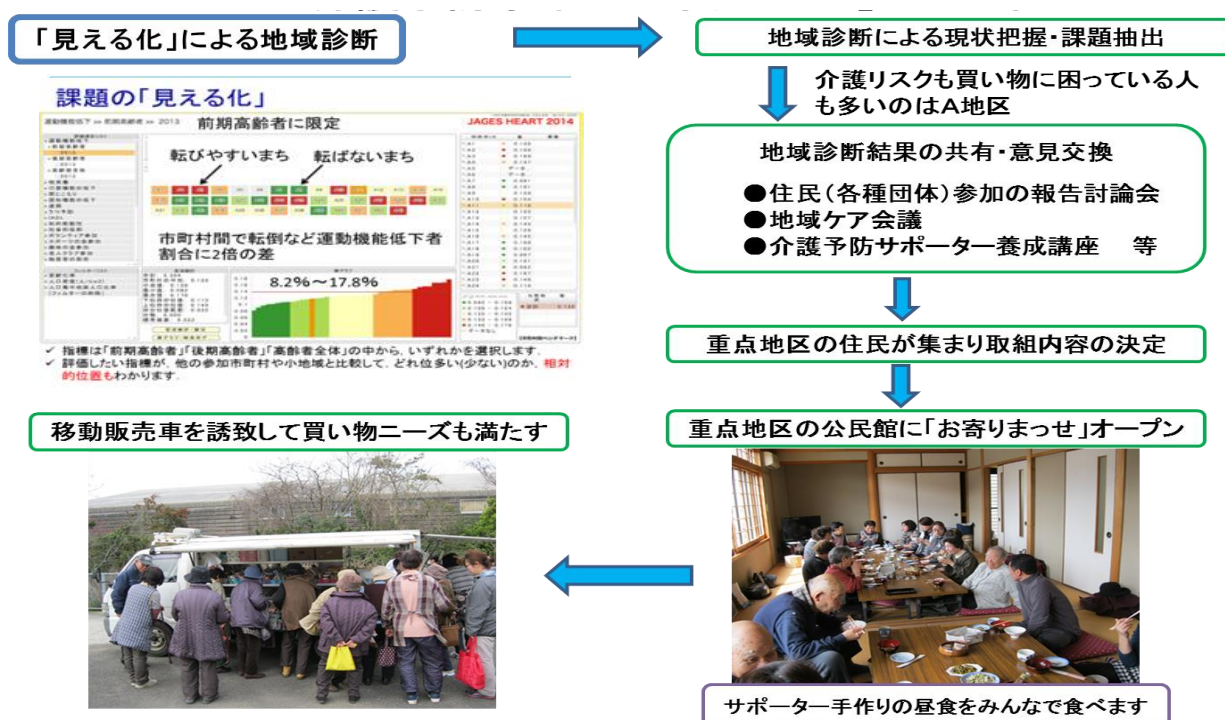


<sup>7</sup> 林・近藤ほか「転倒者が少ない地域はあるか：地域間格差と関連要因の検討：JAGES プロジェクト」厚生指標 61(7), 1-7, 2014-07

#### (4) 課題発見から実践に結びつけた事例

JAGES 調査自治体である松浦市では「見える化」による地域診断により、介護リスクも買い物に困っている人が A 地区で多いことが明らかになり、地域住民の間でその結果を共有したことで、実際に公民館に「お寄りませ」というサロンが開設された<sup>8</sup>。その他、兵庫県神戸市<sup>9</sup>、愛知県半田市<sup>10</sup>、北海道余市市<sup>11</sup>などでも「見える化」を地域で行ったところ、課題発見につながり、さらに改善に向けた取り組みが進んだ。JAGES では、このような事例が蓄積されてきている。

図表 6 A 地区での介護予防事業「お寄りませ」に至る経過



<sup>8</sup> 山谷麻由美、近藤克則、近藤尚己、荒木典子、藤原晴美：長崎県松浦市における地域診断支援ツールを活用した高齢者サロンの展開：JAGES プロジェクト。日本公衆衛生雑誌 第63巻 第9号：578-585, 2016

<sup>9</sup> 芦田登代、近藤尚己、近藤克則：介護予防の優先順位づけのためのデータ可視化ツールの開発。厚生指標 63: 7-13, 2016

<sup>10</sup> 中村廣隆、小嶋雅代、村田千代栄：住民主体の介護予防に向けた取り組み・地域課題の共有するワークショップを通して。東海公衆衛生雑誌 4: 55-59, 2016

<sup>11</sup> 岡田 栄、杉田 恵、櫻木 正, et al.：福祉の現場から 地域包括ケアシステム構築のための地域診断活用支援プログラム開発の試み。地域ケアリング 18: 56-60, 2016

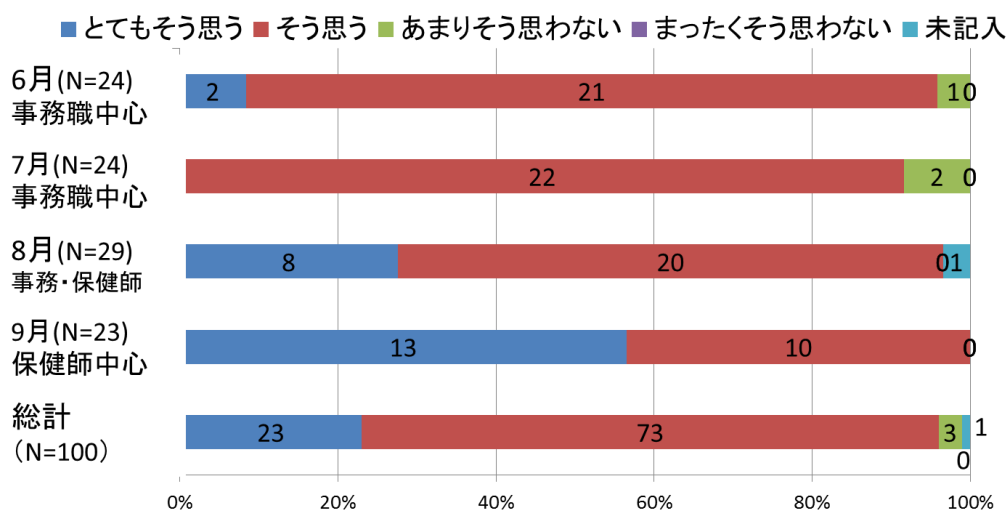


## (5) 保険者・市町村職員による評価

JAGES による調査は主に介護保険事業計画を作成する前年、3 年おきに実施され、介護保険事業計画を作成する年度の前半には、JAGES 参加保険者が集まり、共同研究会を実施してきた。その中で、上述の(1)～(4)を説明した上で、ベンチマークシステムが「課題の発見」に役立つか、4 回の共同研究会に参加した保険者・市町村職員 延べ 100 人に尋ねたところ、大部分が「とてもそう思う」「そう思う」と回答し、一定の評価が得られた<sup>12</sup>。しかし、いくつかの課題も挙げられた(詳細は後述)。

**図表 7 「ベンチマークシステムが課題の発見に役立つか？」への保険者職員による回答**

質問. ベンチマークは、①現状の見える化、②課題の発見、③改善の手がかりを得ることなどを目的としています。今回の経験から、それぞれの目的に役立つと思われましたか？



(資料)JAGES 事務局「保険者説明会資料」2014 年 10 月

<sup>12</sup>平成 25 年度老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業)「日常生活圏域ニーズ調査データを活用した地域診断支援システムの開発に関する調査研究事業」報告書。

## 2. 課題と今年度調査の方針

### (1) 課題の抽出方法

JAGES HEART 改良のための課題の抽出は、2つの方法で行った。一つは、平成25年度に日本福祉大学により実施された調査事業<sup>13</sup>(以下、「過年度調査」)や今までの保険者との共同研究会で保険者の担当職員から出された意見、もう一つは、既存データの分析から見えてきた課題である。

### (2) 保険者の担当職員から出された意見

過年度調査では、地域診断のための35指標(下図表)が検討された。

図表 8 過年度調査における35指標

<b>介護予防ニーズ(生活機能評価)</b> 1) 運動器機能低下 2) 低栄養 3) 口腔機能の低下 4) 閉じこもり 5) 認知機能の低下 6) 虚弱 7) うつ予防 <b>日常生活評価</b> 8) IADL <b>社会参加</b> 9) 知的能動性 10) 社会的役割 11) ボランティア参加 12) スポーツの会参加 13) 趣味の会参加 14) 老人クラブ参加 <b>その他</b> 15) 独居者の割合 <b>生活習慣等の状況</b> 16) 健康受診 17) 飲酒する者の割合 18) 喫煙する者の割合 19) 1日の平均歩行時間が三十分未満の者の割合	<b>サービスニーズ</b> 20) 食事の用意が出来ないかつ独居 21) 買い物が出来ないかつ独居 22) 借家率 23) 緊急通報サービス必要 <b>生活支援ニーズ</b> 24) 見守り 25) 配食 26) 外出支援 27) グリーフケアニーズ 28) 自治会活動 29) 生活基盤 30) 生活保護 31) 通院補助 <b>ソーシャルサポート</b> 32) 情緒的サポート受領 33) 情緒的サポート提供 34) 手段的サポート受領 35) 手段的サポート提供
--	--

これに対して出された主な意見には、以下のようなものがあった。「指標が多過ぎてどこから見て良いかわからない。」「少数の重要な指標だけをまずみたいが、どれが重要でどれが重要でないのかわからない。」「ある課題が問題だとわかっても、その原因をどのように分析し、それに対してどう対策を立てれば良いかわからない。」などである。

<sup>13</sup>平成25年度老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業)「日常生活圏域ニーズ調査データを活用した地域診断支援システムの開発に関する調査研究事業」報告書。

### (3) 既存データの分析から見えてきた課題

指標の評価については、尾島・JAGES(2014)<sup>14</sup>が提案する6つの評価基準の観点から、横浜市職員へインタビューを実施することで行われた。尾島・JAGES(2014)は、保険者や生活圏域をベンチマークする指標の評価項目を6つ示し、各指標がどの程度その基準を満たすべきか評価基準を示した。

- 正確性：信頼性と妥当性が高い
- 内容的代表性：評価しようとする概念の大きな部分を包含する
- 社会的受容性：行政・施設・国民等から受け入れられやすい
- 学術的重要性：機序から考えた重要性、学術的にみた新規性がある
- 介入可能性：一定期間の介入により変化させることができる
- 入手容易性：指標作成に必要なデータの入手が容易

図表9 6つの評価基準

<p><b>正確性：</b> 指標としての信頼性と妥当性からなる。信頼性とは、保険者間信頼性、(異時点間)再現性の高さであり、妥当性は測定したい対象を捉えている度合い ◎：信頼性・妥当性が共に高いもの ○：信頼性・妥当性が一定程度あるもの △：信頼性・妥当性にやや難があるもの ×：信頼性と妥当性に大きな問題があるもの</p> <p><b>内容的代表性：</b> 評価しようとする上位概念(フレームワーク上①～⑦)の要素の大きな部分を包含し、その概念を代表して捉えるのに相応しい度合い ◎：代表性の高いもの ○：ある程度の代表性があるもの △：代表性にやや難があるもの ×：代表性に問題があるもの</p> <p><b>社会的受容性：</b> 「社会」には、介護保険担当の行政職や施設の職員、議員やマスコミ、一般市民・国民などの立場が含まれる。その指標を用いることが受け入れられるか、その指標の意味がわかりやすいかなど、社会から広く受容されやすい度合い ◎：どの立場から見ても、受容性が高いもの ○：一部の立場ではあるが、受容性が高いもの △：一つ以上の立場から、その指標の使用に対しクレームなどが予想されるもの ×：多くの立場から、受け入れられないもの</p> <p><b>学術的重要性：</b> 学術的・科学的にみた新規性があること、また介護予防に向けての機序などを学術的・科学的に考えた際の価値や重要性の度合い ◎：学術的にみた新規性や重要性が高いもの ○：学術的にみた重要性が有る程度高いもの △：学術的にみた重要性が余り高くないもの ×：学術的にみた重要性がほとんどないもの</p> <p><b>介入可能性：</b> 自治体の政策決定者などの立場で考えた場合、3年程度の期間で介入により変化させることが可能であるかの度合い ◎：容易に介入が可能なもの ○：介入が有る程度可能なもの △：介入が難しいもの ×：介入が不可能と思われるもの</p> <p><b>入手容易性：</b> 指標作成に必要なデータ入手の容易性の度合い ◎：公表済みの既存統計等に存在するもの ○：未公表だが自治体内で既に把握、または実施済みのアンケート調査などで把握可能 △：今後のアンケート調査などを行えば入手可能と予想できるもの ×：入手可能性が未知数または入手困難なもの</p>
---

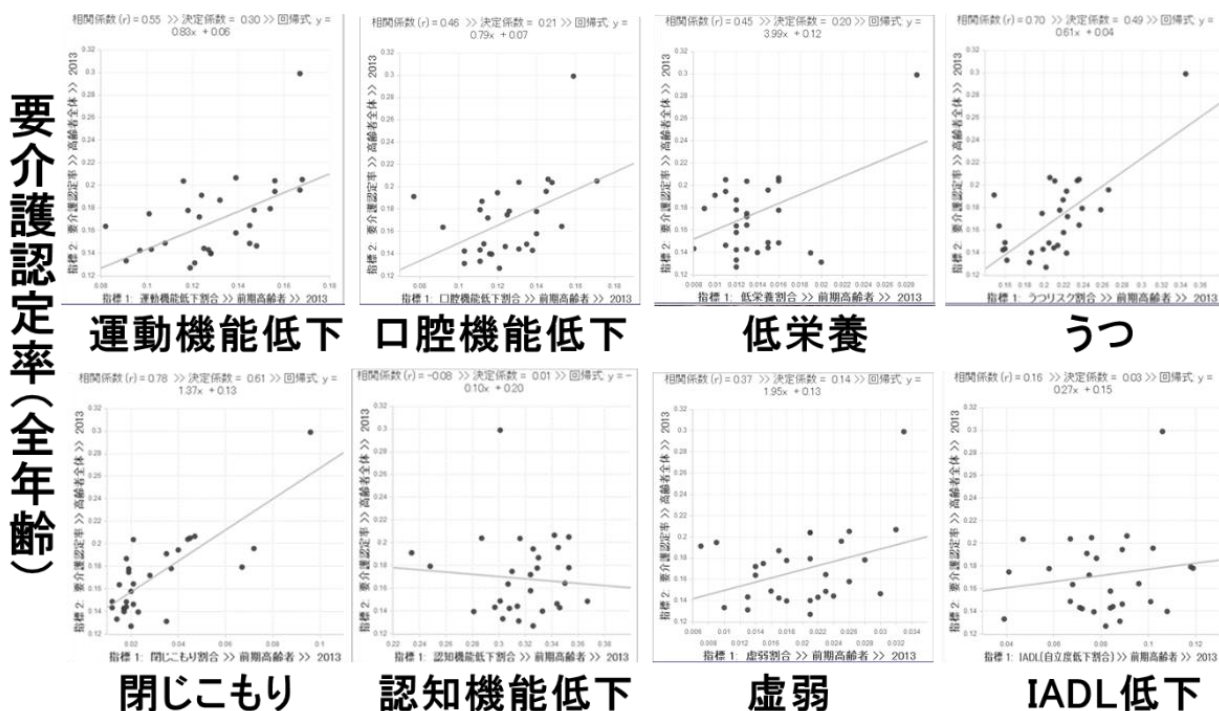
<sup>14</sup> 尾島・JAGES「Urban HEART」の枠組みを活用した介護予防ベンチマーク指標の開発」医療と社会, Vol.24 No.1, p.35-45, 2014.

これらの基準に照らして既存データを用いて分析を進めると、以下のような課題があることが明らかとなってきた。

① 要介護認定率と相関が見られなかった例、

6つの評価基準のうち、①正確性や②内容的代表性がある介護予防政策の立案のための指標であれば、要介護認定率との関連があることが期待される。しかし、要介護認定率（全年齢）とJAGES 2013データ（N=30市町村）から作成した要介護リスク指標（前期高齢者）との間の相関を見ると、認知機能低下（厚生労働省の基準）者割合と要介護認定率の間には相関は見られなかった。認知機能低下者割合という指標の妥当性あるいは内容的代表性が低い可能性がある。

図表 10 認定率と要介護リスク

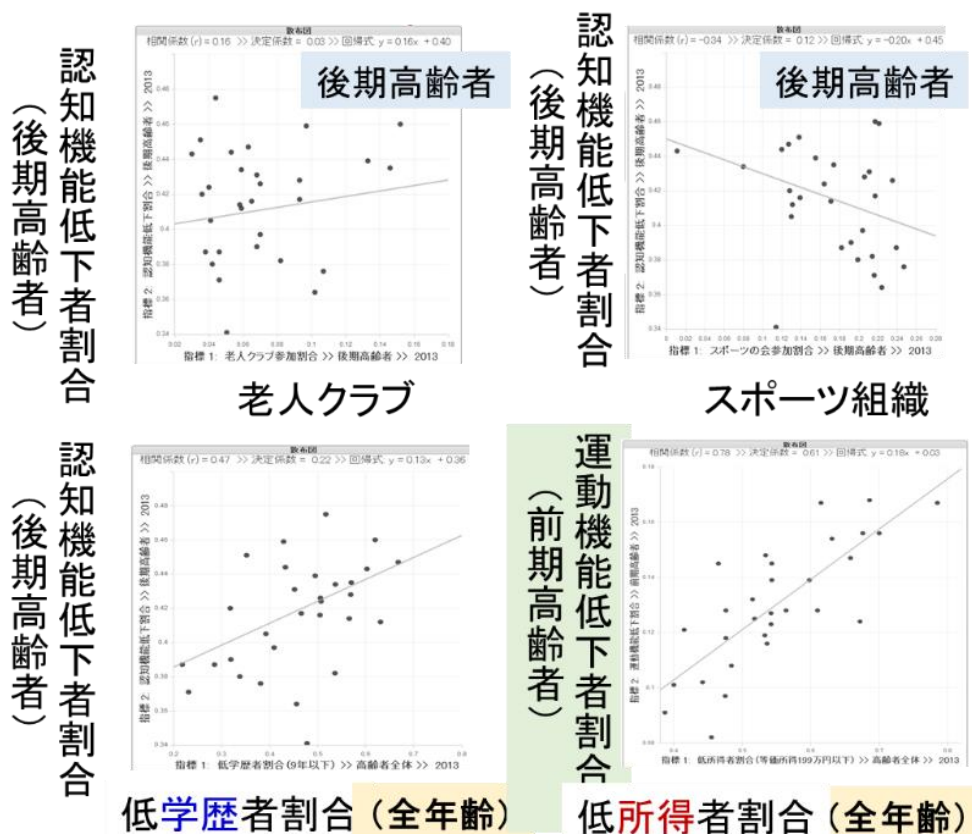


② 運動器／認知機能低下と社会参加・社会経済的要因

同じく JAGES 2013 データ (N=30 市町村) で分析すると、下図の上段に示すように認知機能低下者割合 (後期高齢者) はスポーツ組織参加者割合とは有意な負の相関を示すが、老人クラブ参加者割合との間には有意な関連は見られないなど、社会参加指標であっても、有意な相関を示すとは限らない (次節も参照)。

下図の下段に示すように、認知機能低下者割合 (後期高齢者) は教育年数が短い低学歴者割合 (全年齢) との間や運動機能低下者割合 (前期高齢者) と低所得者割合 (全年齢) との間に有意な相関を示すなど、社会経済的要因の重要性を示唆する所見が得られた。従来は、社会経済的要因は、介護保険施策では視野に入れられていなかったが、長期的な視点からは、考慮すべき要因である可能性が示された。

図表 11 運動器／認知機能低下と社会参加・社会経済的要因



③ 所見:地域単位ごとの地域相関マトリックス(前期高齢者) 要介護リスク該当率と社会参加率ー JAGES2013ー

社会参加先にもいろいろあり、地域診断のレベルにも小学校区から市町村レベルまであり、多数の要介護リスクがある。有意な相関が見られるのは、これらうち一部であることが示唆されたため、多くの組み合わせについて検討した結果を下に示す。表頭に、ボランティアからその他まで14種類の社会参加先について、2つの参加頻度(週1回、月1-3回)指標を並べた。表側には、小学校区から市町村レベルまで4つのレベル別に、10種類の要介護リスク指標を並べ、相関係数を示したものである。

社会参加の種類でも、その一部においてのみ、社会参加率が高いほど有意に要介護リスクが少ない相関が見られた。関連が見られない組み合わせだけでなく、社会参加率が高いほど要介護リスク者が多いことを示す相関係数も得られた。つまり、妥当性のある地域診断指標は、作成する指標の中のごく一部であり、縦断研究によって妥当性を検証する必要が示唆された。

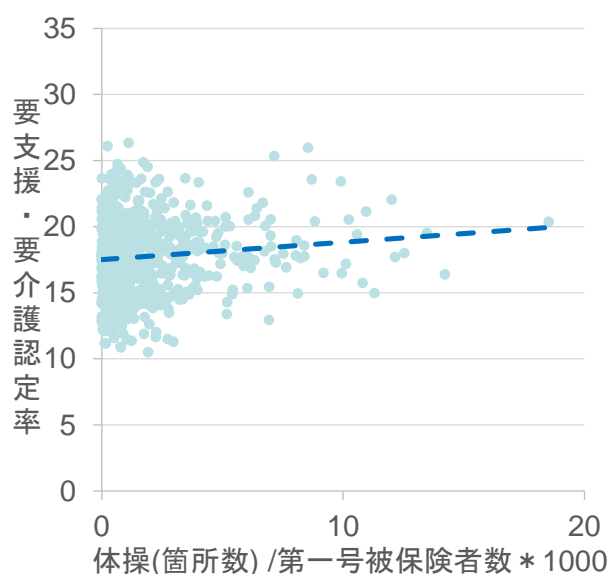
図表 12 地域単位ごとの地域相関マトリックス

	ボランティア		スポーツ		趣味		老人クラブ		町内会・自治会		学習・教養		介護予防・健康づくり		他者に伝えられる特技や経験を		地域行事		見守り支援		介護支援		子育て支援		月生活環境(美化)		その他				
	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回	週一回以上	月1-3回			
小学校区	生活機能低下																														
	運動機能低下	-0.107*	-0.229**	-0.164**	-0.202**	-0.119**																									
	低栄養																														
	口腔機能低下																														
	閉じこもり	-0.135**	-0.242**																												
	認知症低下	-0.111**	-0.164**	-0.091*	-0.175**	-0.155**																									
	うつ	-0.068*	-0.095*	-0.253**	-0.093*	-0.230**	-0.095*																								
	種苗数19本以下	-0.101**	-0.125**	-0.077*	-0.066*	-0.154**	-0.114**																								
	転倒	-0.105**	-0.223**	-0.140**	-0.181**	-0.152**																									
	GDS点以上	-0.110**	-0.277**	-0.180**	-0.244**	-0.173**																									
包括区	生活機能低下																														
	運動機能低下	-0.163**	-0.327**	-0.190**	-0.190**	-0.257**	-0.167**	-0.190**																							
	低栄養																														
	口腔機能低下	-0.247**	-0.259**	-0.115*	-0.198**																										
	閉じこもり																														
	認知症低下	-0.167**	-0.191**	-0.142*	-0.142*	-0.125*																									
	うつ	-0.203**	-0.116*	-0.435**	-0.231**	-0.438**	-0.195*																								
	種苗数19本以下																														
	転倒	-0.123*	-0.224**	-0.131*	-0.176**																										
	GDS点以上	-0.272**	-0.164**	-0.447**	-0.195**	-0.288**	-0.401**																								
市区町村	生活機能低下																														
	運動機能低下	-0.482**	-0.683**	-0.511**	-0.582**	-0.628**	-0.273*																								
	低栄養	-0.371**	-0.350**	-0.301**	-0.330**	-0.407**																									
	口腔機能低下	-0.184	-0.291*	-0.326**	-0.252*	-0.350**	-0.253*																								
	閉じこもり	-0.257*	-0.477**																												
	認知症低下	-0.204	-0.282*	-0.272*	-0.433**	-0.291*																									
	うつ	-0.336**	-0.319**	-0.433**	-0.411**	-0.355**	-0.476**																								
	種苗数19本以下	-0.310**	-0.369**	-0.369**	-0.291*	-0.344**	-0.295*																								
	転倒	-0.189	-0.397**	-0.486**	-0.256*	-0.441**																									
	GDS点以上	-0.373**	-0.329**	-0.495**	-0.341**	-0.412**	-0.393**																								
市町村	生活機能低下																														
	運動機能低下	-0.604**	-0.752**	-0.560**	-0.751**	-0.462*																									
	低栄養	-0.650**	-0.375*	-0.420*	-0.439**																										
	口腔機能低下																														
	閉じこもり	-0.583**	-0.722**	-0.484**	-0.759**	-0.453*																									
	認知症低下	-0.403**	-0.527**	-0.291*	-0.526**	-0.407*																									
	うつ	-0.511**	-0.716**	-0.481**	-0.657**	-0.447**																									
	種苗数19本以下	-0.577**	-0.608**	-0.650**	-0.487**	-0.507**																									
	転倒	-0.577**	-0.608**	-0.650**	-0.487**	-0.507**																									
	GDS点以上	-0.506**	-0.704**	-0.569**	-0.635**																										

#### ④ 所見の強さはデータに依存？

厚生労働省が公表しているデータを用いて、体操等の拠点数と要支援・要介護認定率との相関を分析したところ、拠点数が増えると要支援・要介護認定率が低下するという相関は見られなかった（下図表）。市町村が把握していない拠点があって、高齢者の行動を反映できていない可能性がある。JAGES で収集したデータによる同様の分析では有意な関連が見られたが、その際用いた指標は拠点数ではなく地区ごとのスポーツの会への参加者割合であった。

図表 13 体操等の拠点数と要支援・要介護認定率との相関



(資料)平松ら「「通いの場」の箇所数・利用者割合、社会参加者の割合と要支援・介護認定率の関連—介護保険者(市町村)単位の分析—」日本社会福祉学会 第64回秋季大会発表資料, 2016から一部抜粋・加筆修正  
平成26年度介護予防事業及び日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査及び、介護保険事業報告の要支援・要介護認定者データを利用

#### (4) 抽出された課題

以上のような過年度調査や保険者の担当職員から出された意見、既存データの分析から見てきた課題を整理すると、少なくとも以下の3つの課題が抽出できる。

##### 課題1: 指標の数が多すぎる

「見える化」システム<sup>15</sup>に掲載された指標の数は、保険者担当者にとっては多く見えてしまい、「どの順番でどの指標を見れば分からない」といった意見が多数あった。

<sup>15</sup> Instant Atlas™によるもの。

## 課題2:妥当性の検証が不十分

前回調査において、予想される相関が見られないものがあることが判明した。例えば、エリア間比較で下位にランキングされた地域の中には、認知症と関連性があるといわれる教育歴や所得がそれ程低くない地域もいくつか入っており、実感に合わないとの意見があった。

## 課題3:課題把握の後のアクションが見えてこないこと

指標が業務マネジメントのフレームワーク (PDCA 等) に沿って構造化されていないことから、アウトカムや中間アウトカム指標等を見ることで課題があきらかになったとしても、行政職員としてどのようなアクションをとればいいかが、分からないという意見があった。

### (5) 第1回委員会で提示された方針

以上の3つの課題を受けて本調査事業では、市町村担当者が介護予防にかかる事業評価とその改善に効果的、効率的に取り組むため、エビデンスデータ収集と地域診断指標群からなる簡便な地域診断書の作成等を目的とした。具体的には以下を行った。

図表 14 課題と対応方針

課題1に対応した方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・指標設定のフレームワークの検討(2章)</li><li>・地域診断指標群の再検討(3章)</li><li>・指標の階層化(3章)</li></ul>
課題2に対応した方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・横浜市でのアンケート調査と分析(4章)</li></ul>
課題3に対応した方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護予防プロセス評価指標の検討(5章)</li></ul>



## 2章. 指標設定のフレームワークの検討

### 1. 指標設定のフレームワークについて

#### (1) フレームワーク

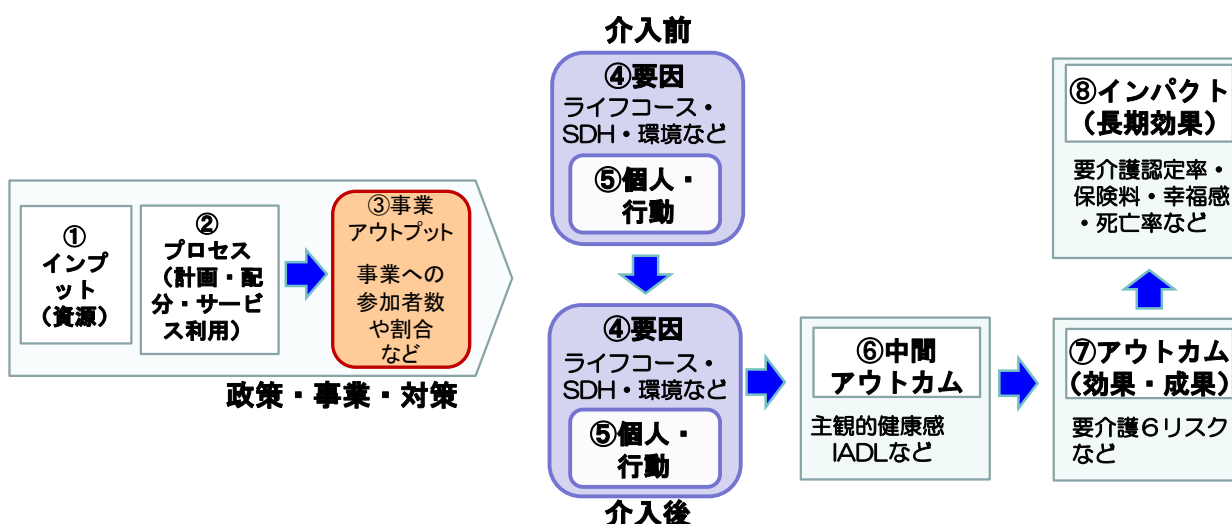
保険者や保険者内の生活圏域を、指標により比較するだけでは、課題は抽出できたとしても、具体的な実践(アクション)には結び付きにくく、PDCA サイクルが回るまでには至らない可能性がある。そこで、PDCA サイクルを意識したフレームワーク(枠組み)が必要と考えられ、本検討では、以下のようなフレームワークを作成した。

Donabedian は、医療の質の 3 要素は、structure(構造)、process(過程)、outcome(効果・成果)で決まると提唱した<sup>16</sup>。これに対応し、フレームワークには①インプット、②プロセス、⑦アウトカムを含めた(下図表)。

また、社会参加など健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health, SDH)に関する情報に対応するものとして④要因、⑤個人・行動も含めた。④は特に、地域の環境に関する要因を示しており、近隣に公園があるか否かといった要因から、地域に趣味やスポーツの組織があるか否か、また、地域住民間の信頼感などといった要因を示している。⑤には個人の所得や教育年数などが含まれる。

また、介護予防事業の評価のために要介護認定率だけを見ることには、後述する様々な理由により不十分であることから、要介護認定率は⑧インパクト(長期効果)として位置づけ、⑦アウトカムには要介護6リスクなどを設定した。

図表 15 政策評価指標群のフレームワーク



(注)SDH(Social Determinants of Health)健康の社会的決定要因

<sup>16</sup> Donabedian, A., "Evaluating the Quality of Medical Care." Milbank Memorial Fund Quarterly 44 (1966):166-203

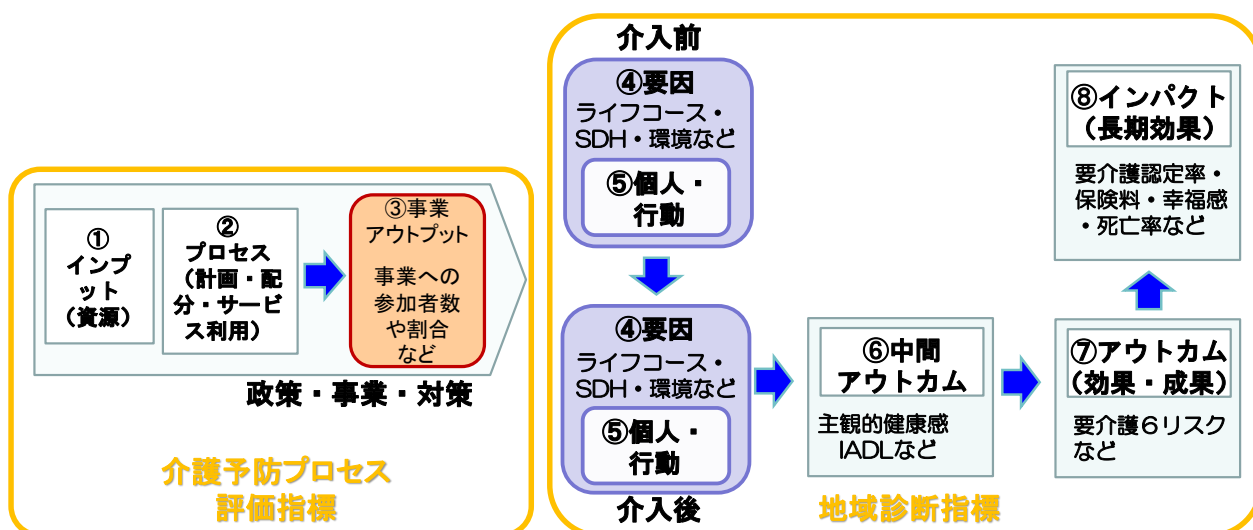
## (2) フレームワークと今年度調査

本調査事業では、上のフレームワークに基づき最終的に以下の二つの指標群を作成した。

一つ目の指標群は「地域診断指標」である。これは、主に、これまで、JAGES が改良を重ねてきた「見える化」システムに表示するための指標群であり、定量的な指標を中心に構成されており、「見える化」システムを利用する保険者が、保険者比較を行うことを主目的としている。フレームワーク上は、主に右側の指標が多い。

二つ目の指標群は「介護予防プロセス評価指標」である。これは、保険者が各保険者の介護予防事業において、適切に PDCA 等のマネジメントが行われ効果が出ているかを把握するためのものであり、定性的な指標も含まれている。保険者間比較よりは、保険者自らが経年でデータを取得し、PDCA 等によるマネジメントを行えるようにすることを主目的としている。フレームワーク上は、主に左側の指標が多い。

図表 16 政策評価指標群のフレームワークと「介護予防プロセス評価指標」「地域診断指標」



### 3章. 地域診断指標の再検討

#### 1. 今年度の検討

今年度は、上述した、指標が多すぎることや、どこから見るのかが分からない、といった課題を受け、以下の二つを行った。

##### (1) 指標の階層化

フレームワークに基づき、指標の階層化を行った。

##### (2) インタビュー

指標群について、実際にその指標群の案を保険者の担当者に見せた上で評価を得るためのインタビュー調査を実施し、それに基づき改善を行った。

#### 2. 指標の階層化

##### (1) 指標の階層化の考え方

本年度は、上の課題に対応する形で、保険者が少ないコア指標だけを使いたい場合などにも対応できるよう、各指標の妥当性や重要性を総合的に判断し、指標を3つのグループ(コア指標、重要指標、参照指標)に階層化することとした。その準備として、コア、重要、参照それぞれについて定義を検討し、以下のよう

図表 17 コア指標、重要指標、参照指標の選定基準

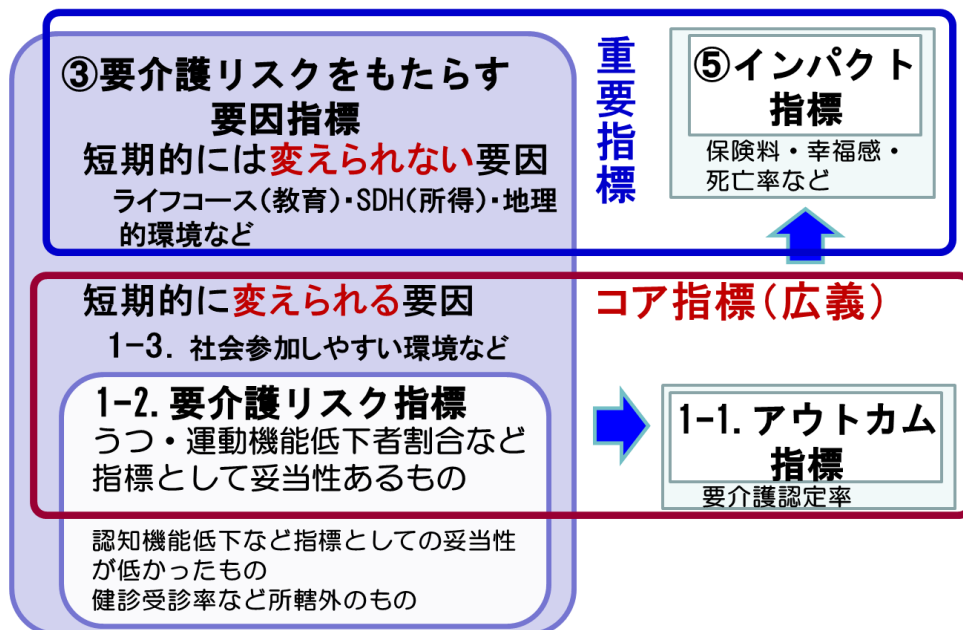
	選定基準	利用目的
<b>コア指標</b>	6つの評価基準をすべて満たすもの。	地域診断の第1段階で全体状況を把握する
<b>重要指標</b>	6つの評価基準の多くを満たすもの。	以下を選択的に利用する <b>中間アウトカム・インパクト分析用</b> ➢ コア指標の良し悪しの要因を分析する際に有用な指標 <b>短期対策検討用</b> ➢ 課題とした指標を改善するための対策やその短期効果検証用の指標 <b>長期対策検討用</b> ➢ 死亡率や幸福感など、介護予防と並んで重要なアウトカム等の指標
<b>参照指標</b>	6つの評価基準のうち、一部のみ満たすもの。	関連要因の分析時に参照する

(2) フレームワークも考慮した上での階層化

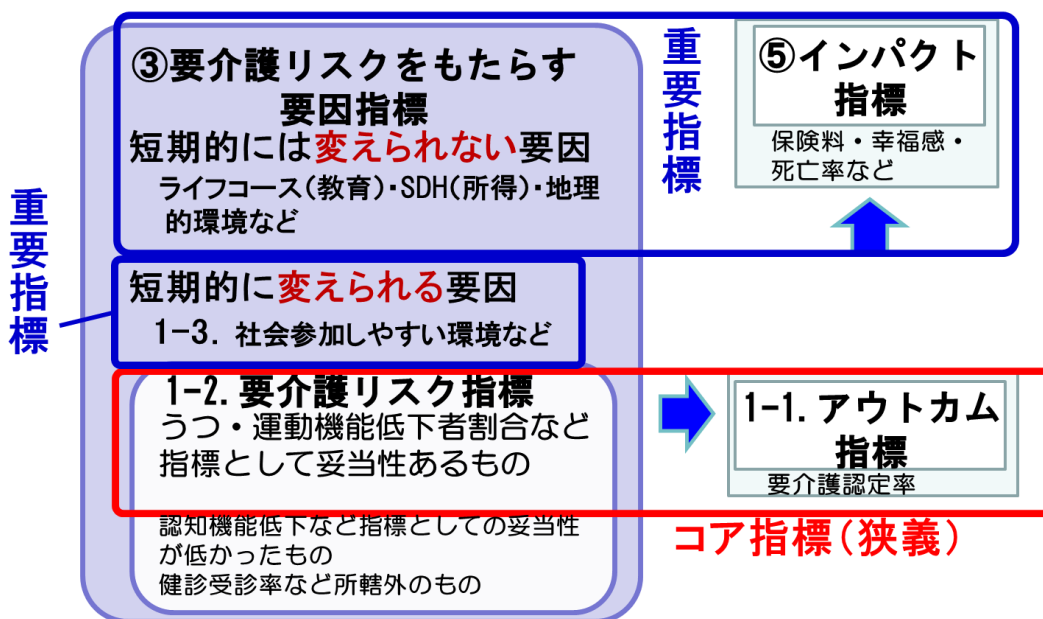
以下ではフレームワークとの関係を考えた上で、具体的な指標群の階層化の案を示した。図表中の「短期的に」とは数年を想定している。

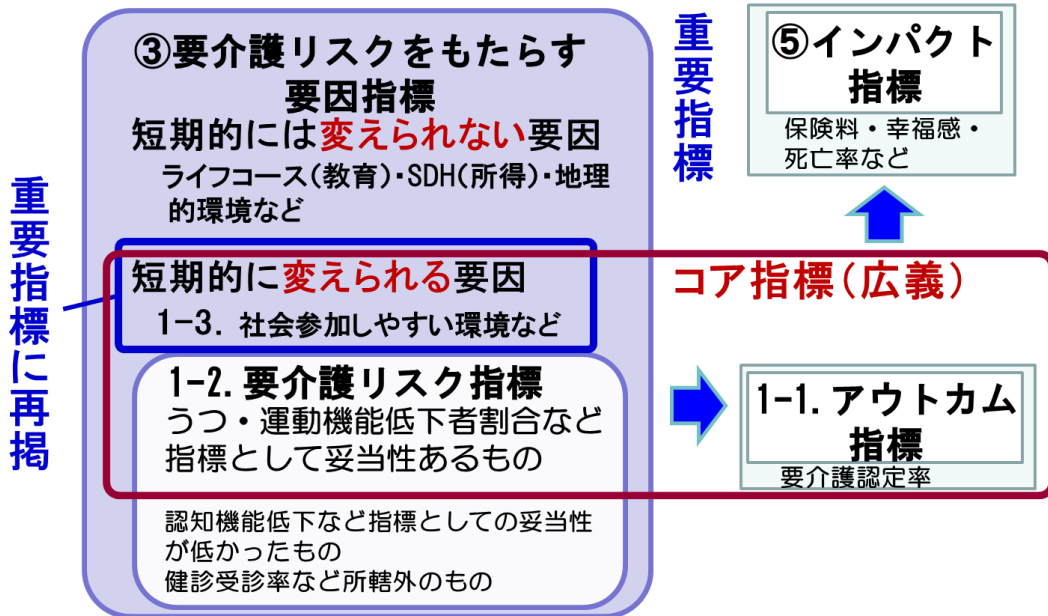
図表 18 指標群の階層化(2017)

A 案



B 案

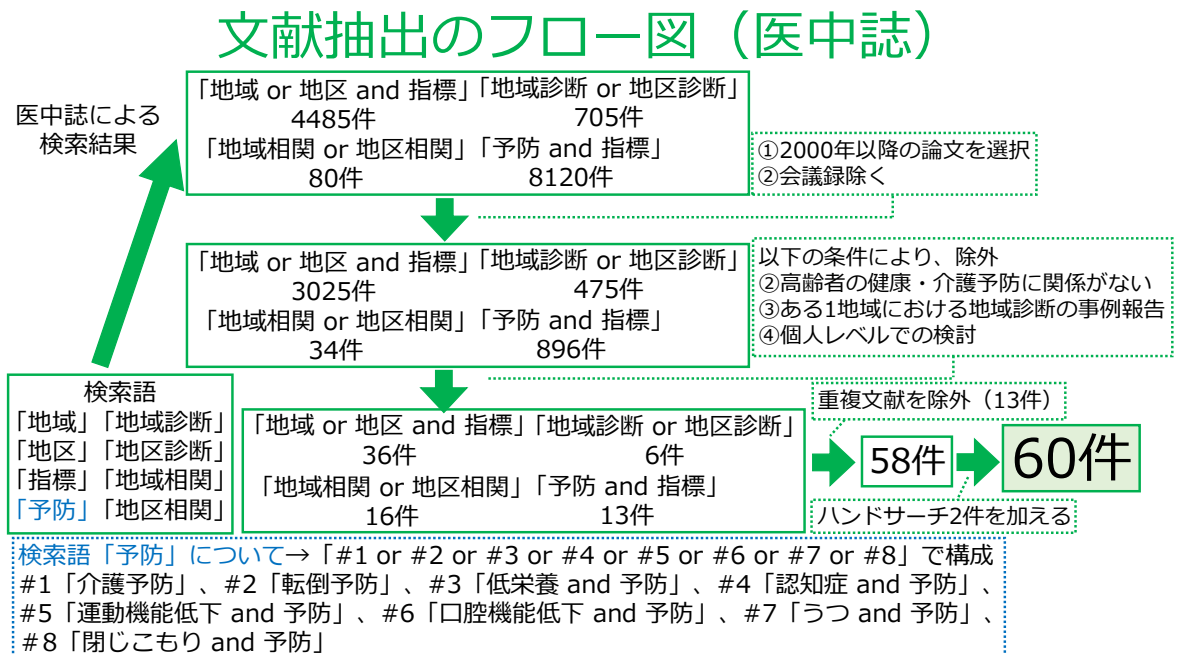
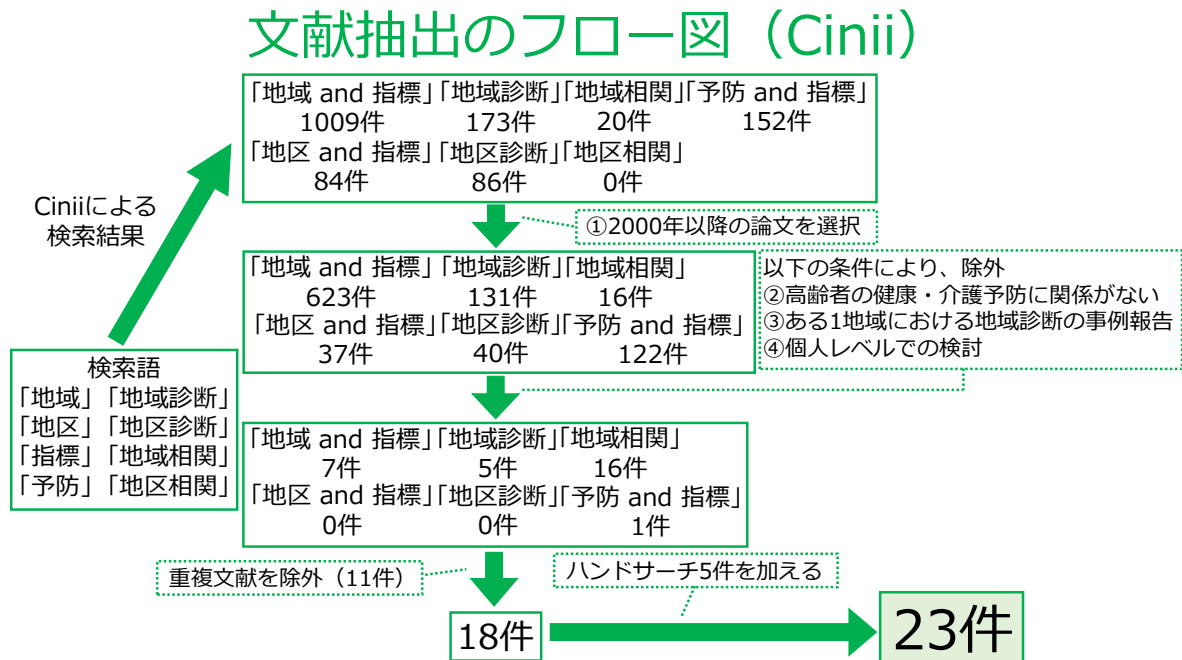




(3) 階層化と指標検討のための文献調査

階層化と地域診断に利用されている指標の検討のために、以下のフローに沿って文献調査を行った(下図表)。

図表 19 地域診断指標検討のための文献調査フロー



最終的に、Cinii と医中誌の重複文献の除き、入手可能な 36 件についてレビューし(次頁図表)、どのようなアウトカム指標や、それらのアウトカム指標を説明する指標が使われているか等を整理した結果、以下ようになった。

■ 研究デザイン:横断研究 33 件, 縦断研究 3 件

■ 分析レベル:市区町村 20 件②都道府県 9 件, ③保健所 2 件,

他各 1 件→自治区, 小学校区, 中学校区, 消防本部, 日常生活圏域

■ 健康アウトカム

①死因別死亡率 8 件, ②要介護認定割合 7 件, ③自殺率・転倒割合 4 件,

⑤平均寿命・老人介護費 3 件, ⑦うつ割合・在宅死亡割合・老人医療費 2 件,

他各 1 件→IADL 低下者割合, 健康寿命, 人口減少率, 結核罹患・蔓延率, 幸福度,

生きがい有無, 閉じこもり割合, 入院・入院外受診率, 検診受診率

■ 説明変数の役割を持つ指標

①地域組織参加割合 10 件, ②死因別標準化死亡比 7 件, ③病床数 6 件,

④産業就業者比率 4 件, ⑤世帯数 3 件, ⑥社会的サポート・入院費・

入院外受診費・喫煙率 2 件

図表 20 地域診断指標検討のための文献リスト

番号	著者	発行年	雑誌名	研究デザイン・分析レベル	データ (対象者数)	健康アウトカム	主な説明変数	主な所見
1	加藤, 他	2015	作業療法	地域相関横断分析 (市区町村 n=53) 内訳: 28市町村、25区	JAGES2010- 2011 (n=88370)	IADL低下者割合	A. 生活習慣的指標 ・外出頻度 ・1日の歩行時間 B. 心理社会的指標 ・高齢者抑うつ尺度 ・もの忘れの有無 ・趣味の有無 ・スポーツ・趣味関係のグループ・会の参加頻度 C. 社会経済的視標 ・教育年数 ・等価所得	人口高齢化や性別による違いだけでは説明できないIADL低下者割合に約3倍の市区町村格差(11.0~30.7%)が見られた。スポーツや趣味の会に参加の割合が高い地域ほどIADLの低下者割合が低い(特に女性)。
2	佐々木, 他	2015	老年精神医学雑誌	地域相関横断分析 (市町村 n=29)	JAGES2013 (n=127041)	うつ割合 (うつ: 高齢者抑うつ尺度5点以上)	社会的サポート ・心配事、愚痴を聞いてもらう ・世話、看病をしてもらう ・心配事、愚痴を聞いてあげる ・世話、看病をしてあげる サポート授受の相手 ・家族、親戚以外(近隣、友人) ・家族、親戚	市町村のうつ割合は21.5~36.2%と約1.7倍の地域差がみられた。地域でのうつ割合の低さと社会的サポートの授受の高さは関連していた。年齢や性別によって異なるが、「家族や親戚以外」からのサポートの授受も高齢者のうつと関連していることが示唆された。
3	長嶺, 他	2015	厚生 の 指標	地域相関連続横断分析 (市町村 n=23)	JAGES2010- 2013	転倒者割合 (転倒者: 過去1年間に何度も転倒)	①歩行者割合 ・1日平均歩行時間(30・60・90分以上) ②社会参加 ・スポーツ組織・趣味の会参加(月1回以上) ③社会経済的要因 ・等価所得 ④環境要因 ・家から1km以内に運動や散歩に適した歩道	歩行者割合が低い市町村では転倒者割合が低く、歩行者割合が増加すると転倒者割合が減少するという経時的変化を確認。社会参加や近所に歩きやすい歩道があると歩行者割合が高い関連がある。
4	高柳, 他	2015	医学検査	地域相関横断分析 重回帰分析 (茨城県市町村 n=44)	-	平均寿命	疾患別標準化死亡比 人口10万あたりの病床数 市町村庁舎から救命救急センターまでの距離	男性の平均寿命を目的変数とした重回帰分析では、脳血管疾患、糖尿病、肺炎における標準化死亡比に正の負の相関、人口10万人あたりの病床数に有意な正の相関がみられた。同様に女性では、糖尿病、心疾患の標準化死亡比と有意な負の相関がみられた。
5	丹羽, 他	2015	月刊地域医学	地域相関横断分析 重回帰分析 愛知県東栄町 15地区	-	人口減少率	運動機能低下者割合 高齢化率、要介護者数	地区別の運動機能低下者割合と人口減少率は有意な負の相関を認めた。
6	芦原, 他	2014	自殺と危機介入	地域相関横断分析 (市区町村 n=50) 内訳: 25市町村、25区	JAGES2010- 2011 (n=169215)	3年平均自殺率 (全年齢・60歳以上)	①健康関連項目 ・主観的健康感がよくない ・抑うつ ②認知的SC ③構造的SC ・ソーシャルサポート ・社会的ネットワーク ・地域にある会・グループへの参加	「地域住民の互酬性がある」、「地域への愛着がある」、「友人・知人と会っている」、「手段的サポートを提供している」、「地域にある」6種の会・グループのいずれか1つ以上に参加している者の割合が高い」、「老人クラブへの参加割合が高い」、「ボランティアグループの参加割合が高い」市町村ほど、自殺率が有意に低い負の相関( $p = -0.40 \sim -0.31$ )。地域住民参加型のSCの豊かさが自殺率の低さと関連している可能性が示唆された。
7	林, 他	2014	厚生 の 指標	地域相関横断分析 重回帰分析 (小学校区 n=64) * 6保険者9市町村	JAGES2010- 2011 (n=16102)	転倒者割合 (転倒者: 過去1年間に1度・何度も転倒)	①社会経済的要因 ・等価所得 ・教育年数 ②社会参加 ・スポーツ組織への参加(週1回以上)	小学校区間での転倒割合に約4倍の差を認めた。転倒割合と社会経済的地位、スポーツ組織の参加に関連を認めた。重回帰分析にてスポーツ組織の参加が多い小学校区ほど、転倒割合が少ない。



番号	著者	発行年	雑誌名	研究デザイン・分析レベル	データ (対象者数)	健康アウトカム	主な説明変数	主な所見
8	尾島, 他	2014	医療と社会	Urban HEART MATRIX形式 (市町村 n=31)	JAGES2010-2011 (n=99496)	⑤アウトカム 要介護認定者割合 新規要介護認定者割合 総死因別死亡率 死因別死亡率 幸福度	①インプット ・介護予防事業予算額(高齢者1人あたり) ②プロセス ・介護保険料 ③環境 ・趣味の会参加割合・スポーツの会に参加の割合 ・生活保護世帯数 ④個人・行動 ・主観的健康感良い者の割合 ・閉じこもり高齢者割合・1年間の転倒歴 ・歩行時間・残歯数・やせの人の割合 ・基本チェックリスト認知項目該当者割合 ・うつ・助け合っている人の割合 ・交流する友人がいる人の割合 ・(過去1年間の)検診受診者割合 ・現在、喫煙している人の割合	地域で活用できる介護予防ベンチマーク指標の評価を行い、22個のコア指標、18個の推薦指標が選定された。 <人口密度の高い地域の特徴> ・趣味の会の参加割合やスポーツの会の参加割合が高く、逆に老人クラブの参加割合は低い ・主観的健康感の良い者の割合、残歯数の多い者の割合が高い ・閉じこもり高齢者割合、1年間の転倒歴のある割合、歩行時間の短い者の割合は低い ・交流する友人がいる割合、検診を受けた人の割合が多い ・助け合っている人の割合は明確な傾向なし
9	近藤尚己	2014	医療と社会	学区 (28市町村)	JAGES2010-2011 (n=117494)	抑うつ者割合 閉じこもり割合	格差勾配指数 格差相対指数およびその変法	自治体、保健対策の現場において活用すべき健康格差指標は格差勾配指数、格差相対指数及びその変法を推奨すべきだが、回帰分析を行う必要があり、実施者の技量やデータ収集状況により、割合の差や比を活用していくことが現実的。困窮状態が高い学区ほど、抑うつリスク保持者が多い。
10	五十嵐, 他	2014	Palliative Care Research	重回帰分析 都道府県 n=47	-	自宅死亡割合	過疎高齢化 病院施設リソース 在宅医療へのアクセス	がん死亡と在宅医療へのアクセス、全死亡と病院施設リソース、在宅医療へのアクセスに有意な関連がみられた。
11	伊藤, 他	2013	社会福祉学	重回帰分析 (市町村 n=29) *24介護保険者	JAGES2010-2011 (n=95089)	要支援・介護認定率 軽度(要支援1~2、要介護1) 中重度(要介護2~5) 全認定率	①SC指標(参加割合) 地域組織(①趣味、②スポーツ、③ボランティア、 ④老人、⑤町内会・自治会、⑥業界団体・同業者 団体)の参加頻度(年数回以上、月1~2回以上、 週1回以上) ②単身高齢者割合 ③高齢者有病率 ④最終学歴小中学校以下の高齢者割合 ⑤課税対象所得	「業界・同業者団体」以外の地域組織で認定率との関連が確認された。主にSC指標が高いほど、認定率が低いという負の相関であったが、後期高齢者の中・重度認定率と「町内会・自治会」のみ正の相関を示した。参加頻度でみると、「年数回以上」や、「月1~2回以上」で認定率との関連が多くみられた。「趣味関係」、「スポーツ関係」、「老人クラブ」への低・中頻度の参加割合はモニタリング指標として有用である可能性が示唆された。
12	寒水	2013	厚生学	比較研究 鹿児島45市町村	-	自殺死亡SMR (自殺死亡標準化死亡比)	社会生活指標	男女ともに自殺は過疎地に集積していた。男性の自殺死亡高率地域で離婚率(千人対)が有意に高かった。女性の自殺死亡高率地域では第一次産業就業者比率が有意に高く、第三次産業就業者比率、完全失業率、一般診療所病床数が有意に低かった。
13	山田, 他	2012	神奈川精神医学会誌	地域相関横断分析 クラスター分析 神奈川13市町村	-	自殺EBSMR (経験ベイズ推計に基づく標準化死亡比)	社会経済指標	近隣市町村が類似しているとは限らず、自殺を促進している同一の社会経済指標でも地域によってその過程は異なるものと思われた。
14	山田, 他	2012	厚生学	多重ロジスティック回帰分析 市町 n=7	AGES2003 (n=8943)	過去1年間で2回以上の 転倒経験の有無	市町村因子(ダミー変数) 各種疾患の有無、服薬、ADL、IADL、物忘れ、抑うつ、 等価所得、教育歴、1日歩行時間、スポーツ活動、 自宅や周囲の環境、地域類型	前市町における過去1年間で2回以上の転倒発生率は8.3%であった。ロジスティック回帰式によってB市町はG市町より有意に転倒発生割合が少なかった。

番号	著者	発行年	雑誌名	研究デザイン・分析レベル	データ (対象者数)	健康アウトカム	主な説明変数	主な所見
15	篠原, 他	2012	信州公衆衛生雑誌	地域相関横断分析 長野県ブロック n=10	-	平均余命・健康寿命	人口10万人あたりの医師・歯科医師・保健師数 1人あたりの平均医療費、病院・診療所数 平均日気温、首都へのアクセス時間	平均余命・健康余命に地域差がみられたが、保健衛生指標とは相関はみられなかった。
16	粟盛, 他	2011	社会医学研究	地域比較(茨城県) 市町村 n=5	-	加重障害保有割合	-	加重障害保有割合の増減のばらつきは自治体ごとの介護予防事業による影響が示されている可能性もある。
17	吉本, 他	2011	日本公衆衛生雑誌	消防本部 n=55	高齢者の転倒搬送 n=13855	転倒の標準化発生比	社会経済的指標 ・都市地域の有無・老年人口割合・人口密度 ・舗装道路割合・高齢夫婦世帯数 ・高齢単身世帯数 ・産業就業者割合・雇用量割合・役員数割合 ・世帯密度・課税対象所得・完全失業者割合 ・医師数・病院数	標準化転倒発生比に関連した要因は、男性で高齢単身世帯数と正の、高齢夫婦世帯数、役員数割合で負の相関がみられた。女性では高齢単身世帯数、第二次産業就業者数、都市地域の有無に正の、完全失業者の割合、役員数の割合で負の相関がみられた。
18	山本, 他	2010	新潟医療福祉学会誌	地域相関横断分析 重回帰分析 都道府県 n=47	-	平均寿命	新国民生活指標	男性の平均寿命は人との交わりの機会が多く、そして快適、自由なライフスタイルを送れる地域に長い。 女性は快適住居に居住し、地域の医療、保健、福祉施設や公共の文化施設などの恩恵を受けることのできる地域の平均寿命が長い。
19	上岡, 他	2010	厚生 の 指標	重回帰分析 農山村(*) 町村 n=32	* 人口5000人未 満 第二、三産業従 事者割合80%以 上	老人医療費・介護費	人口、高齢化状況、産業構造、 医療福祉サービス供給、 介護依存実態、健康関連指標、 人口対病院・診療所数、 人口対常勤保健師数	小規模自治体では老人医療費と介護費の相関係数は低い。 重回帰分析では、老人医療費は1人あたり入院費・入院外費、介護費は世帯数、第二次産業比率と関連がみられた。
20	上岡, 他	2009	東京農業大学集方報	地域相関横断分析 重回帰分析 54自治体(*)	第三次産業従事 者55%未満	老人1人あたり医療費 65歳以上一人当たり介護費	人口 産業構造 医療福祉サービス供給 介護依存実態 健康関連指標	医療費と有意な相関があったものは入院費、介護費と相関があったものは65歳以上の親族のいる 核家族世帯数であった。
21	柴田, 他	2009	運動疫学研究	地域相関横断分析 都道府県 n=47	-	死因別標準化死亡比	標準化スポーツ行動比	標準化スポーツ行動比は東北、北陸、近畿太平洋側、山陰、四国で低い。死因別標準化死亡比との相関は全死因、循環器系、外因で有意な負の相関を示し、女性より男性の方が有意な負の相関を示す傾向にあった。
22	粟森, 他	2009	厚生 の 指標	共分散構造分析 都道府県 n=47	-	要介護認定割合・介護保険料	医療施設指標、高齢者施設指標、 保健医療マンパワー指標、経済指標	病院と診療所の病床数が多く、病床利用割合が高いほど、要介護認定割合と介護保険料を高める。高齢者を取り巻く環境は医療施設と機能を經由し、間接的に要介護認定割合と介護保険料と関連がある。
23	北澤, 他	2008	日本医療マネジメント 学会雑誌	地域相関横断 重回帰 東京都53市区町村	-	医療費	後期高齢化率、性別、医療提供体制、所得、教育	重回帰分析の結果、入院・外来ともに最も多くの疾病との関連がみられた要因は後期高齢化率であった。
24	宮下, 他	2007	厚生 の 指標	地域相関横断分析 重回帰分析 都道府県 n=47	-	在宅死亡割合	人口世帯関連指標 死亡関連指標 経済関連指標 医療福祉関連指標	都道府県別在宅死亡割合には、老衰の死亡率と正の相関、病院・診療所病床数(10万対)と有意な負の相関を示した。
25	粟盛, 他	2007	厚生 の 指標	地域相関横断分析 重回帰分析 都道府県 n=47	-	加重障害保有割合	平均余命 障害調整健康余命	加重障害保有割合は平均余命と独立した地域健康指標として有用である。

番号	著者	発行年	雑誌名	研究デザイン・分析レベル	データ (対象者数)	健康アウトカム	主な説明変数	主な所見
26	久保田, 他	2007	厚生 の 指標	主成分分析 重回帰分析 静岡35市町	-	自殺EBSMR (経験ベイズ推計に基づく標準化死 亡比)	社会生活指標	男性は小売店数(人口千人対)、離婚率(人口千人対)、女性は第三次産業就業者比率、病院数 (人口10万対)が有意に関連する指標として抽出された。男性は過疎地域、女性は都市部での自 殺予防が重要なのではないかと考えられる。
27	沖, 他	2005	兵庫県健康環境科学 研究センター紀要	クラスタ分析 重回帰分析 兵庫県保健所 n=29	-	結核罹患率・蔓延指標	結核対策関連指標	年齢調整罹患率を従属変数とした重回帰分析では生活保護、コホート治療脱落中断が説明変数と して採択された。
28	武田, 他	2004	日本公衆衛生雑誌	縦断 仙台市太白区 中学校区 n=14	-	地区別介護報酬	要介護未認定期間(健康寿命) 要介護認定基準時間 年齢調整オッズ比	地区別の要介護認定基準時間と年齢調整オッズ比、介護報酬は互いに相関し、地域の要介護高 齢者数、要介護度、介護費用をほぼ正確に表した。要介護認定基準時間と年齢調整オッズ比を事 業前後で比較することで事業効果の判定は可能となる。
29	山本, 他	2004	厚生 の 指標	比較研究 縦断 都道府県 n=47	-	慢性閉塞性肺疾患死亡率	性別	慢性閉塞性肺疾患の死亡率は男性で高く、西日本で高い。今後20年間で死亡数は約2倍になると 推計される。
30	長谷川, 他	2003	日本老年医学会雑誌	比較研究 共分散構造分析 大都市 n=1 農村 n=1	n=2546	生きがい	家族構成 生活機能 身体状況	大都市と農村で生きがいありの割合に有意な差はなかった。生きがいの関連要因として、両地域 ともに健康度自己評価、知的能動性、社会的役割が示された。農村地域では家族構成が強い関 連を認め、大都市では入院経験の有無が強い関連を認めた。
31	三薺, 他	2003	日本公衆衛生雑誌	比較研究 北海道:市村 n=3 都市、過疎地域、 都市近郊農村	-	健診受診行動	基本属性、ライフスタイル、主観的健康状態 医療受領状況、聴力・視力・失禁・身体的不自由 痴呆症状の有無、身体・手段的ADL	都市では受診群に身体的に不自由が無いものの比率が高いが、他では非受診群の方が身体的 に不自由がない者の比率が高かった。都市以外では非受診群にこの3ヶ月間に外来受診なしの比 率が高かった。
32	深山, 他	2003	厚生 の 指標	クラスター分析 北海道市町村 n=208	-	死因別標準化死亡比 入院・入院外受診率	老人保健事業の参加状況	老人保健事業の評価において市町村間比較を行う際、人口規模別に比較する必要性が示唆され た。
33	永見, 他	2002	日本公衆衛生雑誌	地域相関横断分析 東京都23特別区	-	標準化要支援・要介護者比	平均寿命、65歳平均余命、主要死因別標準化死 亡比 一人あたり部屋面積、基本健診受診率 人口10万対診療所数・病院数、 被保険者1人あたり老人医療費	区別の標準化要支援・要介護比には地域差が存在した。 健康指標との関連については平均寿命、65歳平均余命、一人あたり部屋面積との間で負の相関、 脳血管疾患、心疾患、胃がんの標準化死亡比と正の相関を示した。 ブロック別の余暇活動への参加状況とは負の相関を示した。
34	八幡, 他	2002	秋田県衛生科学 研究所報	地域相関横断分析 秋田県保健所 n=8	-	標準化死亡比(SMR) (がん・心血管・脳血管障害)	健康観 喫煙に関する知識	健康であると感じている割合が多いとがんのSMRが低く、心血管・脳血管障害のSMRは大き かった。喫煙が健康に及ぼす影響を知っている割合が大きいとがんのSMRは大きく、心血管及 び、脳血管疾患のSMRは小さかった。
35	旭, 他	2001	厚生 の 指標	地域相関横断分析 都道府県 n=47	-	疾患別死亡率	喫煙率	喫煙率と疾患別死亡率の相関関係から女性では肺癌、虚血性心疾患など一部の疾患で喫煙の健 康影響と矛盾しない結果が得られた。
36	旭, 他	2001	厚生 の 指標	地域相関横断分析 都道府県 n=47	-	疾患別死亡率	飲酒率	女性の飲酒者指数は喫煙者指数の傾向にほぼ一致し、北海道と大都市に高かった。飲酒者指数 と各疾患別死亡率の相関から、脳血管疾患死亡率、虚血性心疾患死亡率、一部のがん死亡率、 外因子死亡率への影響が存在することが推定された。

(4) 地域診断指標リスト

以上の検討結果を踏まえ、以下の指標群を作成した。

図表 21 地域診断指標

■ ニーズ調査該当項目 下線 再掲項目

階層	分類	項目	
1.コア指標	インパクト指標 (要介護認定率等) アウトカム指標 (要介護リスク等) 中間アウトカム指標 (主観的健康感等)	1	生活機能低下(虚弱)者割合
		2	運動機能低下者割合
		3	1年間の転倒歴あり割合
		4	閉じこもり高齢者割合
		5	うつ(ニーズ調査)者割合
		6	うつ(基本チェックリスト)者割合
		7	うつ状態者割合(GDS15 項目版で5点以上)
		8	口腔機能低下者割合
		9	残歯数 19 本以下者割合
		11	物忘れ(ニーズ調査)者割合
		12	要介護リスク得点
		10	認知症リスク得点
		13	要支援・要介護認定者割合
	社会参加	15	スポーツの会に参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		16	趣味の会参加割合(1ヶ月に1回以上)
		17	ボランティアのグループに参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		18	学習・教養サークルに参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		19	特技や経験を他者に伝える活動に参加の割合(1ヶ月に1回以上)
	社会的ネットワーク	22	友人知人と会う頻度が高い人の割合(1ヶ月に1回以上)
		23	交流する友人がいる人の割合(友人2人以下)
		24	交流する友人がいる人の割合(友人3~9人)
		25	交流する友人がいる人の割合(友人10人以上)
		26	情緒的サポート受領(「あり」割合)
	社会的サポート	27	情緒的サポート提供(「あり」割合)
		28	手段的サポート受領(「あり」割合)
		29	手段的サポート提供(「あり」割合)
		30	ソーシャル・キャピタル指標:社会参加割合
			ソーシャル・キャピタル指標:連帯感あり割合
	ソーシャル・キャピタル指標:助け合いあり割合		

(注)システム改訂用に平成 28 年 11 月時点での最終版。

階層	分類	項目	
2.重要指標	2-1 中間アウトカム・インパクト等分析用	フレイルなし割合	
		プレフレイルあり割合	
		フレイルあり割合	
		14	BMI(18.5未満)者割合
		62	BMI(25以上)者割合
		42	老研式活動能力指標 IADL(5項目)が低い人の割合
		43	老研式活動能力指標 社会的能動性が低い人の割合
		44	老研式活動能力指標 知的能動性が低い人の割合
		57	低栄養(基本チェックリスト)
		56	認知機能低下(基本チェックリスト)
		45	主観的健康感が高い人の割合
		46	幸福感が高い人の割合
		31	新規要介護認定者割合
		32	認知症認定率
		33	総死因死亡率(SMR)
		34	死因別死亡率(がん)
		35	死因別死亡率(脳血管疾患)
	2-2 短期対策検討用 (番号に下線のあるものはコア指標の再掲)	15	スポーツの会に参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		16	趣味の会参加割合(1ヶ月に1回以上)
		17	ボランティアのグループに参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		18	学習・教養サークルに参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		19	特技や経験を他者に伝える活動に参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		63	老人クラブに参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		53	健康づくり活動や趣味等のグループ活動へ参加意向
		54	健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営への参加意向
		20	収入のある仕事に参加の割合(1ヶ月に1回以上)
		21	就労していない割合
		22	友人知人と会う頻度が高い人の割合(1ヶ月に1回以上)
		23	交流する友人がいる人の割合(友人2人以下)
		24	交流する友人がいる人の割合(友人3~9人)
		25	交流する友人がいる人の割合(友人10人以上)
		26	情緒的サポート受領(「あり」割合)
		27	情緒的サポート提供(「あり」割合)
		28	手段的サポート受領(「あり」割合)
		29	手段的サポート提供(「あり」割合)
30		ソーシャル・キャピタル指標: 社会参加割合	
		ソーシャル・キャピタル指標: 連帯感あり割合	
		ソーシャル・キャピタル指標: 助け合いあり割合	
41		孤食の人の割合	
47		ポジティブ感情が高い人の割合	
48		笑う人の割合	
58		認知症にやさしい町 周囲の援助を受けながらの生活の意向	
59		認知症にやさしい町 地域活動の参加意向	
60		認知症にやさしい町 近所とのつながり	
51		現在喫煙している人の割合	
52	歩行時間が30分以上の人の割合		
55	健診を受けた人の割合		
2-3 長期対策検討用	36	生活保護世帯割合	
	37	介護保険料	
	40	独居の人の割合	
	49	等価所得	
	50	教育歴が10年未満の割合	
	38	格差勾配指数(所得)	
	39	格差相対指数(所得)	
61	経済的に苦しい人の割合		

(注)システム改訂用に平成28年11月時点での最終版。

### 3. インタビュー調査

#### (1) インタビュー調査の概要

第1回委員会等にて検討を行った、①フレームワーク、②階層化、③指標について、自治体の職員、厚生労働省の職員、研究者を対象に、グループインタビューや意見聴取等を実施した。

グループインタビューや、意見聴取は以下で実施した。なお、ワーキンググループの議事概要及び、委員会の議事概要は巻末資料に収めた。

図表 22 本調査事業で実施したインタビュー等

日程	会議名・場所等	対象者
2016年		
11月1日	第1回ワーキンググループ	主に研究者
11月15日	JAGES Working 会議	JAGES 事務局の中心的研究者
11月28日	第2回ワーキンググループ	主に研究者
12月13日	横浜市	横浜市介護保険部局職員
2017年		
1月16日	厚生労働省	厚生労働省介護保険部局職員
1月17日	第3回ワーキンググループ	主に研究者
1月22日	JAGES 研究会@東京大学本郷キャンパス	主に研究者
2月14日	松戸市	松戸市介護保険部局職員

具体的なポイントとしては特に以下について尋ねた。

- ① フレームワーク：全体とその要素について
- ② 階層化：どの指標を、試作した3つ（コア、重要、参照）の階層へ分類するか
- ③ 指標：個別の指標に対する、社会的受容性・介入可能性を中心とした評価

## (2) インタビュー結果の要約

### ① フレームワークについて

アウトカム指標について

- 要介護認定率だけで効果を見られるのは、違和感がある。その他の、幸福感などはどうか<sup>17</sup>。

プロセス指標について

- 集いの場だけつくる介護予防や生活支援だけだと、効果は期待できないのではな  
いか。場だけつくればいいという話になってしまうと、それでもよいか。
- 実施箇所数も定義が必要だが、例えば、月 1 回以上開催している箇所でいいの  
ではないか。
- 実施箇所数だけでなく参加者数も入れるべき。
- サロンやボランティアの定義が必要。

### ② 階層化について

コア指標と重要指標の区別について

- 分類の難しい一部の指標が、コア指標と重要指標に重複している C 案が無難な  
のではないか。

### ③ 指標について

横浜市の職員 4 名、厚生労働省の職員 1 名に、個々の指標それぞれについて、社会的受容性・介入可能性について尋ねた（結果は下図表）。その結果、社会的受容性があると回答した人が回答者の半分以下だった指標は以下であった。所得に関する指標については、社会的受容性が低い可能性が高いといえる。

- 生活保護世帯割合
- 介護保険料
- 等価所得
- 教育歴

<sup>17</sup> この意見を踏まえ、最終的なフレームワークでは、要介護認定率をインパクト指標とし、要介護6リスクをアウトとした。

図表 23 旧地域診断指標の指標に対する行政職員の評価

階層	分類	項目	社会的受容性					介入可能性					社会的受容性	介入可能性
			回答者A	回答者B	回答者C	回答者D	回答者E	回答者A	回答者B	回答者C	回答者D	回答者E		
1.コア指標	要介護リスク	1 生活機能低下(虚弱)	○	○	○	○	○		○	○	○	×	100.0%	75.0%
		2 運動機能低下		○	○	○	○		○	○	○	△	100.0%	75.0%
		3 1年間の転倒歴	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	100.0%	60.0%
		4 閉じこもり高齢者割合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	100.0%	80.0%
		5 うつ(ニーズ調査)	○	○	○	△	○	○	△	△		△	80.0%	25.0%
		6 うつ(基本チェックリスト)	○	○	○	○	○	△	△	△		△	100.0%	0.0%
		7 うつ(GDS)	○	○	○	○	○	△	○	○	△	×	100.0%	40.0%
		8 口腔機能低下	○	○	○	○	○	○	△	○	△	×	100.0%	40.0%
		9 残歯数(19本以下)	○	○	○	△	○	△	○	○	△	△	80.0%	40.0%
		10 認知症リスク得点	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	100.0%	60.0%
		11 物忘れ(ニーズ調査)	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	100.0%	60.0%
		12 要介護リスク得点	○	○	○	○	○	○	○	○		△	100.0%	75.0%
		13 要介護認定者割合	○	○	○	○	○	△	△	△	△	×	100.0%	0.0%
		14 BMI(18.5未満の人の割合)	○	○	○	△	○	○	○	○	△	△	80.0%	60.0%
	社会参加	15 スポーツの会に参加の割合	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		16 趣味の会参加割合	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		17 ボランティアのグループに参加の割合	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		18 学習・教養サークルに参加の割合	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		19 特技や経験を他者に伝える活動	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	100.0%	60.0%
		20 収入のある仕事	○	○	○	○	○	×	△	△	△	×	100.0%	0.0%
		21 就労していない割合	○	○	△	△	○	×	△	△	△	×	60.0%	0.0%
	社会的ネットワーク	22 友人知人と会う頻度	○	○	○	○	○	△		○	△	△	100.0%	25.0%
		23 交流する友人がいる人の割合(友人2人以下)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		24 交流する友人がいる人の割合(友人3~9人)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		25 交流する友人がいる人の割合(友人10人以上)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		26 情緒的サポート受領	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	100.0%	40.0%
	社会的サポート	27 情緒的サポート提供	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	100.0%	40.0%
		28 手段的サポート受領	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	100.0%	40.0%
		29 手段的サポート提供	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	100.0%	40.0%

(注)平成 28 年 11 月時点での最終版よりも前のバージョン。

社会的受容性

○:受容性が高いもの、△:一つ以上の立場から、クレームなどが予想されるもの、X:多くの立場から、受け入れられないもの

介入可能性

○:介入が可能なもの、△:介入が難しいもの、X:介入が不可能と思われるもの



階層	分類	項目	社会的受容性					介入可能性					社会的受容性	介入可能性
			回答者A	回答者B	回答者C	回答者D	回答者E	回答者A	回答者B	回答者C	回答者D	回答者E		
2.重要指標	2-1 要因分析用	31 新規要介護認定者割合	○	○	○	○	○	○	△	○	△	×	100.0%	40.0%
		32 認知症認定率	○	○	○	○	○	△	△	△	△	×	100.0%	0.0%
		33 総死因死亡率(SMR)	○	○	○	○	○	△	△	△	△	×	100.0%	0.0%
		34 死因別死亡率(がん)	○	○	○	○	○	△	△	○	△	×	100.0%	20.0%
		35 死因別死亡率(脳血管疾患)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	100.0%	60.0%
		36 生活保護世帯割合	○	△	○	△	×	△	×	×	△	×	40.0%	0.0%
		37 介護保険料	○	○	△	△	△	○		△	△	×	40.0%	25.0%
		40 独居	○	○	○	△	○	△	△	△		△	80.0%	0.0%
		49 等価所得	○	△	△	△		△	×	×			20.0%	0.0%
		50 教育歴	○	△	△	△	△	△	×	×			20.0%	0.0%
		61 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	○	○	○	△	△	△	△	△	△	×	60.0%	0.0%
	2-2 対策検討用	42 老研式活動能力指標 IADL(5項目)	○	○	○	○	○	○	○	○			100.0%	100.0%
		45 主観的健康感	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	100.0%	60.0%
		46 幸福感	○	○	○	○		△		△			80.0%	0.0%
		51 現在喫煙している人の割合	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	100.0%	20.0%
		52 歩行時間	○	○	○	○	○	○	△	△	○	△	100.0%	40.0%
		53 健康づくり活動や趣味等のグループ活動へ参加意向	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		54 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営への参加意向	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		55 健診を受けた人の割合	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	100.0%	60.0%
		56 認知機能低下(基本チェックリスト)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	100.0%	60.0%
		57 低栄養(基本チェックリスト)	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	80.0%	40.0%
62 肥満(BMI25以上)	○	○	○	○	△	△	○	○		×	80.0%	50.0%		
3.参照指標	38 格差勾配指数	○	○	○	○	○	△	△	△		×	100.0%	0.0%	
	39 格差相対指数	○	○	○	○	○	△	△	△		×	100.0%	0.0%	
	47 ポジティブ感情	○	○	△	○	△	△	△	○		×	60.0%	25.0%	
	48 笑う人	○	○	○	○	△	○	○	△		×	80.0%	50.0%	
	43 老研式活動能力指標 社会的能動性	○	○	○	○	○	△	○	○		×	100.0%	50.0%	
	44 老研式活動能力指標 知的能動性	○	○	○	○	△	△	○	○		×	80.0%	50.0%	
	41 孤食	○	○	○	○	×	△	○	○		×	80.0%	50.0%	
	58 認知症にやさしい町 周囲の援助を受けながらの生活の意向	○	○	○	○	×	○	○	○		×	80.0%	75.0%	
	59 認知症にやさしい町 地域活動の参加意向	○	○	○	○	○	○	○	△		×	100.0%	50.0%	
	60 認知症にやさしい町 近所とのつながり	○	○	○	○	○	○	○	○		×	100.0%	75.0%	
63 老人クラブ	○	○	○	○	○	△	○	△		×	100.0%	25.0%		

(注)平成 28 年 11 月時点での最終版よりも前のバージョン。

社会的受容性

○:受容性が高いもの、△:一つ以上の立場から、クレームなどが予想されるもの、×:多くの立場から、受け入れられないもの

介入可能性

○:介入が可能なもの、△:介入が難しいもの、×:介入が不可能と思われるもの

#### 4. インタビュー及び検討会等が出た意見を踏まえた方針

以上のインタビュー結果、2回の検討会、また、これまで JAGES が実施してきた保険者説明会で出た指摘事項を要約したものと、それに対応した改訂方針について、主なものを以下のように整理した。

2016 年度版は 2016 年 11 月にシステムの改定作業を開始したため、2017 年度版に整理した内容を反映させるようにする予定である。

図表 24 地域診断指標の改訂方針

指摘事項の要約	改訂方針
要介護認定率だけで効果を見られるのは、違和感がある。	インパクト指標として独立させ、アウトカム指標は要介護6リスクとする。
場だけつくればいい介護予防や生活支援だけでは、効果は期待できないのではないか。	アウトカムとの関連についての検証を行う(今後の課題)。
サロンやボランティアという用語の定義や、実施箇所数の基準についての定義が必要。	プロセス指標等についても、明確な(恣意的にならない)操作的・客観的定義を行う(今後の課題)。
コア指標及び重要指標の定義を明確化し、それらに含める指標を確定させる。	最終的に C とするが、一部の指標を再掲することは行わないこととした。これは、短期要因のうち基準を満たさないものをコア指標から外し、重要指標にするという考え方に基づく。システムの改修は 2017 年度以降に行う。
指標が多すぎる。どこから見てよいか分からない。	指標を厳選の上、コア・重要・参照の 3 層に分けて示すこととする。
ダブルマップの見方が不明。	ダブルマップはなくすこととする。
地域診断書・シングルマップの枚数が多い。	1 枚に集約する。

## 4章. 横浜市でのアンケート調査と分析

### 1. 調査概要

以下の計画に基づき、調査を実施した。

図表 25 調査事業計画書

調査名		健康と暮らしの調査
調査対象	調査対象地区	横浜市
	調査対象者等	要介護認定を受けていない、及び要支援の認定を受けている 65 歳以上の第一号被保険者
	悉皆・抽出の別	日常生活圏域を地域単位とし、被保険者名簿を用いた無作為抽出とする
	調査方法	郵送調査
	調査客体数	地域診断の測定誤差を抑えるためには、約 80 の生活圏域毎に 200 サンプル以上確保が望ましい。1.5 万人規模の調査には 624 万円の調査費用が必要である。
調査内容	地域診断書に載せる指標作成に必要なデータとして、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（以下、「ニーズ調査」）の必須項目を中心に、項目を拡充した調査票を用いた。具体的には、趣味やスポーツの会への参加頻度や社会的交流や社会的サポートの授受の割合などプロセスに関わるもの、うつや主観的健康感、閉じこもりなどの心理社会的な中間アウトカム指標に関わるもの、要介護リスクなどの健康アウトカムに関わるもの、その他介護予防に関連する項目。	
調査時期	平成 28 年 10 月から 12 月にかけて実施予定	
調査結果の主要集計 項目	日常生活圏域毎の趣味やスポーツの会への参加割合や社会的交流ある者の割合、社会的サポートの授受がない者の割合などプロセス指標、うつや主観的健康感、閉じこもりなどの心理社会的な中間アウトカム指標などが指標として想定される。包括区(138 エリア)毎に集計した。	
調査結果の活用法	健康なまちの要因を明らかにするための、個人レベル・地域レベルの関連要因分析で得られた結果から、厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システムに搭載すべき指標群についての科学的根拠を提示する	
その他参考事項	横浜市の職員を対象とするヒアリング調査、費用調査も行う	

### 2. 調査結果の概要

調査結果の概要は以下ようになった。

図表 26 JAGES2016 横浜市の調査実施状況

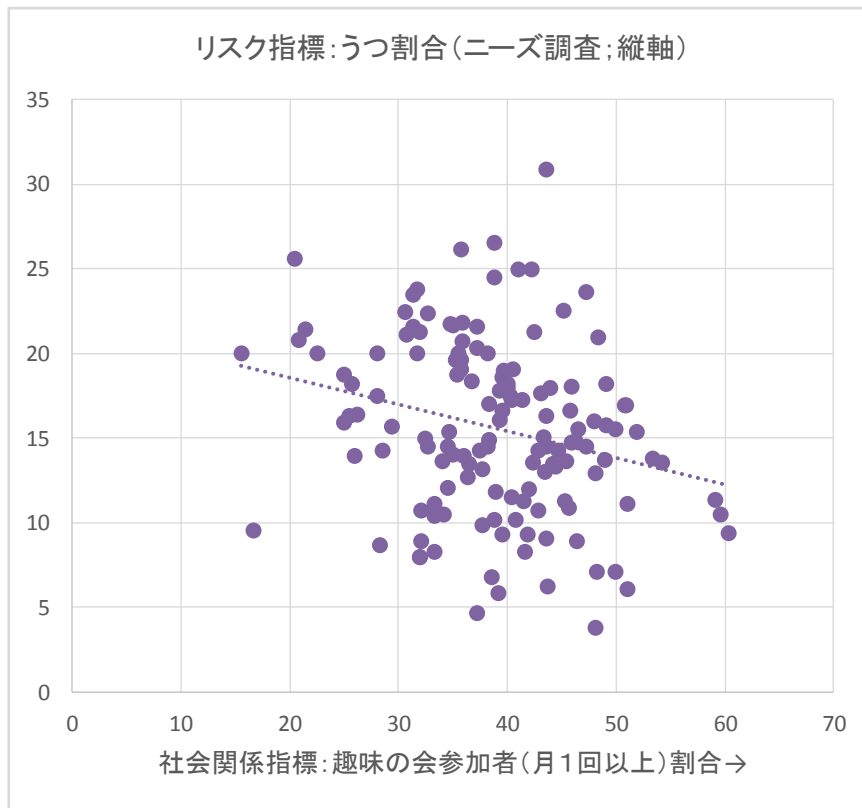
調査対象者数(発送数)	20,700
回収数	15,045
回収率	72.7%
白票数	9
個票データ票数(白票を除いた回収数)	15,036
個票データ回収率	72.6%

### 3. コア指標間の関連について

コア指標について 138 の包括区ごとに指標を計算し、指標間の相関(ピアソンの相関係数)を、前期高齢者による集計値、後期高齢者による集計値ごとに計算した(次頁図表)。行にリスク指標、列に社会参加等の指標を配置し、統計的に 5% 有意なものに色付けしたところ、前期・後期の両者において、ほとんどの指標の間に有意な相関がみられた。

リスク指標と相関をあまり示さない指標があることも確認できた(「特技や経験を他者に伝える活動参加者割合」など)が、主に「スポーツの会への参加者割合」や「趣味の会への参加者割合」と、うつや認知症のリスク指標との相関が目立った(下図表)。

図表 27 趣味の会参加者割合とうつ割合





図表 28 コア指標間の相関(前期高齢者)

	社会関係指標：スポーツの会参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：趣味の会参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：ボランティア参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：学習・教養サークル参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：特技や経験を他者に伝える活動参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：友人知人と会う頻度が高い（月1回以上）者の割合	社会関係指標：交流する友人（2人以下）がいる者の割合	社会関係指標：交流する友人（3～9人）がいる者の割合	社会関係指標：交流する友人がいる者の割合（友人10人以上）	社会関係指標：情緒的サポート受領者割合	社会関係指標：情緒的サポート提供者割合	社会関係指標：手段的サポート受領者割合	社会関係指標：手段的サポート提供者割合	社会関係指標：社会参加割合	社会関係指標：連帯感あり割合	社会関係指標：助け合いあり割合	社会関係指標：交流する友人がいる者の割合（友人10人以上）
リスク指標：虚弱者割合	-0.18	-0.08	-0.07	-0.05	0.13	-0.18	0.13	-0.03	-0.09	-0.22	-0.20	-0.21	-0.11	-0.11	-0.27	-0.25	0.09
リスク指標：運動機能低下者割合	-0.29	-0.27	-0.27	-0.09	-0.07	-0.15	0.14	0.00	-0.15	-0.16	-0.26	-0.15	-0.18	-0.31	-0.37	-0.23	0.06
リスク指標：1年間の転倒あり	-0.33	-0.23	-0.13	0.02	-0.08	-0.18	0.07	0.18	-0.28	-0.22	-0.34	-0.11	-0.09	-0.26	-0.21	-0.27	0.20
リスク指標：物忘れが多い者の割合（ニーズ調査）	-0.11	-0.10	-0.10	-0.02	-0.09	-0.09	0.06	0.12	-0.21	-0.05	-0.09	0.06	-0.01	-0.12	-0.08	-0.03	0.05
リスク指標：閉じこもり者割合	-0.14	-0.15	-0.04	-0.21	-0.09	-0.15	0.07	0.13	-0.22	-0.08	-0.16	-0.10	-0.14	-0.18	-0.13	-0.13	0.10
リスク指標：うつ割合（ニーズ調査）	-0.22	-0.18	-0.08	-0.09	-0.05	-0.18	0.24	-0.03	-0.23	-0.29	-0.34	-0.25	-0.20	-0.20	-0.32	-0.35	0.17
リスク指標：うつ割合（基本チェックリスト）	-0.45	-0.40	-0.17	-0.13	-0.15	-0.31	0.22	0.19	-0.47	-0.38	-0.42	-0.21	-0.26	-0.43	-0.46	-0.42	0.28
リスク指標：うつ割合（GDS5点以上）	-0.44	-0.39	-0.22	-0.21	-0.11	-0.26	0.35	0.02	-0.36	-0.27	-0.28	-0.34	-0.31	-0.44	-0.46	-0.36	0.39
リスク指標：口腔機能低下者割合	-0.28	-0.26	-0.16	-0.17	-0.04	-0.21	0.25	-0.06	-0.20	-0.31	-0.30	-0.23	-0.27	-0.29	-0.34	-0.34	0.29
リスク指標：残歯数19本以下の者の割合	-0.43	-0.40	-0.17	-0.28	-0.19	-0.16	0.17	0.16	-0.34	-0.26	-0.25	-0.33	-0.27	-0.45	-0.45	-0.33	0.40
リスク指標：要介護リスク者割合	-0.06	-0.10	-0.09	-0.02	0.00	-0.03	0.06	-0.02	-0.05	-0.07	-0.18	-0.05	-0.05	-0.09	-0.18	-0.13	0.07
リスク指標：認知症リスク者割合	-0.16	-0.14	-0.16	-0.03	0.05	-0.26	0.33	-0.17	-0.14	-0.18	-0.25	-0.25	-0.16	-0.15	-0.33	-0.27	0.05

図表 29 コア指標間の相関(後期高齢者)

	社会関係指標：スポーツの会参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：趣味の会参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：ボランティア参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：学習・教養サークル参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：特技や経験を他者に伝える活動参加者（月1回以上）割合	社会関係指標：友人知人と会う頻度が高い（月1回以上）者の割合	社会関係指標：交流する友人（2人以下）がいる者の割合	社会関係指標：交流する友人（3～9人）がいる者の割合	社会関係指標：交流する友人がいる者の割合（友人10人以上）	社会関係指標：情緒的サポート受領者割合	社会関係指標：情緒的サポート提供者割合	社会関係指標：手段的サポート受領者割合	社会関係指標：手段的サポート提供者割合	社会関係指標：社会参加割合	社会関係指標：連帯感あり割合	社会関係指標：助け合いあり割合	社会関係指標：交流する友人がいる者の割合（友人10人以上）
リスク指標：虚弱者割合	-0.07	-0.15	-0.08	-0.03	-0.14	-0.04	0.07	-0.12	-0.01	-0.02	-0.20	0.00	-0.19	-0.13	-0.09	-0.10	0.11
リスク指標：運動機能低下者割合	-0.27	-0.35	-0.17	-0.15	-0.12	-0.16	0.18	0.04	-0.25	-0.20	-0.19	-0.23	-0.26	-0.33	-0.28	-0.25	0.15
リスク指標：1年間の転倒あり	-0.13	-0.18	-0.29	0.03	0.01	-0.22	0.20	-0.01	-0.18	-0.08	-0.04	-0.01	0.09	-0.18	-0.30	-0.06	-0.05
リスク指標：物忘れが多い者の割合（ニーズ調査）	0.06	-0.06	0.06	-0.01	-0.03	-0.15	0.05	-0.05	0.00	-0.10	-0.14	0.06	-0.02	0.00	-0.09	-0.09	-0.06
リスク指標：閉じこもり者割合	-0.18	-0.17	-0.11	-0.14	-0.11	-0.03	0.16	-0.10	-0.05	-0.03	-0.06	0.05	-0.13	-0.20	-0.19	-0.03	0.09
リスク指標：うつ割合（ニーズ調査）	-0.25	-0.25	-0.16	-0.11	-0.06	-0.15	0.23	0.00	-0.20	-0.32	-0.23	-0.22	-0.12	-0.26	-0.33	-0.32	0.15
リスク指標：うつ割合（基本チェックリスト）	-0.31	-0.42	-0.24	-0.26	-0.11	-0.22	0.16	0.11	-0.29	-0.19	-0.27	-0.26	-0.18	-0.41	-0.38	-0.30	0.20
リスク指標：うつ割合（GDS5点以上）	-0.36	-0.41	-0.34	-0.29	-0.18	-0.38	0.29	0.07	-0.43	-0.36	-0.33	-0.31	-0.14	-0.46	-0.46	-0.41	0.27
リスク指標：口腔機能低下者割合	-0.14	-0.17	-0.04	-0.08	-0.12	-0.08	0.10	-0.07	-0.07	-0.02	-0.03	0.07	-0.05	-0.16	-0.11	0.00	-0.02
リスク指標：残歯数19本以下の者の割合	-0.38	-0.26	-0.10	-0.24	-0.10	-0.10	0.15	0.11	-0.25	-0.23	-0.26	-0.23	-0.17	-0.33	-0.19	-0.30	0.17
リスク指標：要介護リスク者割合	-0.41	-0.28	-0.26	-0.10	-0.17	-0.16	0.18	0.06	-0.25	-0.24	-0.21	-0.28	-0.15	-0.36	-0.34	-0.30	0.04
リスク指標：認知症リスク者割合	-0.34	-0.33	-0.19	-0.16	-0.21	-0.27	0.33	0.02	-0.35	-0.41	-0.41	-0.11	-0.20	-0.36	-0.35	-0.41	0.14

#### 4. 地域診断指標に関する今後の課題について

---

① さらに分析し6つの基準を吟味する必要がある

今年度、横浜市で取得されたデータをさらに分析し、インパクト指標（要介護認定率等）・アウトカム指標（要介護リスク等）・中間アウトカム指標（主観的健康感等）と、社会参加・社会的ネットワーク・社会的サポートとの間の関連をより厳密に明らかにする必要がある。

② フレームワークと階層、指標の間で整合性が低い部分は改善される見込み

地域診断指標については、11月時点でシステム改訂作業開始のために確定させる必要があった。そのため、地域診断指標と、計2回の委員会を経て詳細化されたフレームワークや階層の論理との間には若干の不整合が残されており、今後、その整合性を高める検討を行う。

③ システムの改修を行う

上述の不統一に対応するために、地域診断指標と、詳細化されたフレームワークや階層の論理との間の整合性を高める検討を行った上で、その新たな地域診断指標を反映させるようシステムの改修を行う。本調査事業の最終的な結果は、「見える化」システム2017年度に反映させる予定である。



## 5章. 介護予防プロセス評価指標の検討

### 1. 背景と本検討の位置づけ

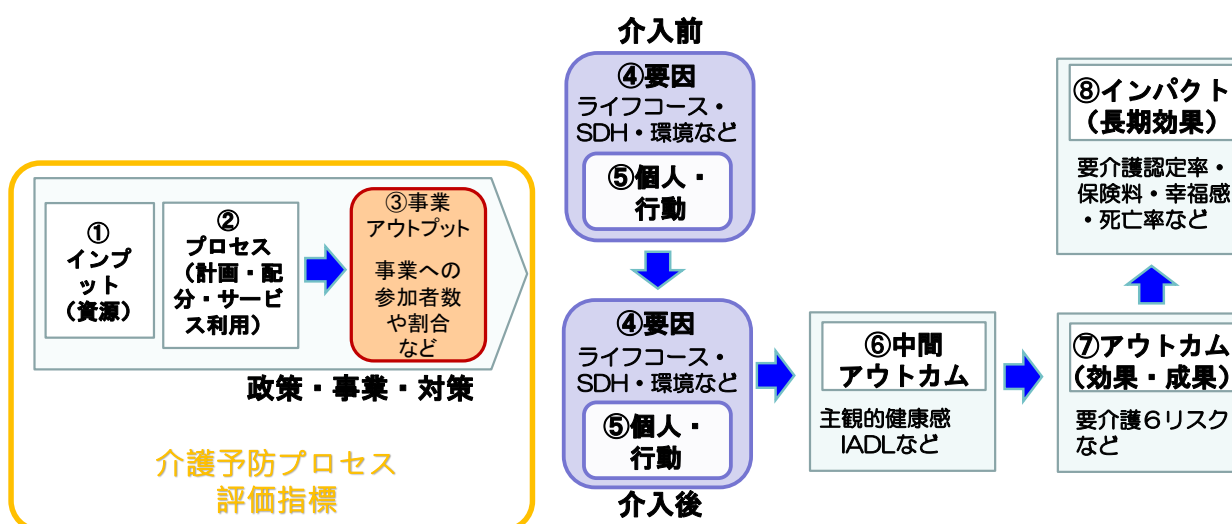
平成 30 年度から、全ての保険者が「新しい総合事業」へ移行することになっており、保険者の裁量は拡大するが、同時に、高齢者の自立支援と介護予防に向け、より保険者機能を発揮することが求められている。

また、平成 28 年 11 月 25 日に出された「介護保険制度の見直しに関する意見(素案)<sup>18</sup>」によれば、介護保険料の上昇、人口の高齢化がさらに進展し給付費の伸びが予想されること、また、介護人材の不足がさらに進むといった認識の下、自立支援や介護予防に向けた様々な取り組みを推進するため、財政面においても、市町村や都道府県に対するインセンティブを設けることが検討されている。

以上のような背景も踏まえ、本調査事業では介護予防プロセスを評価する指標を、検討会の意見も踏まえ<sup>19</sup>検討した。最終的に、市町村や都道府県がPDCA等により自己評価できるようにするためには、取り組みの効果や過程を正確に把握できるようにすることが必要であることから、特にプロセス指標やアウトプット指標を設定し、「介護予防プロセス評価指標」を検討した。

「介護予防プロセス評価指標」の中にも、アウトカムに関する指標も含まれるが、全体としてはインプットやプロセスを把握するための指標が多く含まれていることから「政策評価指標群のフレームワーク」の中では、下図表のように左側に位置づけられる。

図表 30 政策評価指標群のフレームワークと「介護予防プロセス評価指標」



<sup>18</sup> 社会保障審議会介護保険部会(第 69 回)資料3「介護保険制度の見直しに関する意見(素案)」

<sup>19</sup> 第二回検討会に介護予防プロセス評価指標の素案を提示し、委員のアドバイスを受けた上で、本調査事業における最終案をここに示した。

## 2. 介護予防の効果発現を多角的に確認する方法の必要性

---

### (1) プロセス指標の検討

先行研究と地域支援事業実施要綱等<sup>20</sup>をもとに検討を加え、プロセス指標群を作成し、第2回委員会で意見を頂いた。主な意見としては以下が挙げられた。

#### ① 指標について

サロンや通いの場の数を指標にすることについて

- スポーツや趣味の組織への参加率は、多くの健康指標と好ましい関連があるようだが、毎年アンケートを実施するのは保険者の負担が大きい。そこで、保険者のPDCAに用いる指標としてスポーツや趣味の組織がしやすい社会的なしくみや制度が何かを明確化し、それを指標にしてはどうか。しかし、その明確化のためには市町村向けアンケートなどが必要で、今後実施していく必要がある。

⇒今後の検討事項とした。

水際作戦の有無を検知する指標について

- 水際作戦が行われると、要支援者は減るが、もともとサービスが必要で申請してきていると考えられるので、総合事業の費用や総合事業対象者が増えると考えられ、それを測定するような指標を作成してはどうか。

⇒対応する指標として「総合事業対象者割合<sup>21</sup>」を作成した。

指標「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の毎年実施(の有無)」について。

- 毎年実施は厳しく、財務部局など他部門の理解が必要なため、介護保険部局の職員のみでの努力だけでは変えられないのではないかと。

⇒今後ひきつづき検討とし、指標は残した。

---

<sup>20</sup> 厚生労働省「地域支援事業の実施について」平成28年5月27日 <https://www.kokuho.or.jp/whlw/lib/rouken88.pdf>

<sup>21</sup> 総合事業対象者割合 = (総合事業対象者数 / (総合事業対象者数 + 予防給付利用者数 + 介護給付利用者))

## ② 評価方法や全体についての検討

指標の内容ではなく、評価方法そのものについては、以下の意見があった。

- 定性的なので把握の際に恣意的にならないか。PDCAのための自己評価用であったとしても保険者間で比較される機会はあると考えられ、測定方法のある程度の統一が必要。
- 測定誤差の大きさはどの程度か。また、どれくらいの変化以上で、実際の変化があったと見做すか分析と検討が必要。
- 保険者の努力が及ばない要因について、確認が必要。それに応じて評価方法や指標も検討する必要がある。
- 指標の値の把握において、保険者の負担に配慮する必要がある。

## (2) アウトカム指標の検討

介護予防のアウトカム指標としては要介護認定率が第一に考えられるが、要介護認定率をアウトカム指標とすることについては、以下のような課題があると考えられる。

**図表 31 要介護認定率を最終アウトカム指標にすることにより生じる課題**

保険者による恣意的操作の可能性
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ いわゆる「水際作戦」と呼ばれるもので、認定審査会等における認定の一連のプロセスにおいて保険者が独自ルール等により、要介護認定自体の基準を厳しくするもの。</li> <li>➤ 保険者が、介護給付や予防給付サービスを利用しようとする申請者に対して、それ以外のサービスを利用者に紹介するもの。</li> </ul>
介護予防事業による操作可能性への疑問の余地
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 保険者としても、「これをやれば必ず要介護認定率が下がる」という方法が分からないため、介護予防事業を要介護認定率だけで評価されることに抵抗があると考えられる。</li> <li>➤ 保険者が、介護予防事業により実際に要介護認定率を下げたという根拠は、特にポピュレーション戦略による介入研究では限られており、方法論が確立されているとは言い難い<sup>22</sup>。</li> </ul>

<sup>22</sup> サロン参加により要介護認定を受ける確率が下がったことを示した論文として、以下がある。

Hikichi H, Kondo N, Kondo K, Aida J, Takeda T, & Kawachi I Effect of community intervention program promoting social interactions on functional disability prevention for older adults: propensity score matching and instrumental variable analyses, JAGES Taketoyo study. J Epidemiol Community Health 2015; 0: 1–6.

また、サロン参加が非参加者と比較し主観的健康感に好影響があったことを示した論文として、以下がある。

また、以下の要因により値が変化することや、そもそもの水準(例えば、過去 10 年間の平均)が地域間で異なる可能性がある。

- 事業所による要因
  - 事業者の経営努力による利用者の掘り起こし(増加)
  - 介護人材不足による事業所の閉鎖(減少)
- 保険者の要介護認定基準の変化
- 社会・物理的環境の地域差
  - 所得や学歴など
  - 雪や坂・田舎など
  - 介護に対する規範

そのため、介護予防の効果発現を多角的に確認する方法が必要と考えられ、要介護認定率に替わる代替的なアウトカム指標等が、「介護予防プロセス評価指標」には含まれる必要と考えられる。

要介護認定率の前に変化する代替的な指標が満たすべき要件としては、様々な要件が考えられるが、少なくとも、前述の「保険者による恣意的操作の可能性」が低く、「介護予防事業による操作可能性」があるものであることが望ましい。

また、広く、全国の保険者において把握可能なように、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査により把握できるものが望ましいと考えられる。その上で、以下のようなアウトカム指標が考えられる。

- 6つの要介護リスク
- 基本チェックリストの虚弱
- 要支援・要介護リスク評価尺度によるリスク点数(0～55)<sup>23</sup>

---

Ichida Y, Hirai H, Kondo K, Kawachi I, Takeda T, & Endo H Does social participation improve self-rated health in the older population? A quasi-experimental intervention study. *Social science & medicine* 2013; 94: 83-90.

<sup>23</sup>要支援・要介護リスク評価尺度によるリスク点数は、複数の項目から成る合成指標である。詳細は巻末資料3を参照。

### (3) まとめ

定性的な指標は把握の際に恣意的になる可能性があり、自己評価用であったとしても測定方法のある程度の統一が必要と考えられる。

要介護認定率は、「保険者による恣意的操作の可能性」や、「介護予防事業による操作可能性への疑問の余地」があることから、アウトカム指標として要介護 6 リスクやそれらの総合指標等を用いるのが望ましいと考えられる。

インセンティブについては、指標の値に影響する諸要因を完全に調整(要因の変動によりアウトカム指標等が増減する影響を統計的に除去)することは、技術的には困難であることから、極端なインセンティブ・ディスインセンティブは保険者間の公平性を損ねるという意味で不適ということになると考えられる。

### 3. 介護予防プロセスの指標リスト

図表 32 介護予防プロセス評価指標

分類	指標	単位	入手方法(案)	指標の出典
プロセス (サロン・教室等の事業実施)	介護予防に資する住民主体の通いの場の状況のマッピング	1.できている 2.ある程度できている 3.あまりできていない 4.できていない	保険者が自己評価	地域支援事業実施要綱(別添5 総合事業の事業評価)
	介護予防に関するボランティア育成のための研修会の開催回数	開催回数/高齢者数	保険者が独自に把握	地域支援事業実施要綱(別添5 総合事業の事業評価)
プロセス (体制や課題の把握)	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の毎年実施	有無	保険者が自己評価	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施による中学校区別課題の優先順位付け	1.できている 2.ある程度できている 3.あまりできていない 4.できていない	保険者が自己評価	
	「見える化」等による中学校区別の課題の把握	1.できている 2.ある程度できている 3.あまりできていない 4.できていない	保険者が自己評価(文書化の程度)	
	「見える化」等による中学校区別課題の地域住民等への告知・共有	1.できている 2.ある程度できている 3.あまりできていない 4.できていない	保険者が自己評価	
	その地域住民への告知・共有に基づく、地域住民主体の話し合いの実施	有る校区数/対象校区数	保険者が独自に把握	
	ボランティア等の継続的な育成体制の有無	有無	保険者が独自に把握(月1回以上の教室や研修会の開催体制)	
	独居者等の重点的な介護予防活動対象者リストの作成	1.できている 2.ある程度できている 3.あまりできていない 4.できていない	保険者が自己評価(ニーズ調査だけでなく現地調査等により漏れなく把握)	
	介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の実施計画の見直し(PDCA)を行っているか。	1.できている 2.ある程度できている 3.あまりできていない 4.できていない	保険者が自己評価	地域支援事業実施要綱(別添5 総合事業の事業評価)
アウトプット指標	介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上参加者割合	参加者数/高齢者数	保険者が独自に把握	地域支援事業実施要綱(別添5 総合事業の事業評価)
	介護予防活動に関わるボランティア人材等の登録者数	登録者数/高齢者数	保険者が独自に把握	
	介護予防のためのボランティア・地縁組織等の有無	有る校区数/対象校区数	保険者が独自に把握	
	認知症サポーターの数	登録者数/高齢者数	保険者が独自に把握	
	介護予防ケアマネジメント依頼書受理件数	受理数(のべでない)/対象者数	保険者が独自に把握	地域支援事業実施要綱(別添5 総合事業の事業評価)
中間アウトカム指標	主観的健康感の良い者の割合	%	ニーズ調査	
アウトカム指標 (介護予防の効果が 出ているかを多角的 に確認する指標)	閉じこもり高齢者割合(外出頻度が週に1回未満)	%	ニーズ調査	
	1年間の転倒歴(過去1年に1度以上転倒した人の割合)	平均値	ニーズ調査	
	残歯数(20本以上の人の割合)	%	ニーズ調査	
	BMI(18.5未満の人の割合)	スケール	ニーズ調査	
	基本チェックリスト認知症項目該当者割合	%	ニーズ調査	
	うつ状態者割合(GDS15項目版で10点以上)	%	ニーズ調査	
介護予防の効果が 出ているかを多角的 に確認する指標	総合事業対象者割合	総合事業対象者数/ (総合事業対象者数 + 予防給付利用者数 + 介護給付利用者)	保険者が独自に把握	

## 6章. 資料編

---

### 1. (巻末資料1)第1回委員会概要

---

#### 【議事次第】

平成28年度老人保健健康増進等事業「一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業」

#### 日時・場所

日時:平成 28 年 7 月 26 日(火) 10:00-12:00

場所:スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT 店 5 階 B 会議室

#### 議事

開会

介護予防・日常生活支援総合事業に資する地域診断のための評価指標の検討

地域診断書の改定について

改訂版日常生活圏域ニーズ調査の実施手法の改善について

閉会

#### 配布資料

資料 1:介護予防・日常生活支援総合事業に資する地域診断のための評価指標の検討

資料 2:調査事業計画書(案)

資料 3:地域診断書の改定案

資料 4:市町村が提出する改訂版日常生活圏域ニーズ調査データの仕様に関するチェックリスト(案)

資料 5:調査実施会社向けの改訂版日常生活圏域ニーズ調査データ作成・提出業務の標準仕様書(案)

資料 6:「見える化」システムと改訂版日常生活圏域ニーズ調査に関する説明会について(案)

参考資料1:「介護予防ベンチマーク指標の開発」に関する論文(尾島俊之, Urban HEART のフレームワークを活用した介護予防ベンチマーク指標の開発. 医療と社会, Vol.24 No.1, p.35-45, 2014.)

参考資料2:2013 年度のニーズ調査による地域診断書の例

参考資料3:「マトリックス型地域診断書の開発」に関する論文(芦田登代・近藤尚己・近藤克則, 介護予防の優先順位づけのためのデータ可視化ツールの開発, 厚生の指標, 63(7), 7-13, 2016.)

参考資料4:総合事業の事業評価(「地域支援事業の実施について」の一部改正について(平成 28 年 1 月 15 日付老発 0115 第1号)別添 5)

参考資料5:2013 年度の JAGE 調査とニーズ調査の結果の違いについて

参考資料6:2013 年度 JAGES コア項目調査票

## 委員会議事概要

業 務 名	「一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業」第1回委員会		
日 時	平成28年7月26日(火) 10:00~12:00	場 所	スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT 店 5階B会議室
出席者	委員	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 近藤教授 浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島教授 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究総務部 服部次長 株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部 社会保障戦略グループ 松下様	
	オブザーバー	厚生労働省 老健局 総務課 石井課長補佐 厚生労働省 老健局 老人保健課 井口課長補佐 厚生労働省 老健局 老人保健課 山形係長 千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 宮國様	
	政策基礎研究所	市田、和田	
配布資料	資料1:介護予防・日常生活支援総合事業に資する地域診断のための評価指標の検討 資料2:調査事業計画書(案) 資料3:地域診断書の改定案 資料4:市町村が提出する改訂版日常生活圏域ニーズ調査データの仕様に関するチェックリスト(案) 資料5:調査実施会社向けの改訂版日常生活圏域ニーズ調査データ作成・提出業務の標準仕様書(案) 資料6:「見える化」システムと改訂版日常生活圏域ニーズ調査に関する説明会について(案)		
<b>議 事 概 要</b>			
<p>1 介護予防・日常生活支援総合事業に資する地域診断のための評価指標の検討 評価指標の枠組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域を考える必要がある。認知症のいい指標がないため、何か指標を入れるべきかもしれないが、信頼性・正確性に問題があるものは入れにくい。</li> <li>・コア指標には(前回の)35のうち半分しか残らないだろう。低栄養等は%が少なすぎるために、認知機能低下は認定との相関が低いために、地域診断には使いづらい。</li> <li>・学術的重要性ではなく、分析的重要性という名称はどうか。</li> <li>・先に三段階(コア・重要・参照)にするのではなく、一つずつ○をつけたほうが分類しやすいのではないか。</li> <li>・自治体の方に見せるとなると、政策に使えるかどうかが大変ではないか。政策に使える程度で分けてはどうか。</li> <li>・市民や財政課に意味があることを言えないといけない。</li> </ul> <p>評価指標の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新総合事業が開始されたので、項目が欲しいという話がある。</li> <li>・誤解されているが、掃除そのものを生活支援に全て移す訳ではない。一緒に手助けしながらの調理等は身体介護に該当する。</li> </ul>			



- ・JAGES 参加保険者の T 市から自治体独自項目が出されている。利用してみたいサービス、やってもいいサービス、集いの場なども並んでいる。
- ・掃除ができる人や、やってもいい人の%を地域で出すのはどうか。項目はいくらでもあるが、どこまで入れるか。
- ・何だったらという話にするか、社会参加の意向を聞くか。

#### 評価指標の調査対象について

- ・個人をつかまえにいくのか、地域で把握するのか。地域の場合、市内全域か、生活圏域か。

#### 2 地域診断書の改定について

- ・現場で、紙で配布できるようにしたい。エクセルに吐き出す機能があるといい。
- ・どれ位動いたら「良くなった（悪くなった）」と言えるのかなどを検討する必要がある。
- ・指標により異なるだろうから、凝りたい人はエクセルで独自に行う方がよいのではないか。散布図の経年変化は全国でいいのではないか。
- ・地図と変化マトリックスが欲しい。
- ・標準誤差については、指標が怪しい場合と、地域が怪しい場合がある。

#### 3 改訂版日常生活圏域ニーズ調査の実施手法の改善について

- ・回収率の扱い、督促の有無や方法等について、情報を整理する必要がある。
- ・総務省・経産省の統計調査公募の仕様書が参考になる。経産省の特定サービス産業実態調査や工業統計調査、厚労省の国民生活基礎調査など、他の調査の仕様などを確認する必要がある。

## 2. (巻末資料2)第2回委員会概要

---

### 【議事次第】

平成28年度老人保健健康増進等事業「一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業」

### 日時場所

日時:平成29年2月21日(火) 10:00-12:00

場所:スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT 店 6階 B 会議室

### 議事

開会

介護予防・日常生活支援総合事業に資する地域診断のための評価指標の検討経過

地域診断書の改定経過

横浜市の調査実施状況

その他

閉会

### 配布資料

資料 1-1:評価指標のフレームワークについて

資料 1-2:介護予防プロセス評価指標・地域診断指標リスト

資料 1-3:評価指標や地域診断書に関するインタビュー結果と改訂方針

資料 1-4:介護予防の効果が出ているかを多角的に確認する手法について

資料 2:地域診断書画面イメージ

資料 3-1:JAGES2016 横浜市の調査実施状況

資料 3-2:JAGES2016 横浜市データ単純集計結果

資料 4:「日常生活圏域ニーズ調査に関する説明会」の実施報告

## 委員会議事概要

業 務 名	「一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業」第2回委員会		
インタビュー対象	委員・オブザーバー		
日 時	平成29年2月21日(火) 10:00~12:00	場 所	スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT 店 6階B会議室
出席者	委員	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 近藤教授 浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島教授 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究総務部 服部次長 株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部 社会保障戦略グループ 松下様	
	オブザーバー	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 宮國様	
	政策基礎研究所	市田、和田	
配布資料	資料 1-1:評価指標の枠組みについて 資料 1-2:介護予防評価指標・地域診断指標リスト 資料 1-3:評価指標や地域診断書に関するインタビュー結果と改訂方針 資料 1-4:介護予防の効果が出ているかを多角的に確認する手法について 資料 2:地域診断書画面イメージ 資料 3-1:JAGES2016 横浜市の調査実施状況 資料 3-2:JAGES2016 横浜市データ単純集計結果 資料 4:「日常生活圏域ニーズ調査に関する説明会」の実施報告		
<b>イ ン タ ビ ュ ー 内 容</b>			
<p>1 コア指標と重要指標の区分け (A案~C案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C案とする(短期要因のうち、基準を満たさないものがコアでなく重要という話が前回あったので、それでもいいのではないか。再掲という形ではなく。)</li> </ul> <p>2 地域診断指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の区分を以下のように変更する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>2-1 背景要因分析用⇒2-3 長期対策検討用</li> <li>2-2 中間アウトカム・インパクト分析用⇒2-1 中間アウトカム・インパクト分析用</li> <li>2-3 対策検討用⇒2-2 短期対策検討用</li> </ul> </li> <li>・指標「孤食の人の割合」は短期対策検討用に入れる。</li> <li>・今後の課題： <ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市計画で公園をつくりましょう」等を指標に入れて欲しい。</li> <li>・公園、スポーツ振興計画、など介護保険に関連する要因はグラデーションがある。</li> <li>・介護保険課だけでは対応できないため、部署間で連携していただく必要がある。</li> <li>・JAGESが行っている要因分析は長期的対策ではないか。短期的対策は、計画課が行っている給付費分析等ではないか。</li> </ul> </li> </ul> <p>3 介護予防の指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データソース(「地域支援事業実施要綱」など)を入れる。</li> </ul>			

- ・介護予防事業報告の運動器・栄養・口腔等（現状の①～⑥）は廃止する。
- ・「一般介護予防事業評価事業地域支援事業実施要綱」の別記にある評価指標の例を使ってはどうか。通いの場の数などがある。
- ・「認知症サポーターの数」を入れる。
- ・介護予防評価指標⇒介護予防プロセス評価指標 と名称を変更する。

#### 4 インタビューから示された対応方針について

- ・横浜市、松戸市、厚生労働省を対象として、JAGES について 2 回、300BM について数回意見を聞き、地域診断書の改定を行った。
- ・改訂方針⇒対応方針 に変更する。
- ・意見の⑥（認定率だけだと違和感がある）を以下の 3 点に分割し、それぞれについて対応方針を示す必要がある。
  - ・対策を打っても、すぐに効果が出ない⇒対応：インパクト指標（「それが将来何をもたらすか」という長期的な効果）へ移動
  - ・水際作戦をやられる⇒対応：高齢者に直接問う項目と組み合わせることで、恣意的に変えられないようにする
  - ・幸福感必要⇒対応：幸福感を指標に含める

#### 5 追加の指標について

- ・箇所数ではなく個人別の社会参加などアクティビティを指標に入れたほうがいい。通いの場の数は有効な指標にならないのではないか。フィットネスクラブの数等であれば、公的な統計から取れるかもしれない（経済センサス活動調査などから中産業まではわかるのではないか）。
- ・社会参加を促す環境のマネジメントが重要かもしれない。
- ・社会参加を促すのであれば、やり方はたくさんあり、どれかをやればいいという形のアウトプットもある。
- ・週 1 回の趣味の参加が高いところでは（地域として）何があるのかを調べ、指標化したほうが良いのではないか。その方が自治体も把握しやすい。参加率そのものは、ニーズ調査等のアンケートが必要なため把握しづらいのではないか。

#### 6 その他

- ・今日の議論の結果は 2017 年のデータから反映させる。2016 年データの集計や見える化は進行中。

### 3. (巻末資料3)第1～3回ワーキンググループ議事概要

#### ワーキンググループ議事概要

業 務 名	「一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業」第1回ワーキンググループ		
日 時	平成28年11月1日(火) 10:00～12:00	場 所	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
出席者	WGメンバー  政策基礎研究所	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 近藤教授 浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島教授 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究総務部 服部次長 千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 宮國様 浜松医科大学 健康社会医学講座 岡田様 市田、和田	
議 事 概 要			
<p>1 評価指標の検討</p> <p>a) 今年度は、2つの事業で評価指標の開発を行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉大……介護予防</li> <li>・NTT……保険者機能</li> </ul> <p>b) 「新しい総合事業」の評価のため、ニーズ調査は要支援者も対象としているが、JAGES参加保険者の多くが「認定を受けていない人のみでよい」という意見だった。「総合事業の評価」という考え方が浸透していないのではないか。</p> <p>c) 生活支援の評価指標開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスにただ通う人と、調理をしている人とで違いがあるか？</li> <li>・ボランティア参加は、先行研究では効果がみられない？</li> <li>・要介護6リスクは今後も使い続けるのか？</li> <li>・複合的な指標として測定するのか、単一の指標として測定するのか？単一で受け入れられれば、単一で測定できるほうがよい</li> </ul> <p>2 今後の流れ</p> <p>a) 指標リスト作成…11月中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価基準にそって、先生方にチェックしてもらう</li> </ul> <p>b) 横浜市／厚労省へのグループインタビュー（別々に）…12月</p> <p>c) 横浜市のデータで指標作成…分析は来年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別は層化、年齢は調整？</li> <li>・機械的な相関表を作る</li> <li>・無理に結果を出さない。「使える指標はそれほどない」ことも重要な情報。</li> </ul> <p>3 300BM（ニーズ調査分析支援プロジェクト）について</p> <p>a) ニーズ調査データ収集について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの改訂作業を進める（Q&amp;A等）</li> <li>・来年度はどうするか？年度契約は、市町村では難しいことが多い</li> <li>・スケジュールについて</li> </ul>			

- データ提出期限は2017年6月末
- 期日に遅れた自治体はデータを受け付けない
- ・分析支援の内容について
  - 無料の範囲で受ける…調査が4月頭からの入札となりそうなので、データ提出は7～8月くらいになるだろう
- b) 地域診断指標について
  - ・JAGESでは37指標、ベンチマークでは15指標？
  - ・経年変化は、別途Excel等で作成しIAには載せない

#### 4 次回の会議日程

- a) 11/28 (月) 10:30～12:30

受領資料	なし
------	----

## ワーキンググループ議事概要

業 務 名	「一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業」第2回ワーキンググループ		
日 時	平成28年11月28日 (月) 10:30~12:30	場 所	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
出席者	WGメンバー  政策基礎研究所	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 近藤教授 浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島教授 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究総務部 服部次長 千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 宮國様 浜松医科大学 健康社会医学講座 岡田様 東京大学高齢社会総合研究機構 村山様 市田、和田	
<b>議 事 概 要</b>			
1 300BM（ニーズ調査分析支援プロジェクト）について <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 自治体への参加の呼びかけについて                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の厚生局に声をかける？</li> </ul> </li> <li>b) 「申し込み」ページの公開について                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協定書は（案）であることを明記すればよい</li> </ul> </li> <li>c) 調査票の改訂の範囲について                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手引き」と厚労省から出ている質疑応答に従う</li> <li>・変えた項目は自治体さんに自己申告してもらい、集計から外す</li> </ul> </li> <li>d) データ提出用ソフトについて                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の画面に、データ仕様に関するチェックリストが載っている</li> <li>・ソフトと入力フォームのすり合わせについて確認が必要</li> </ul> </li> <li>e) 「ニーズ調査入力フォーム」のひな型について                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省の作成した入力フォームをもとに作成する</li> </ul> </li> </ul>			
2 評価指標の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 「死亡率」を「標準化死亡比」とする？</li> <li>b) 横浜市のヒアリング結果の反映について                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度版ではなく、2017年版の地域診断書から反映</li> <li>・ヒアリング時には、地域診断書はその時点での最新版を持参</li> </ul> </li> </ul>			
3 次回の会議日程 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 1月17日（火）午後15:00～</li> </ul>			
受 領 資 料	なし		

## ワーキンググループ議事概要

業 務 名	「一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業」第3回ワーキンググループ		
日 時	平成29年1月17日(火) 16:00~18:00	場 所	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
出席者	WGメンバー  政策基礎研究所	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 近藤教授 浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島教授 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究総務部 服部次長 千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 宮國様 浜松医科大学 健康社会医学講座 岡田様 国立長寿医療研究センター 鄭様 東京大学高齢社会総合研究機構 村山様 市田、和田	
<b>議 事 概 要</b>			
1 評価指標の検討 a) 重要指標のABC案について ・C案を選んだ人が4名(それ以外を選ぶ人はいなかった) b) 今後も、介護予防指標群と地域診断指標群の両方を検討していく。  2 地域ごとの対応例 a) 北海道…ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会(岡田さん300BMとして参加(1月31日)) b) 武豊・名古屋…高齢者で、近くに子供がいる⇔仕事がある c) 幸手・大牟田…優良事例(大牟田モデルというものがある) d) 横浜市・あさひ・若葉台…高齢化率が高いが認定率が低い e) 大田区…みまーも f) オランダのビュートゾルフ…看護師が自分の判断で動ける(日本は医師の指示が必要) g) 新総合事業について ・ほとんどの保険者は、これまでの介護保険の世界観を変えようとするしない ・認知症対応が進められるようになった。軽い人は市町村が支え合えるようにした。 h) 認知症について ・認知症のプレバランスは出すのが難しい 浅田先生実施			
受 領 資 料	なし		



#### 4. (巻末資料4)要支援・要介護リスク評価尺度

辻<sup>24</sup>によれば、神戸市の2011年の基本チェックリストと約4年間の認定情報から、「日用品の買い物をしているか」「昨年と比べ外出の回数が減っているか」など日常生活に関する10項目から成る要支援・要介護リスクを評価する尺度を作成した(合計0～55点)。点数が高いほど、4年後に要支援・要介護認定率が高くなる。

図表 33 介護予防の評価尺度(合成指標)の開発

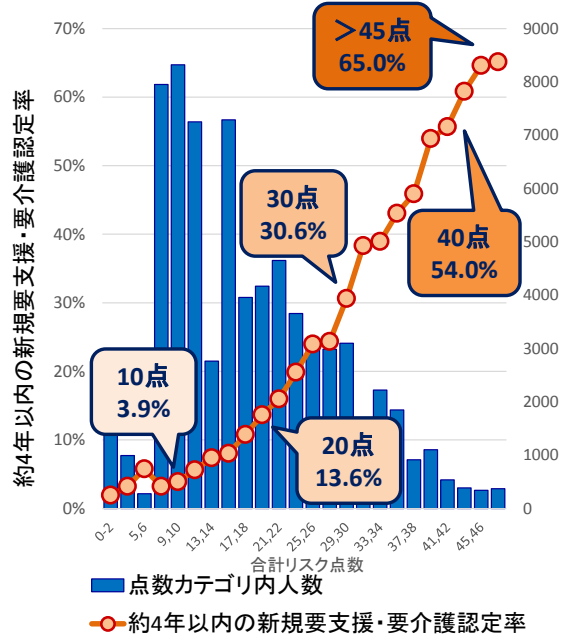
神戸市の2011年の基本チェックリストと約4年間の認定情報から作成したリスク評価尺度(72,127名のデータを基に作成)

基本チェックリスト項目	点数
<b>基本チェックリスト項目</b> (第7期 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 必須項目)	
1. バスや電車で1人で外出していますか	3
2. 日用品の買い物をしていますか	1
3. 預貯金の出し入れをしていますか	2
6. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	5
7. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3
8. 15分位続けて歩いていますか	3
9. この1年間に転んだことがありますか	3
10. 転倒に対する不安は大きいですか	3
12. BMI (kg/m <sup>2</sup> ) < 18.5	3
17. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	3
<b>年齢・性</b>	
65～69歳	0
70～74歳	8
75～79歳	15
80～84歳	21
85歳以上	25
女性	1
合計点数の範囲 <b>0～55</b>	

作成手順の概要

1. 基本チェックリスト項目、年齢、性を投入した生存分析(Cox比例ハザードモデル)をおこなう。
2. 要支援・要介護認定との関連の強さを表す統計指標(B)を基に、各項目の点数を算出する。
3. 各項目の点数を合計した値が、「リスク点数」となる。

合計点数別の人数分布と新規要支援・要介護認定率

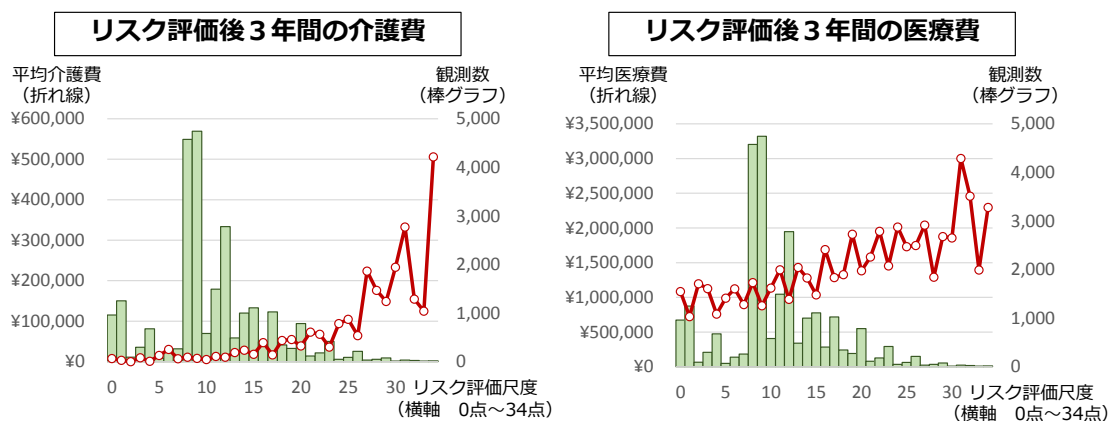


日本医療研究開発機構(AMED)2016-2018年度「パーソナル・ヘルス・レコード(PHR)利活用研究事業」(研究代表者 近藤克則)

<sup>24</sup> 辻大士, 高木大資, 近藤尚己, 近藤克則. 基本チェックリストと健診データを用いた縦断研究に基づく要支援・要介護リスク評価尺度の開発. 日本公衆衛生雑誌(印刷中)

加藤・後藤(2017)<sup>25</sup>は、この評価尺度と65～75歳未満の約2万5000人のレセプト(診療報酬明細書)データとの関連を調べ、評価尺度が1点上がるごとに医療費は3年間で約3万3000円、介護費も3年間で約3,600円増加することを示した。

図表 34 要介護リスク評価尺度と介護・医療費



**介護費はリスク評価尺度が1点上昇するごとに3年間で約3,600円増加**  
**医療費はリスク評価尺度が1点上昇するごとに3年間で約33,000円増加**

**リスク評価尺度は要介護認定だけでなく介護・医療費の予測にも役立つ**

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 2016-2018年度「パーソナル・ヘルス・レコード (PHR) 利活用研究事業」(研究代表者 近藤克則)

<sup>25</sup>毎日新聞「要介護リスク 10 の質問」(2017年2月17日夕刊)



## 5. (巻末資料5)地域診断指標の計算方法等

---



表 指標群(案)		健康とくらしの調査					ニーズ調査										
階層	分類	項目	JAGES設問番号	JAGES設問項目	入力値	選択肢 ※★※ サードスニーズ有	備考	集計の定義	ニーズ設問番号	ニーズ設問項目	選択肢 赤★※ サードスニーズ有	集計の定義					
コア指標 要介護リス ク		1 生活機能低下(虚弱)	問11(4)	6か月間で2~3kg以上体重減少	"1"	1.はい 2.いいえ		20項目中10項目以上該当	問3-7 オプション	6か月間で2~3kg以上体重減少	1.はい 2.いいえ	集計しない					
			問4(15)	いつも同じことを聞くなどいわれる	"1"	1.はい 2.いいえ			-	-							
			問4(16)	自分で電話番号調べて電話する	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(2) オプション	自分で電話番号調べて電話する	1.はい 2.いいえ						
			問4(17)	今日が何月何日かわからないことがある	"1"	1.はい 2.いいえ			問4(3) オプション	今日が何月何日かわからないことがある	1.はい 2.いいえ						
			問4(1)	バスや電車を使って1人で外出	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問4(2)	バスや電車を使って1人で外出(自家用車可)		1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				
			問4(2)	自分で食品・日用品の買い物	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問4(3)	自分で食品・日用品の買い物		1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				
			問4(11)	家族や友だちの相談に乗ることがある	"2"	1.はい 2.いいえ				問4(14) オプション	家族や友達の相談に乗る		1.はい 2.いいえ				
			問4(10)	友達の家を訪ねることがある	"2"	1.はい 2.いいえ				問4(13) オプション	友人の家を訪ねる		1.はい 2.いいえ				
			問4(5)	自分で預貯金の出し入れ	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問4(6)	自分で預貯金の出し入れ		1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				
			問3(2)	昨年より外出の回数減	"1" or "2"	1.とても減っている 2.減っている 3.あまり減っていない 4.減っていない				問2(7)	昨年より外出の回数減		1.とても減っている 2.減っている 3.あまり減っていない 4.減っていない				
			問3(6)	階段を手すりつたらず	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問2(1)	階段を手すりつたらず		1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				
			問3(7)	椅子からつかまらず立つ	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問2(2)	椅子からつかまらず立つ		1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				
			問4(14)	15分位続けて歩く	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問2(3)	15分位続けて歩く		1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				
			問3(4)	過去1年で転んだ経験	"1" or "2"	1.何度も不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない				問2(4)	過去1年で転んだ経験		1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない				
			問3(5)	転倒の不安	"1" or "2"	1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない				問2(5)	転倒の不安		1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない				
			問11(3)	身長・体重(BMI)	"18.5"未満	18.5未満			heightz.16 = 身長(m) heightz.16 = 身長(cm) weightz.16 = 体重(kg)		問3(1)		身長・体重(BMI)	18.5未満			
			問2(1)	半年前より固いものが食べにくい	"1"	1.はい 2.いいえ					問3(2)		半年前より固いものが食べにくい	1.はい 2.いいえ			
			問2(2)	お茶や汁物等でむせること	"1"	1.はい 2.いいえ					問3(3) オプション		お茶や汁物等でむせること	1.はい 2.いいえ			
			問2(3)	口の渇きが気になるか	"1"	1.はい 2.いいえ					問3(4) オプション		口の渇きが気になるか	1.はい 2.いいえ			
			問3(1)	外出する頻度	"4" or "5" or "6"	1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.していない				ニーズ設問と違いあり	問2(6)		週に1回以上外出	1.週2回と外出しない 2.週1回 3.週2~4回 4.週5回以上 5.週5回以上 6.していない			
			2		2 運動機能低下	問3(6)	階段を手すりつたらず		"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない			5項目中3項目以上該当	問2(1)	階段を手すりつたらず	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	5項目中3項目以上該当
						問3(7)	椅子からつかまらず立つ		"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問2(2)	椅子からつかまらず立つ	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	
						問4(14)	15分位続けて歩く		"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない				問2(3)	15分位続けて歩く	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	
						問3(4)	過去1年で転んだ経験		"1" or "2"	1.何度も不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない				問2(4)	過去1年で転んだ経験	1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない	
						問3(5)	転倒の不安		"1" or "2"	1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない				問2(5)	転倒の不安	1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない	
			3	1年間の転倒歴	問3(4)	過去1年で転んだ経験	"1" or "2"		1.何度も不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない		1項目中1項目該当		問2(4)	過去1年で転んだ経験	1.何度も不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない	1項目中1項目該当	
			4	閉じこもり高齢者割合	問3(1)	外出する頻度	"4" or "5" or "6"		1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.していない		ニーズ設問と違いあり		1項目中1項目該当	問2(6)	週に1回以上外出	1.週2回と外出しない 2.週1回 3.週2~4回 4.週5回以上 5.週5回以上 6.していない	1項目中1項目該当
			5	うつ(ニーズ調査)	問10(21)	この1か月間、気分が沈んだり、憂鬱	"1"		1.はい 2.いいえ				2項目中2項目該当	問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、憂鬱	1.はい 2.いいえ	2項目中2項目該当
					問10(22)	この1か月間、興味がわかない、楽しめない	"1"		1.はい 2.いいえ					問7(4)	この1か月間、興味がわかない、楽しめない	1.はい 2.いいえ	
			6		6 うつ(基本チェックリスト)	問10(16)	(ここ2週間)充実感がない		"1"	1.はい 2.いいえ			5項目中2項目以上該当	-	-	-	集計しない
						問10(17)	(ここ2週間)楽しめなくなった		"1"	1.はい 2.いいえ				-	-		
						問10(18)	(ここ2週間)おっくうに感じられる		"1"	1.はい 2.いいえ				-	-		
						問10(19)	(ここ2週間)役に立つと思えない		"1"	1.はい 2.いいえ				-	-		
						問10(20)	(ここ2週間)わけもなく疲れる		"1"	1.はい 2.いいえ				-	-		

表 指標群(案)		健康とくらしの調査					ニーズ調査									
階層	分類	項目	JAGES設問番号	JAGES設問項目	入力値	選択肢 最大値・サードブーズ有	備考	集計の定義	ニーズ設問番号	ニーズ設問項目	選択肢 最大値・サードブーズ有	集計の定義				
7	うつ(GDS)		問10(1)	今の生活に満足	"2"	1.はい 2.いいえ		15項目中5項目以上該当				集計しない				
			問10(2)	生きていても仕方がない	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(3)	毎日の活動力や世間に対する関心がない	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(4)	生きているのがむなし	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(5)	退屈に思う	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(6)	普段は気分がよい	"2"	1.はい 2.いいえ										
			問10(7)	なにか悪いことがおこりそう	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(8)	自分は幸せな方	"2"	1.はい 2.いいえ										
			問10(9)	どうしようもない	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(10)	外に出かけるよりも家にいることのほうが好き	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(11)	ほかの人よりも忘れが多い	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(12)	こうして生きていることはすばらしい	"2"	1.はい 2.いいえ										
			問10(13)	自分は活力が満ちている	"2"	1.はい 2.いいえ										
			問10(14)	こんな暮らしでは希望がない	"1"	1.はい 2.いいえ										
			問10(15)	ほかの人は、自分より裕福だと思	"1"	1.はい 2.いいえ										
8	口腔機能低下		問2(1)	半年前より固いものが食べにくい	"1"	1.はい 2.いいえ		3項目中2項以上該当	問3(2)	半年前より固いものが食べにくい	1.はい 2.いいえ	集計しない				
			問2(2)	お茶や汁物等でむせること	"1"	1.はい 2.いいえ			問3(3) オプション	お茶や汁物等でむせること	1.はい 2.いいえ					
			問2(3)	口の渾きが気になるか	"1"	1.はい 2.いいえ			問3(4) オプション	口の渾きが気になるか	1.はい 2.いいえ					
9	残歯数(19本以下)		問1(4)	歯は何本残っていますか	"1" or "2" or "3" or "4"	1.0本 2.1~4本 3.5~9本 4.10~19本 5.20本以上	・ニーズ設問と違いあり	1項目中1項目該当	問3(3)	歯の数と入れ歯の利用状況	1.20本以上、入れ歯あり 2.20本以上、入れ歯なし 3.19本以下、入れ歯あり 4.19本以下、入れ歯なし	1項目中1項目該当				
10	認知症リスク得点		問11(2)	年齢	"75以上"	76歳以上	3点	15点中7点以上				集計しない				
			問6(1)(9)	収入のある仕事	"6"	1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.していない	1点		問5(1) オプション	収入のある仕事	1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.していない					
			問1(3)	現在治療中、または後遺症のある病気(糖尿病)	"1"	1.はい 2.いいえ	1点									
			問4(18)	物忘れが多い	"1"	1.はい 2.いいえ	1点				問4(1)		物忘れが多い	1.はい 2.いいえ		
			以下の①~⑮の合計が【5点】以上ですか？						はい いいえ	1点			以下の①~⑮の合計が【5点】以上ですか？			
			①問10(1)	今の生活に満足	"2"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			②問10(2)	生きていても仕方がない	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			③問10(3)	毎日の活動力や世間に対する関心がない	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			④問10(4)	生きているのがむなし	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑤問10(5)	退屈に思う	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑥問10(6)	普段は気分がよい	"2"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑦問10(7)	なにか悪いことがおこりそう	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑧問10(8)	自分は幸せな方	"2"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑨問10(9)	どうしようもない	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑩問10(10)	外に出かけるよりも家にいることのほうが好き	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑪問10(11)	ほかの人よりも忘れが多い	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑫問10(12)	こうして生きていることはすばらしい	"2"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑬問10(13)	自分は活力が満ちている	"2"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑭問10(14)	こんな暮らしでは希望がない	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
			⑮問10(15)	ほかの人は、自分より裕福だと思	"1"	1.はい 2.いいえ	【1点】									
問6(1)	あなたの心配事や患病を聞いてくれる人	"1"	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近所 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	1点			問6(1)	あなたの心配事や患病を聞いてくれる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近所 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない							
問6(1)(2)	スポーツグループへの参加頻度	"6"	1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.参加していない	1点			問5(1)②	スポーツグループへの参加頻度	1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.していない							
問4(1)	バスや電車を使って1人で外出	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	1点			問4(2)	バスや電車を使って1人で外出(自家用車可)	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない							
問4(3)	自分で食事の用意	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	1点			問4(4)	自分で食事の用意	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない							
問4(4)	自分で請求書の支払い	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	1点			問4(5)	自分で請求書の支払い	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない							
問4(6)	年金などの書類が書ける	"2"	1.はい 2.いいえ	1点			問4(9) オプション	年金などの書類が書ける	1.はい 2.いいえ							
問4(7)	新聞を読む	"2"	1.はい 2.いいえ	1点			問4(10) オプション	新聞を読む	1.はい 2.いいえ							
問4(12)	病人を見舞う	"2"	1.はい 2.いいえ	1点			問4(15) オプション	病人を見舞う	1.はい 2.いいえ							

表 指標群(案)		健康とくらしの調査				ニーズ調査						
階層	分類	項目	JAGES設問番号	JAGES設問項目	入力値	選択肢	備考	集計の定義	ニーズ設問番号	ニーズ設問項目	選択肢	集計の定義
		11 物忘れ(ニーズ調査)	問4(18)	物忘れが多い	"1"	1.いい 2.いいえ		1項目中1項目該当	問4(1)	物忘れが多い	1.いい 2.いいえ	1項目中1項目該当
		12 要介護リスク得点	問11(1)	性別	"2"	1.男性 2.女性	1点	55点中22点以上	問4(2)	バスや電車を使って1人で外出(自家用車可)	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	平均点を集計(55点満点) ※調査票には年齢・性別は含まれていないが、受領するデータには年齢階級と性別があるため、同じ集計で集計
			問11(2)	年齢	"3"	1.65～69 2.70～74 3.75～79 4.80～84 5.85～	9点 8点 15点 21点 25点					
			問4(1)	バスや電車を使って1人で外出	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	3点					
			問4(2)	自分で食品・日用品の買い物	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	1点					
			問4(5)	自分で預貯金の出し入れ	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	2点					
			問3(6)	階段を手すりつたらず	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	5点					
			問3(7)	椅子からつかまらず立つ	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	3点					
			問4(14)	15分続けて歩く	"3"	1.できるし、している 2.できるけど、していない 3.できない	3点					
			問3(4)	過去1年で転んだ経験	"1" or "2"	1.何度もある 2.1度ある 3.ない	3点					
			問3(5)	転倒の不安	"1" or "2"	1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない	3点					
			問11(3)	身長・体重(BMI)	"18.5未満	18.5未満	3点 hghtmz.16 = 身長(m) hghtcz.16 = 身長(cm) wetz.16 = 体重(kg)					
			問3(2)	昨年より外出の回数減	"1" or "2"	1.とても減っている 2.減っている 3.あまり減っていない 4.減っていない	3点					
		13 要介護認定者割合					段間からは集計しない				集計しない	
		14 BMI(18.5未満の人の割合)	問11(3)	身長・体重(BMI)	"18.5未満	18.5未満	hghtmz.16 = 身長(m) hghtcz.16 = 身長(cm) wetz.16 = 体重(kg)	1項目中1項目該当	問3(1)	身長・体重(BMI)	18.5未満	1項目中1項目該当
	社会参加	15 スポーツの会に参加の割合	問6(1)(2)	スポーツグループへの参加頻度	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.参加していない		1項目中1項目該当	問5(1)(2)	スポーツグループへの参加頻度	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.していない	1項目中1項目該当
		16 趣味の会参加割合	問6(1)(3)	趣味関係グループへの参加頻度	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.参加していない		1項目中1項目該当	問5(1)(3)	趣味関係グループへの参加頻度	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.していない	1項目中1項目該当
		17 ボランティアのグループに参加の割合	問6(1)(1)	ボランティアグループへの参加頻度	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.参加していない		1項目中1項目該当	問5(1)(1)	ボランティアグループへの参加頻度	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.していない	1項目中1項目該当
		18 学習・教養サークルに参加の割合	問6(1)(6)	学習・教養グループへの参加頻度	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.参加していない		1項目中1項目該当	問5(1)(4)	学習・教養グループへの参加頻度	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.していない	1項目中1項目該当
		19 特技や経験を他者に伝える活動	問6(1)(8)	特技や経験を他者に伝える活動	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.参加していない		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない
		20 収入のある仕事	問6(1)(9)	収入のある仕事	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.参加していない		1項目中1項目該当	問5(1)(7) オプション	収入のある仕事	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.していない	集計しない
		21 就労していない割合	問14(1)	現在のあなたの就労状態	"2" or "3"	1.就労している 2.就労を希望していない 3.働きたいことがない		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない
	社会的ネットワーク	22 友人知人と会う頻度	問7(1)	友人・知人と会う頻度	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2～3回 3.週1回 4.月1～3回 5.年に数回 6.会っていない 7.1人(いない) 8.1人(いない)	- ニーズ設問と違いあり	1項目中1項目該当	問6(6) オプション	友人・知人と会う頻度	1.毎日ある 2.週に何回かある 3.月に何回かある 4.年に何回かある 5.ほとんどない 6.会っていない 7.1人(いない) 8.1人(いない)	集計しない
		23 交流する友人がいる人の割合(友人2人以下)	問7(2)	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか	"1" or "2"	1.0人(いない) 2.1～2人 3.3～5人 4.6～9人 5.10人以上		1項目中1項目該当	問6(7) オプション	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか	1.0人(いない) 2.1～2人 3.3～5人 4.6～9人 5.10人以上	集計しない



表 指標群(案)		健康とくらしの調査					ニーズ調査					
階層	分類	項目	JAGES設問番号	JAGES設問項目	入力値	選択肢 ※大まか・サブス・ニーズ有	備考	集計の定義	ニーズ設問番号	ニーズ設問項目	選択肢 ※大まか・サブス・ニーズ有	集計の定義
		24	交流する友人がいる人の割合 (友人3～9人)	問7(2)	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか	"3" or "4" 1.0人(いない) 2.1～2人 3.3～5人 4.6～9人 5.10人以上		1項目中1項目該当	問8(7) オプション	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか	1.0人(いない) 2.1～2人 3.3～5人 4.6～9人 5.10人以上	集計しない
		25	交流する友人がいる人の割合 (友人10人以上)	問7(2)	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか	"5" 1.0人(いない) 2.1～2人 3.3～5人 4.6～9人 5.10人以上		1項目中1項目該当	問8(7) オプション	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか	1.0人(いない) 2.1～2人 3.3～5人 4.6～9人 5.10人以上	集計しない
	社会的サポート	26	情緒的サポート受領	問8(1)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	"1" 1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない		1項目中1項目該当	問6(1)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	1項目中1項目該当
		27	情緒的サポート提供	問8(2)	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	"1" 1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない		1項目中1項目該当	問6(2)	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	1項目中1項目該当
		28	手段的サポート受領	問8(3)	あなたの看病や世話をしてくれる人	"1" 1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない		1項目中1項目該当	問6(3)	あなたの看病や世話をしてくれる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	1項目中1項目該当
		29	手段的サポート提供	問8(4)	あなたが看病や世話をしてあげる人	"1" 1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない		1項目中1項目該当	問6(4)	あなたが看病や世話をしてあげる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	1項目中1項目該当

表 指標群(案)		健康とくらしの調査					ニーズ調査						
階層	分類	項目	JAGES設問番号	JAGES設問項目	入力値	選択肢	備考	集計の定義	ニーズ設問番号	ニーズ設問項目	選択肢	集計の定義	
						1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.参加してしない							
			問6(1)(1)	ボランティアグループへの参加頻度	"1"or"2"or"3"or"4"	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.参加してしない	該当する割合を算出する。 (=ボランティア割合)		問5(1)(1)	ボランティアグループへの参加頻度	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.していない		
			問6(1)(2)	スポーツグループへの参加頻度	"1"or"2"or"3"or"4"	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.参加してしない	該当する割合を算出する。 (=スポーツ割合)		問5(1)(2)	スポーツグループへの参加頻度	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.していない		
			問6(1)(3)	趣味関係グループへの参加頻度	"1"or"2"or"3"or"4"	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.参加してしない	該当する割合を算出する。 (=趣味割合)	Civic participation = (ボランティア割合) × 0.6 + (スポーツ割合) × 0.8 + (趣味割合) × 0.9 + (学習割合) × 0.7 + (経験伝達割合) × 0.5	問5(1)(3)	趣味関係グループへの参加頻度	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.していない	集計しない	
			問6(1)(6)	学習・教養グループへの参加頻度	"1"or"2"or"3"or"4"	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.参加してしない	該当する割合を算出する。 (=学習割合)	平均得点を集計	問5(1)(4)	学習・教養グループへの参加頻度	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.していない		
			問6(1)(8)	特技や経験を他者に伝える活動	"1"or"2"or"3"or"4"	1.1以上に4回以上 2.2回～3回 3.3回1回 4.4月1～3回 5.年に数回 6.参加してしない	該当する割合を算出する。 (=経験伝達割合)		-	-	-		
		30	ソーシャル・キャピタル指標	問9(1)	地域の人々は一般的に信用できる	"1"or"2"	1.とても信用できる 2.まあ信用できる 3.どちらともいえない 4.あまり信用できない 5.全く信用できない	該当する割合を算出する。 (=信用割合)		-	-		
				問9(2)	地域の人々は他人の役に立とうとする	"1"or"2"	1.とても役立つ 2.まあ役立つ 3.どちらともいえない 4.あまり役立つ 5.全く役立つ	該当する割合を算出する。 (=互助性割合)	Social cohesion = (信頼割合) × 0.9 + (互助性割合) × 0.8 + (愛着割合) × 0.7	-	-		
				問9(3)	住んでいる地域に愛着がある	"1"or"2"	1.とても愛着がある 2.まあ愛着がある 3.どちらともいえない 4.あまり愛着がない 5.全く愛着がない	該当する割合を算出する。 (=愛着割合)	平均得点を集計	-	-		
				問8(1)	あなたの心記事や患病を聞いてくれる人	"1"	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	該当する割合を算出する。 (=情緒的サポート受領割合)		問6(1)	あなたの心記事や患病を聞いてくれる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	
				問8(2)	あなたが心記事や患病を聞いてあげる人	"1"	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	該当する割合を算出する。 (=情緒的サポート提供割合)	Reciprocity = (情緒的サポート受領割合) × 0.8 + (情緒的サポート提供割合) × 0.7 + (手段的サポート受領割合) × 0.6	問6(2)	あなたが心記事や患病を聞いてあげる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	集計しない
				問8(3)	あなたの看病や世話をしてくれる人	"1"	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	該当する割合を算出する。 (=手段的サポート受領割合)	平均得点を集計	問6(3)	あなたの看病や世話をしてくれる人	1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども 4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人 7.その他 8.そのような人はいない	
			31	新規車介護認定者割合				設問からは集計しない				集計しない	
			32	認知症認定率				設問からは集計しない				集計しない	
			33	総死因死亡率(SMR)				設問からは集計しない				集計しない	
			34	死因別死亡率(がん)				設問からは集計しない				集計しない	
			35	死因別死亡率(脳血管疾患)				設問からは集計しない				集計しない	
			36	生活保護世帯割合				設問からは集計しない				集計しない	
			37	介護保険料				設問からは集計しない				集計しない	
			38	積算勾配指数				設問からは集計しない				集計しない	
			39	積算相対指数				設問からは集計しない				集計しない	
		40	独居	問13(2)	家族構成を教えてください	"1"	1.一人暮らし 2.夫婦二人暮らし(配偶者65) 3.夫婦二人暮らし(配偶者65) 4.息子・娘との2世帯 5.その他(3世帯を含む)		1項目中1項目該当	問(1)	家族構成を教えてください	1.一人暮らし 2.夫婦二人暮らし(配偶者65) 3.夫婦二人暮らし(配偶者65) 4.息子・娘との2世帯 5.その他	1項目中1項目該当
		41	孤食	問2(8)	食事は誰とすることが多いか	"1"	1.ひとり 2.配偶者 3.子ども 4.友人 5.友人 6.その他		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない

表 指標群(案)

指標群(案)		健康とくらしの調査					ニーズ調査					
階層	分類	項目	JAGES設問番号	JAGES設問項目	入力値	選択肢	備考	集計の定義	ニーズ設問番号	ニーズ設問項目	選択肢	集計の定義
42	老研式活動能力指標 IADL(5項目)		問4(1)	バスや電車を使って1人で外出	"3"	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない			問4(2)	バスや電車を使って1人で外出(自家用車可)	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない	5項目中2項目以上該当
			問4(2)	自分で食品・日用品の買い物	"3"	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない			問4(3)	自分で食品・日用品の買い物	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない	
			問4(3)	自分で食事の用意	"3"	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない			問4(4)	自分で食事の用意	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない	
			問4(4)	自分で請求書の支払い	"3"	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない			問4(5)	自分で請求書の支払い	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない	
			問4(5)	自分で預貯金の出し入れ	"3"	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない			問4(6)	自分で預貯金の出し入れ	1.できるししている 2.できるけどしてない 3.できない	
43	老研式活動能力指標 社会的能動性		問4(10)	友達の家を訪ねることがある	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(13) オプション	友人の家を訪ねる	1.はい 2.いいえ	4項目中2項目以上該当
			問4(11)	家族や友だちの相談に乗ることがある	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(14) オプション	家族や友人の相談に乗る	1.はい 2.いいえ	
			問4(12)	病人を見舞う	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(15) オプション	病人を見舞う	1.はい 2.いいえ	
			問4(13)	若い人に自分から話しかける	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(16) オプション	若い人に自分から話しかける	1.はい 2.いいえ	
44	老研式活動能力指標 知的能動性		問4(6)	年金などの書類が書ける	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(9) オプション	年金などの書類が書ける	1.はい 2.いいえ	4項目中2項目以上該当
			問4(7)	新聞を読む	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(10) オプション	新聞を読む	1.はい 2.いいえ	
			問4(8)	本や雑誌を読む	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(11) オプション	本や雑誌を読む	1.はい 2.いいえ	
			問4(9)	健康についての記事や番組への関心	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(12) オプション	健康についての記事や番組への関心	1.はい 2.いいえ	
45	主観的健康感	問1(1)	現在のあなたの健康状態	"1" or "2"	1.とてもいい 2.まあいい 3.あまりよくない 4.よくない		1項目中1項目該当	問7(1)	現在のあなたの健康状態	1.とてもいい 2.まあいい 3.あまりよくない 4.よくない	1項目中1項目該当	
46	幸福感	問11(5)	あなたは、現在どの程度幸せですか	"8"以上		0~10の得点が入力される	8以上	問7(2)	あなたは、現在どの程度幸せですか		8以上	
47	ポジティブ感情		問10(1)	今の生活に満足	"1"	1.はい 2.いいえ			-	-	-	5項目中5項目該当
			問10(6)	普段は気分がよい	"1"	1.はい 2.いいえ			-	-	-	
			問10(8)	自分は幸せな方	"1"	1.はい 2.いいえ			-	-	-	
			問10(12)	こうして生きていることははずばらしい	"1"	1.はい 2.いいえ			-	-	-	
			問10(13)	自分は活力が満ちている	"1"	1.はい 2.いいえ			-	-	-	
48	笑う人	問8(6)	声を出して笑う機会はどのくらいあるか	"1" or "2" or "3"	1.ほぼ毎日 2.月に1~5回程度 3.月に1~3回程度 4.ほとんどない		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない	
49	等価所得		問13(3)	ご自身を含めて何人で暮らしていますか		人数が入力される						集計しない
			問13(4)	世帯全体の合計収入は次のうちどれか		1.80万未満 2.80~100万未満 3.100~150万未満 4.150~200万未満 5.200~280万未満 6.280~300万未満 7.300~400万未満 8.400~600万未満 9.600~800万未満 10.800~700万未満 11.700~800万未満 12.800~900万未満 13.900~1000万未満 14.1000~1200万未満 15.1200万以上	等価所得 = (計算用世帯所得) / √(memb2nb16) 上記で計算した等価所得が200万円未満(低所得者)の人の割合を集計する					
50	教育歴	問11(7)	あなたが受けられた学校教育は何年間か	"1" or "2"	1.6年未満 2.6~9年 3.10~12年 4.13年以上 5.その他		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない	
51	現在喫煙している人の割合	問2(7)	たばこは吸いますか?	"1" or "2"	1.ほぼ毎日吸っている 2.時々吸っている 3.5年以内にやめた 4.5年以上前をやめた 5.もともと吸わない	・ニーズ設問と若干の違いあり	1項目中1項目該当	問7(5)	たばこは吸っていますか?	1.ほぼ毎日吸っている 2.時々吸っている 3.吸っていたがやめた 4.もともと吸っていない	1項目中1項目該当	
52	歩行時間	問3(8)	平均すると1日の合計で何分くらい歩か	"2" or "3" or "4"	1.30分未満 2.30~89分 3.90~89分 4.90分以上		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない	
53	健康づくり活動や趣味等のグループ活動へ参加意向	問6(4)	健康づくり活動や趣味等のグループ活動へ参加したい	"1" or "2"	1.是非参加したい 2.参加してもいい 3.参加したくない		1項目中1項目該当	問5(2)	健康づくり活動や趣味等のグループ活動へ参加意向	1.是非参加したい 2.参加してもいい 3.参加したくない	1項目中1項目該当	
54	健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営への参加意向	問6(3)	健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営へ参加したい	"1" or "2"	1.是非参加したい 2.参加してもいい 3.参加したくない		1項目中1項目該当	問5(3)	健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営への参加意向	1.是非参加したい 2.参加してもいい 3.参加したくない	1項目中1項目該当	
55	健診を受けた人の割合	問1(7)	健診や人間ドックを受けたか	"2" or "3" or "4"	1.1年以内に受けた 2.1年~4年前に受けた 3.4年以上前に受けた 4.行っていない		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない	
56	認知機能低下(基本チェックリスト)		問4(15)	いつも同じことを聞くといわれる	"1"	1.はい 2.いいえ			-	-	-	3項目中1項目以上該当
			問4(16)	自分で電話番号調べて電話する	"2"	1.はい 2.いいえ			問4(2) オプション	自分で電話番号調べて電話する	1.はい 2.いいえ	
			問4(17)	今日が何月何日かわからないことがある	"1"	1.はい 2.いいえ			問4(3) オプション	今日が何月何日かわからないことがある	1.はい 2.いいえ	
57	低栄養(基本チェックリスト)		問11(4)	6か月間で2~3kg以上体重減少	"1"	1.はい 2.いいえ			問3-7 オプション	6か月間で2~3kg以上体重減少	1.はい 2.いいえ	2項目中2項目該当
			問11(3)	身長・体重(BMI)	"18.5"未満	18.5未満	height_16 = 身長(m) height_16 = 身長(cm) wrbt_16 = 体重(kg)		問3(1)	身長・体重(BMI)	18.5未満	
58	認知症にやさしい町 周囲の援助を受けながらの生活の意向	H問18(1)	認知症になったら、助けをもらいながら自宅で生活を続けたい	"1" or "2"	1.そう思う 2.多少は思う 3.あまり思わない 4.あまり思わない 5.全く思わない		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない	
59	認知症にやさしい町 地域活動の参加意向	H問18(2)	認知症の人でも地域活動に参加した方がよいと思う	"1" or "2"	1.そう思う 2.多少は思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全く思わない		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない	
60	認知症にやさしい町 近所の人とのつながり	H問18(5)	家族が認知症になったら、近所の人知ってほしい	"1" or "2"	1.そう思う 2.多少は思う 3.どちらでもない 4.あまり思わない 5.全く思わない		1項目中1項目該当	-	-	-	集計しない	

表 指標群(案)

階層		分類	項目	健康とくらしの調査				ニーズ調査				
階層	分類	項目	JAGES設問番号	JAGES設問項目	入力値	選択肢 ※大文字、サードスペース有	備考	集計の定義	ニーズ設問番号	ニーズ設問項目	選択肢 ※大文字、サードスペース有	集計の定義
		61	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	問13(9)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じますか	"1" or "2"	1.大変楽しい 2.やや楽しい 3.ふつう 4.ややゆとりがある 5.大変ゆとりがある	1項目中1項目該当	問1(3)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じますか	1.大変楽しい 2.やや楽しい 3.ふつう 4.ややゆとりがある 5.大変ゆとりがある	1項目中1項目該当
		62	肥満(BMI25以上)	問11(3)	身長・体重 (BMI)	"25" 以上	25以上	1項目中1項目該当	問3(1)	身長・体重 (BMI)	25以上	1項目中1項目該当
		63	老人クラブ	問6(1)(4)	老人クラブへの参加頻度	"1" or "2" or "3" or "4"	1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.参加してしない	1項目中1項目該当	問5(1)⑤ オプション	老人クラブへの参加頻度	1.週に4回以上 2.週2~3回 3.週1回 4.月1~3回 5.年に数回 6.していない	集計しない



6. (巻末資料6)横浜市でのアンケート調査の記述統計

---



健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 1

■調査票にご回答いただく方について■  
 ●調査票にご回答いただく方とは、ご本人の調査協力に対する同意があるもの、ご記入が困難なために代筆される場合は、ご本人との親類をお書きください。

総数	片側の宛名のご本人	家族	その他	無回答
14573	11831	452	12	2278
100.0	81.2	3.1	0.1	15.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 2

【問1】あなたの身体状況についてお答えをお願いします。

1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

総数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	よい(計)	よくない(計)
14573	2264	9701	1925	313	370	11965	2238
100.0	15.5	66.6	13.2	2.1	2.5	82.1	15.4

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 3

2) あなたは、普段の生活であなたの介護・介助が必要ですか。

総数	介護・介助が必要はない	介護・介助が必要だが受けていない	介護・介助が必要で受けている	無回答
14573	12562	798	325	888
100.0	86.2	5.5	2.2	6.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 4

3) 現在治療中、または後遺症のある病気にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

総数	ない	高血圧	脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎、気管支炎等)	胃腸・肝臓の病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	回答計
14573	2707	5780	377	1434	1770	1786	797	959	1187	1813	362	671	194	153	79	64	2533	884	1297	677	25524
100.0	18.6	39.7	2.6	9.8	12.1	12.3	5.5	6.6	8.1	12.4	2.5	4.6	1.3	1.0	0.5	0.4	17.4	6.1	8.9	4.6	175.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 5

4) 現在ご自身の歯は何本残っていますか。さし歯や金属をかぶせた歯も自分の歯に含めます。なお、成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

総数	0本	1～4本	5～9本	10～19本	20本以上	無回答
14573	975	779	1306	2925	8169	419
100.0	6.7	5.3	9.0	20.1	56.1	2.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 6

5) 噛み合わせは良いですか。

総数	はい	いいえ	無回答
14573	11771	2085	717
100.0	80.8	14.3	4.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 7

6) 「入れ歯(義歯)」などを使っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

総数	使っていない	入れ歯	ブリッジ	インプラント	無回答	回答計
14573	4664	7245	2637	731	373	15650
100.0	32.0	49.7	18.1	5.0	2.6	107.4

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 8

2. と答えた方へ

毎日入れ歯の手入れをしていますか。

該当数	はい	いいえ	無回答
7245	6864	312	69
100.0	94.7	4.3	1.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 9

7) あなたは今までに、職場や保健センター、医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。

総数	1年以内に受けた	1年～4年前に受けた	4年以上前に受けた	受けていない	無回答
14573	7664	2399	1895	2243	372
100.0	52.6	16.5	13.0	15.4	2.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 10

【問2】食事・飲酒・喫煙状況に関することについてお答えをお願いします。

1) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

総数	はい	いいえ	無回答
14573	3867	10518	188
100.0	26.5	72.2	1.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 11

2) お茶や汁物などでむせることがありますか。

総数	はい	いいえ	無回答
14573	2774	11564	235
100.0	19.0	79.4	1.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 12

3) 口の渇きが気になりますか。

総数	はい	いいえ	無回答
14573	3346	10928	299
100.0	23.0	75.0	2.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 13

4) ここ1か月の間に、あなたは、肉や魚をどのくらいの頻度で食べていますか。

総数	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	食べなかった	無回答
14573	2338	6164	2984	2305	369	147	29	247
100.0	16.0	42.3	20.5	15.8	2.5	1.0	0.2	1.7



(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 14  
5) ここ1か月の間に、あなたは、野菜や果物をどのくらいの頻度で食べていますか。

総数	毎日2回以上	毎日1回	週4~6回	週2~3回	週1回	週1回未満	食べなかった	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	7046 48.3	4940 33.9	1424 9.8	762 5.2	140 1.0	75 0.5	16 0.1	170 1.2

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 15  
6) お酒を飲みますか。

総数	現在飲んでいる	5年以内にやめて今は飲んでいない	5年以上前にやめて今は飲んでいない	もともと飲まない	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	5942 40.8	633 4.3	962 6.6	6662 45.7	374 2.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 16  
7) タバコは吸いますか。

総数	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	5年以内にやめて今は吸っていない	5年以上前にやめて今は吸っていない	もともと吸わない	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	1242 8.5	224 1.6	436 3.1	3967 27.2	8444 57.9	230 1.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 17  
8) 食事は誰とすることが多いですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

総数	ひとり	配偶者	子ども	孫	友人	その他	無回答	回答計	
**【総数】**	14573 100.0	3983 27.3	9659 66.3	3912 26.8	1566 10.7	1426 9.8	608 4.2	120 0.8	21274 146.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 18  
9) どなたかと一緒に食事をする機会はありますか。

総数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	4947 33.9	1638 11.4	3899 26.8	2797 19.2	1019 7.0	253 1.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 19  
【問2】あなたの普段の外出や日常の行動についてお答えをお願いします。  
1) あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(畑や農作業へ行く、買い物、通院などを含まず)。

総数	週に4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	していない	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	10138 69.6	3114 21.4	581 4.0	475 3.3	65 0.4	69 0.5	131 0.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 20  
2) 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。

総数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	減っている(計)	減っていない(計)	
**【総数】**	14573 100.0	303 2.1	2764 18.6	4456 30.6	6952 47.7	158 1.1	3007 20.6	11408 78.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 21  
3) あなたが外出する時に利用している交通手段すべてに○をつけてください。

総数	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設設のバス	車いす	電動車いす(カーブ)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	回答計	
**【総数】**	14573 100.0	11837 81.2	2455 16.8	693 4.8	4480 30.7	3153 21.6	9765 67.0	9728 66.8	347 2.4	28 0.2	7 0.0	85 0.6	2072 14.2	106 0.7	102 0.7	44858 307.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 22  
4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

総数	何度もある	1度ある	ない	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	671 4.6	2944 20.2	10769 73.9	189 1.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 23  
5) 転倒に対する不安は大きいですか。

総数	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	不安である(計)	不安でない(計)	
**【総数】**	14573 100.0	1398 9.6	4976 33.5	4156 28.5	3929 27.0	214 1.5	6274 43.1	8085 55.5

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 24  
6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

総数	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	8825 60.6	3823 26.2	1657 11.4	268 1.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 25  
7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

総数	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	11461 78.6	1924 13.2	930 6.4	258 1.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 26  
8) 平均すると1日の合計で何分くらい歩きますか。

総数	30分未満	30~59分	60~89分	90分以上	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	3223 22.1	5750 39.5	2836 19.5	2390 16.4	374 2.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 27  
【問4】日常生活についてお出かけが難しいです。  
1) バスや電車を待つ1人で外出していますか。(自家用車でも可)。

総数	できるし、している	できるけど、して いない	できない	無回答
**【総数】**	14573 100.0	13285 91.2	736 5.1	402 2.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 28  
2) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

総数	できるし、している	できるけど、して いない	できない	無回答
**【総数】**	14573 100.0	12272 84.2	1791 12.3	357 2.4

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 29  
3) 自分で食事の用意をしていますか。

総数	できるし、している	できるけど、して いない	できない	無回答
**【総数】**	14573 100.0	10413 71.5	3146 21.6	850 5.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 30  
4) 自分で請求書の支払いをしていますか。

総数	できるし、している	できるけど、して いない	できない	無回答
**【総数】**	14573 100.0	12398 84.4	1772 12.2	315 2.2

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 31  
5) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

総数	できるし、している	できるけど、して いない	できない	無回答
**【総数】**	14573 100.0	12311 84.3	1726 11.8	409 2.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 32  
6) 年金などの書類(税研や納税などに出す書類)が書けますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	13520 92.8	858 5.9	195 1.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 33  
7) 新聞を読んでいますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	12384 85.0	1934 13.3	255 1.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 34  
8) 本や雑誌を読んでいますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	11532 79.1	2756 18.9	285 2.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 35  
9) 健康についての記事や番組に関心がありますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	13313 91.4	1044 7.2	216 1.5

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 36  
10) 友達の家を訪ねることがありますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	7218 49.5	7069 48.5	286 2.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 37  
11) 家族や友だちの相談にのることがありますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	10893 74.7	3376 23.2	304 2.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 38  
12) 昔人を見舞うことができますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	12879 88.4	1352 9.3	342 2.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 39  
13) 若い人に自分から話しかけることがありますか。

総数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	14573 100.0	10888 74.7	3389 23.3	296 2.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 40  
1.4) 1.5分位続けて歩いていますか。

	総数	できるし、している	できるだけしていない	できない	無回答
**【総数】**	14573	12743	1274	415	141
	100.0	87.4	8.7	2.8	1.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 41  
1.5) 周知の人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるとされますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	1704	12634	235
	100.0	11.7	86.7	1.6

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 42  
1.6) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	13379	1021	173
	100.0	91.8	7.0	1.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 43  
1.7) 今日が何月何日かわからない時がありますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	3357	11041	175
	100.0	23.0	75.8	1.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 44  
1.8) 物忘れが多いと感じますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	5598	8736	239
	100.0	38.4	59.9	1.6

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 45  
【問5】趣味・おけいこ事についておうかがいします。  
1) 趣味はありますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	12668	1601	304
	100.0	86.9	11.0	2.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 46  
【問5】1) で「1. はい」と答えた方へ  
2) あなたが行っている趣味は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	該当数	ゴルフ	パチンコ	体操・太極拳	散歩・ジョギング	パソコン	読書	囲碁・将棋・麻雀	絵画・絵手紙	釣り	カラオケ	舞踊・ダンス	手工芸	書道	茶道・華道	農作物の栽培	園芸・庭いじり	写真撮影	旅行	その他	無回答	回答計	
**【総数】**	12668	462	1398	526	2236	5110	2504	4668	1551	996	609	1934	712	2064	689	433	1092	4728	1496	4864	3015	52	41139
	100.0	3.6	11.0	4.2	17.7	40.3	19.8	36.8	12.2	7.9	4.8	15.3	5.6	16.3	5.4	3.4	8.6	37.3	11.8	38.4	23.8	0.4	324.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 47  
【問6】参加している会やグループ、仕事についておうかがいします。  
1) あなたは下記のような会・グループにどのくらいの頻度で参加していますか。  
(1) ボランティアのグループ

	総数	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	191	490	483	1097	802	9796	1714
	100.0	1.3	3.4	3.3	7.5	5.5	67.2	11.8

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 48  
(2) スポーツ関係のグループやクラブ

	総数	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	841	1504	1066	971	468	7613	2110
	100.0	5.8	10.3	7.3	6.7	3.2	52.2	14.5

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 49  
1~5. と回答した方へ  
スポーツ関係のグループやクラブに参加しておこなっている運動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	該当数	散歩(ウォーキング)	ジョギング・ランニング	体操	筋力トレーニング	登山・ハイキング	ゴルフ	グラウンドゴルフ	ゲートボール	ダンス	ヨガ	エアロビクス	バタング	太極拳	水泳	水中運動	卓球	ボウリング	サイクリング	テニス	その他	無回答	回答計
**【総数】**	4890	1243	188	1392	875	392	874	365	49	452	394	205	62	278	482	340	229	109	37	269	463	138	8836
	100.0	25.6	3.9	28.7	18.0	8.1	18.0	7.5	1.0	9.3	8.1	4.2	1.3	5.7	9.9	7.0	4.7	2.2	0.8	5.5	9.5	2.8	182.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 50  
(3) 趣味関係のグループ

	総数	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	634	1491	1304	2300	819	6640	1385
	100.0	4.4	10.2	8.9	15.8	5.6	45.6	9.5

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 51  
(4) 老人クラブ

	総数	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	63	161	150	677	600	11301	1621
	100.0	0.4	1.1	1.0	4.6	4.1	77.5	11.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 52  
(5) 町内会・自治会

	総数	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	60	157	183	1293	2647	8747	1486
	100.0	0.4	1.1	1.3	8.9	18.2	60.0	10.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 53  
(6) 学習・教養サークル

	総数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	69	188	378	906	670	10709	1653
	100.0	0.5	1.3	2.6	6.2	4.6	73.5	11.3

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 54  
(7) 介護予防・健康づくりの活動

	総数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	190	299	337	465	604	11147	1541
	100.0	1.2	2.1	2.3	3.2	4.1	76.5	10.6

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 55  
(8) 特技や経験を他者に伝える活動

	総数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
**【総数】**	14573	154	227	267	570	676	11325	1344
	100.0	1.1	1.6	1.8	3.9	4.6	77.7	9.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 56  
(9) 収入のある仕事

	総数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	無回答
**【総数】**	14573	1783	854	220	358	312	9918	1128
	100.0	12.2	5.9	1.5	2.5	2.1	68.1	7.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 57

2) 1) の(1)～(9)のうち、ただ参加するだけでなく運営に関わっている活動グループはどれですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	総数	ボランティア	スポーツ	趣味	老人クラブ	町内会・自治会	学習・教養サークル	介護予防・健康づくり	特技や経験に伝える	収入のある仕事	いずれもいない	無回答	回答計
**【総数】**	14573	854	575	938	515	1308	316	211	466	1525	7439	2528	16675
	100.0	5.9	3.9	6.4	3.5	9.0	2.2	1.4	3.2	10.5	51.0	17.3	114.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 58

3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加したいと思いますか。

	総数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
**【総数】**	14573	451	8253	7729	1140
	100.0	3.1	56.6	53.0	7.8

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 59

4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加したいと思いますか。

	総数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
**【総数】**	14573	803	7446	5325	999
	100.0	5.5	51.1	36.5	6.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 60

【問7】あなたの友人関係についてお聞きします。

1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

	総数	週4回以上	週2～3日	週1回	月1～3回	年に数回	会っていない	無回答
**【総数】**	14573	1889	2521	1743	3422	3096	1544	358
	100.0	13.0	17.3	12.0	23.5	21.2	10.6	2.5

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 61

2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。

	総数	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
**【総数】**	14573	1619	2536	3288	1976	4741	413
	100.0	11.1	17.4	22.6	13.6	32.5	2.8

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 62

3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	総数	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や心が同じ友人	ボランティアなどの活動での友人	その他	いない	無回答	回答計
**【総数】**	14573	6711	805	2900	5017	6077	1494	1736	917	399	25966
	100.0	46.1	5.5	19.9	34.4	41.7	9.6	11.9	6.3	2.7	178.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 63

【問8】あなたとまわりの人の「たすけあい」と「笑い」についてお聞きします。

1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいいますか。(あてはまるすべてに○)

	総数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのようない人はいない	無回答	回答計
**【総数】**	14573	8120	2680	4602	4770	2023	6550	382	814	248	30189
	100.0	55.7	18.4	31.6	32.7	13.9	44.9	2.6	5.6	1.7	207.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 64

2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいいますか。(あてはまるすべてに○)

	総数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのようない人はいない	無回答	回答計
**【総数】**	14573	7544	2444	4652	5158	2669	6693	398	1008	328	30894
	100.0	51.8	16.8	31.9	35.4	18.3	45.9	2.7	6.9	2.3	212.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 65

3) あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいいますか。(あてはまるすべてに○)

	総数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのようない人はいない	無回答	回答計
**【総数】**	14573	9327	3911	5029	2142	536	919	219	789	239	23111
	100.0	64.0	26.8	34.5	14.7	3.7	6.3	1.5	5.4	1.6	158.6

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 66

4) 反対に、香病や世話をしてあげる人はいますか。(あてはまるすべてに○)

総数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのよう な人は いない	無回答	回答計
14573	8654	3086	3812	3209	617	1052	177	2367	537	23511
100.0	59.4	21.2	26.2	22.0	4.2	7.2	1.2	16.2	3.7	161.3

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 67

5) あなたに何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか。(あてはまるすべてに○)

総数	同居家族	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣・友人	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・居宅・夜間	その他	そのよう な人は いない	無回答	回答計
14573	9429	7322	5503	3809	576	806	515	2204	935	263	542	294	32198
100.0	64.7	50.2	37.8	26.1	4.0	5.5	3.5	15.1	6.4	1.8	3.7	2.0	220.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 68

6) 普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか。

総数	ほぼ毎日	週に1〜5 回程度	月に1〜3 回程度	ほとんど ない	無回答
14573	5971	5466	1778	937	421
100.0	41.0	37.5	12.2	6.4	2.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 69

7) どんなときによく笑いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

総数	友人と話をしているとき	夫婦で話をしているとき	子供や孫と遊んでいるとき	テレビやラジオをみているとき	ラジオを聴いているとき	英語や外国語を勉強しているとき	読書や雑談をみているとき	その他	無回答	回答計
14573	8820	6538	7391	10527	2182	2121	849	525	444	39397
100.0	60.5	44.9	50.7	72.2	15.0	14.6	5.8	3.6	3.0	270.3

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 70

【問9】あなたの住んでいる地域についてお聞きします。

1) あなたの地域の人は、一般的に信用できると思いますか。

総数	とても信用できる	まあ信用できる	どちらともいえない	あまり信用できない	全く信用できない	無回答	信用できる(計)	信用できない(計)
14573	1862	8047	3872	363	114	315	9909	477
100.0	12.8	55.2	26.6	2.5	0.8	2.2	68.0	3.3

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 71

2) あなたの地域の人は、多くの場合、他の人の役に立ちたいと思いますか。

総数	とてもそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	そう思う(計)	そう思わない(計)
14573	1011	6722	5187	1004	263	386	7733	1267
100.0	6.9	46.1	35.6	6.9	1.8	2.6	53.1	8.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 72

3) あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。

総数	とても愛着がある	まあ愛着がある	どちらともいえない	あまり愛着がない	全く愛着がない	無回答	愛着がある(計)	愛着がない(計)
14573	3717	7748	2122	616	126	244	11465	742
100.0	25.5	53.2	14.6	4.2	0.9	1.7	78.7	5.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 73

4) あなたは、地域内のご近所の方とどのようなつきあいをされていますか。

総数	生活面で協力しあっている人もいます	立ち話程度はあはしている	挨拶程度はあはしているのみ	つきあいは全くしていません	無回答
14573	1993	7788	4147	447	198
100.0	13.7	53.4	28.5	3.1	1.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 74

5) あなたの家から徒歩圏内(おおむね1キロ以内)に、次のような場所はどのくらいありますか。

①運動や散歩に適した公園や歩道

総数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
14573	4644	8040	1301	144	190	254	12684	1445
100.0	31.9	55.2	8.9	1.0	1.3	1.7	87.0	9.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 75

②生鮮食品(肉、魚、野菜、果物など)が手に入る商店・施設・移動販売

総数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
14573	5483	7133	1462	235	41	219	12616	1697
100.0	37.6	48.9	10.0	1.6	0.3	1.5	86.6	11.6

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 76

6) あなたはあなたのような方法で、生鮮食品を入手していますか。(あてはまるすべてに○)

総数	自分で出かけて買い物	家族等の送迎で買い物	送迎サービスを利用し買い物	家族等に頼む	買い物代行サービスを利用	宅配サービスを利用	無回答	回答計
14573	12088	2153	65	3712	63	1981	244	20526
100.0	83.5	14.8	0.4	25.5	0.4	13.6	1.7	140.3

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 77

【問10】次の問いを讀んで、あてはまるものに○をつけてください。

1) 今の生活に満足していますか。

総数	はい	いいえ	無回答
14573	12088	2067	418
100.0	82.9	14.2	2.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 78

2) 生まれても仕方がないという気持ちになることがありますか。

総数	はい	いいえ	無回答
14573	2045	12119	409
100.0	14.0	83.2	2.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 79  
3) 毎日の活動力や世間に対する関心がなくなってきたように感じますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	2644 18.1	11469 78.7	460 3.2

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 80  
4) 生きているのが行かないように感じますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	1768 12.1	12347 84.7	458 3.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 81  
5) 退屈に思うことがよくありますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	2884 19.9	11269 77.3	410 2.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 82  
6) 普段は気分がよいですか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	12483 85.7	1574 10.8	516 3.5

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 83  
7) なにか悪いことがおこりそうな気がしますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	2287 15.7	11741 80.6	545 3.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 84  
8) 自分は幸せなほうだと思いますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	12917 88.6	1231 8.4	425 2.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 85  
9) どうしようもないと思うことがよくありますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	3738 25.7	10310 70.7	525 3.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 86  
10) 外に出かけるよりも家にいることのほうが好きですか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	5471 37.5	8457 58.0	645 4.4

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 87  
11) ほかの人以上り物忘れが多いと思いますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	1782 12.2	12391 84.3	500 3.4

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 88  
12) こうして生きていることはずばらしいと思いますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	11488 78.8	2397 16.4	688 4.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 89  
13) 自分は活力が落ちていると感じますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	7711 52.9	6192 42.5	670 4.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 90  
14) みんな暮らしでは希望がないと思いますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	2083 14.3	11879 81.5	611 4.2

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 91  
15) ほかの人は、自分より裕福だと思いますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573 100.0	4381 30.1	9282 63.7	910 6.2

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 92  
16) (ここ2週間) 毎日の生活に苦みを感じない。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	2042	11997	534
	100.0	14.0	82.3	3.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 93  
17) (ここ2週間) これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなった。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	1481	12555	537
	100.0	10.2	86.2	3.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 94  
18) (ここ2週間) 以前は薬にできていたことが今ではおっくうに感じられる。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	3381	10716	476
	100.0	23.2	73.5	3.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 95  
19) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だとは思えない。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	2907	11055	611
	100.0	19.9	75.9	4.2

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 96  
20) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	3364	10727	482
	100.0	23.1	73.6	3.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 97  
21) この1か月間、気分がどんがり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	4131	10050	392
	100.0	28.3	69.0	2.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 98  
22) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	2480	11651	442
	100.0	17.0	79.9	3.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 99  
【問11】あなた自身のことについておかがいします。  
1) 性別

	総数	男性	女性	無回答
**【総数】**	14573	6746	7783	44
	100.0	46.3	53.4	0.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 100  
2) 年齢

	総数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	平均(歳)
**【総数】**	14573	3346	3963	3687	2354	1223	1095076
	100.0	23.0	27.2	25.3	16.2	8.4	75.14

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 101  
3) あなたの現在の身長と体重を教えてください(おおよその数値で結構です)。  
【身長】

	総数	140cm未満	140cm～144cm	145cm～149cm	150cm～154cm	155cm～159cm	160cm～164cm	165cm～169cm	170cm～174cm	175cm～179cm	180cm以上	無回答	平均(cm)
**【総数】**	14573	135	470	1756	3058	2529	2641	2140	1241	355	67	181	2273392
	100.0	0.9	3.2	12.0	21.0	17.4	18.1	14.7	8.5	2.4	0.5	1.2	157.96

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 102  
3) あなたの現在の身長と体重を教えてください(おおよその数値で結構です)。  
【体重】

	総数	40kg未満	40kg～44kg	45kg～49kg	50kg～54kg	55kg～59kg	60kg～64kg	65kg～69kg	70kg～74kg	75kg～79kg	80kg～84kg	85kg～89kg	90kg～94kg	95kg～99kg	100kg以上	無回答	平均(kg)
**【総数】**	14573	397	1209	2055	2734	2322	2395	1534	977	416	220	76	34	9	2	193	815341
	100.0	2.7	8.3	14.1	18.8	15.9	16.4	10.5	6.7	2.9	1.5	0.5	0.2	0.1	0.0	1.3	56.70

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 103  
4) この半年間に体重が2～3kg以上減少しましたか。

	総数	はい	いいえ	無回答
**【総数】**	14573	1832	12434	307
	100.0	12.6	85.3	2.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 104  
5) あなたは、現在の程度幸せですか(「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてご記入ください)

	総数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均(点)
**【総数】**	14573	49	40	70	191	351	2339	1476	2596	3466	1604	1986	405	102904
	100.0	0.3	0.3	0.5	1.3	2.4	16.1	10.1	17.8	23.8	11.0	13.6	2.8	7.26

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 105

6) あなたは今住んでいるところのどのくらいの間住んでいますか。

総数	5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50～59年	60～69年	70～79年	80年以上	無回答	平均(年)
14573	796	796	2063	1918	3077	3197	1480	579	329	128	218	46836.3
100.0	5.5	5.5	14.2	13.2	21.1	21.9	10.2	4.0	2.3	0.9	1.5	32.62

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 106

7) あなたが受けられた学校教育は何年間でしたか。

総数	6年未満	6～9年	10～12年	13年以上	その他	無回答
14573	92	2997	5725	5552	84	123
100.0	0.6	20.6	39.3	38.1	0.6	0.8

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 107

8) この1年間に起こったことについてお答えください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

総数	仕事を始めた	仕事をやめた	子どもを同居させた	一人暮らしを始めた	経済的な余裕ができた	経済的な困難が増えた	孫・ひ孫が生まれた	孫・ひ孫が亡くなった	配偶者ができた	家族や親戚の介護を受けた	その他	とくに変化はなかった	無回答	回答計
14573	359	628	286	379	503	1696	1279	37	4724	1473	1166	583	669	5289
100.0	2.5	4.3	2.0	2.6	3.5	11.6	8.8	0.3	32.4	10.1	8.0	4.0	4.6	36.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 108

【問12】ふだん1日に仕事をふくめて体をうごかす時間や座っている時間はどれくらいですか。

1) 身体が働かぬ(動かない)時間を教えてください。

総数	なし	1時間未満	1時間以上	無回答
14573	7319	2920	3826	508
100.0	50.2	20.0	26.3	3.5

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 109

2) 座っている時間

総数	3時間未満	3～8時間未満	8時間以上	無回答
14573	4178	8916	1190	289
100.0	28.7	61.2	8.2	2.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 110

3) 歩いたり立っている時間

総数	1時間未満	1～3時間未満	3時間以上	無回答
14573	1836	6263	6269	205
100.0	12.6	43.0	43.0	1.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 111

【問13】あなたのご家庭についてお答えください。

1) あなたの婚姻状態は、次のうちのどれにあてはまりますか。

総数	配偶者がいる(内縁を含む)	死別	離別	未婚	その他	無回答
14573	10198	2919	731	477	92	156
100.0	70.0	20.0	5.0	3.3	0.6	1.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 112

2) 家族構成を教えてください。

総数	一人暮らし	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
14573	2488	6807	488	2728	1231	771
100.0	17.1	47.1	3.3	18.7	8.4	5.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 113

3) ご自身を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方は何人ですか(すべてに○)。

総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均(人)
14573	1894	6782	2638	853	475	302	118	18	7	8	1478	32089
100.0	13.0	46.5	18.1	5.9	3.3	2.1	0.8	0.1	0.0	0.1	10.1	2.45

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 114

3) ご自身を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方は何人ですか(すべてに○)。

(同居されている方)

総数	いない	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	自分の父	自分の母	配偶者の父	配偶者の母	その他	無回答	回答計
14573	1733	9908	2924	2367	941	1348	151	13	133	15	99	181	792	20605
100.0	11.9	68.0	20.1	16.2	6.5	9.2	1.0	0.1	0.9	0.1	0.7	1.2	5.4	141.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 115

4) 3)で答えた世帯全体の合計収入額(年金を含みます)は、平成27年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか(税引前です)。あてはまる番号1つに○をつけてください。

総数	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	無回答
14573	246	495	833	1185	1519	1696	2485	1541	973	540	448	258	282	280	419	1373
100.0	1.7	3.4	5.7	8.1	10.4	11.6	17.1	10.6	6.7	3.7	3.1	1.8	1.9	1.9	2.9	9.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 116

5) 3)で答えた世帯全体の資産についてお聞かせください。貯金、不動産(家、土地、マンション等)、株、ゴルフ会員権等、全ての資産の合計額であてはまる番号1つに○をつけてください。

総数	50万円未満	50～100万円未満	100～500万円未満	500～1000万円未満	1000～5000万円未満	5000万円以上	無回答
14573	692	427	1229	1443	5505	2906	2371
100.0	4.7	2.9	8.4	9.9	37.8	19.9	16.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 117

6) あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。

総数	持家(単戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(単戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
14573	8622	3325	1017	102	830	265	231	181
100.0	59.2	22.8	7.0	0.7	5.7	1.8	1.6	1.2



(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 118  
7) あなたの年金についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

	総数	国民年金	厚生年金	共済年金	企業年金	個人年金 (民間生 後などの 年金)	1～5は どれも受 給してい ない	無回答	回答計
**【総数】**	14573	8171	9836	1374	2587	1207	446	189	23810
	100.0	56.1	67.5	9.4	17.8	8.3	3.1	1.3	163.4

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 119  
8) あなたは現在、生活保護を受給していますか。

	総数	受給して いない	受給して いる	現在申請 中	無回答
**【総数】**	14573	14008	379	12	174
	100.0	96.1	2.6	0.1	1.2

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 120  
9) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

	総数	大変苦し い	やや苦し い	ふつ つ	ややゆと りがある	大変ゆと りがある	無回答	苦しい (計)	ゆとりが ある (計)
**【総数】**	14573	828	2909	8148	2099	487	102	3767	2556
	100.0	5.7	20.2	55.9	14.4	3.1	0.7	25.8	17.5

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 121  
10) あなたが15歳当時の生活程度は、世間一般からみて、次のどれに入るとおもいますか。

	総数	上	中の上	中の中	中の下	下	無回答	上(計)	下(計)
**【総数】**	14573	396	2050	6396	3464	1504	763	2446	4968
	100.0	2.7	14.1	43.9	23.8	10.3	5.2	16.8	34.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 122  
【問14】現在・過去の就労についておうかがいたします。  
1) 現在のあなたの就労状態はどれですか。

	総数	就労して いる	退職して いない が	無回答	
**【総数】**	14573	2902	8336	1067	2178
	100.0	20.3	57.2	7.3	14.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 123  
2) あるいは3と回答した方へ  
現在、仕事を探していますか。

	該当数	探してい る	探してい ない	無回答
**【総数】**	9403	259	8289	855
	100.0	2.8	88.2	9.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 124  
2) あなたのこれまでの仕事の中で、最も長くつとめた職種はなんですか。

	総数	専門・技 術職	管理職	事務職	販売・サ ービス職	技術・労 務職	農林漁業 職	農林漁業 以外の自 営職	その他	職に就い たことが ない	無回答
**【総数】**	14573	2571	1498	3124	2254	1321	80	221	959	968	1577
	100.0	17.6	10.3	21.4	15.5	9.1	0.5	1.5	6.6	6.6	10.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 125  
3) あなたのこれまで最も長くつとめた会社・組織全体には、何人ぐらいの方が働いていましたか。

	総数	1～9人	10～49人	50～499 人	500～ 9999人	1万人 以上	わから ない	職に就い たことが ない	無回答
**【総数】**	14573	1612	2017	2849	3113	2004	716	969	1293
	100.0	11.1	13.8	19.5	21.4	13.8	4.9	6.6	8.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 126  
【問15】病気や予防接種などについておうかがいたします。  
1) 過去1年間にインフルエンザの予防接種を受けましたか。受けなかった方は理由も教えてください。

	総数	受けな かった	受けた	無回答
**【総数】**	14573	6307	7690	576
	100.0	43.3	52.8	4.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 127  
1) 受けなかった」と回答した方へ  
受けなかった理由(あてはまるものすべてに○)

	該当数	受けな くても病 気になら ないから	注射が嫌 いだから	経済的な 理由	知らな かった	無回答	回答計
**【総数】**	6307	4565	810	317	432	502	6626
	100.0	72.4	12.8	5.0	6.8	8.0	105.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 128  
2) 過去5年間に肺炎球菌の予防接種を受けましたか。受けなかった方は理由も教えてください。

	総数	受けな かった	受けた(自 助会を使 った)	受けた(自 助会を使 用を不 使用)	無回答
**【総数】**	14573	7834	4320	1574	845
	100.0	53.8	29.6	10.8	5.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 129  
1) 受けなかった」と回答した方へ  
受けなかった理由(あてはまるものすべてに○)

	該当数	受けな くても病 気になら ないから	注射が嫌 いだから	経済的な 理由	知らな かった	1～4以 外の理 由	無回答	回答計
**【総数】**	7834	3085	565	353	2224	1628	360	8215
	100.0	39.4	7.2	4.5	28.4	20.8	4.6	104.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 130  
3) 過去1年間に次の病気にかかりましたか。あてはまるすべてに○をつけてください。

	総数	インフル エンザ	肺炎	いずれも ない	無回答	回答計
**【総数】**	14573	520	230	11749	2160	14599
	100.0	3.6	1.6	80.6	14.4	100.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 131

(インフルエンザまたは肺炎と答えた方のみ)  
そのとき、一度でも入院しましたか(あてはまるものすべてに○)

該当数	入院しなかった	インフルエンザで入院した	肺炎で入院した	別の病気で入院した	別の病気で入院中に肺炎になった	無回答	回答計
**【総数】**	724 100.0	552 76.2	8 1.1	84 11.6	5 0.7	13 1.8	66 9.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 132

A【問16】歯や口腔内のケアについてお聞きします。

1) お口(歯や歯ぐき、入れ歯)の健康状態はいかがですか。

該当数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	よい(計)	よくない(計)
**【総数】**	1793 100.0	208 11.6	1005 56.1	415 23.1	99 5.5	66 3.7	1213 67.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 133

2) 最後に、「治療」(入れ歯の調整も含む)のために歯科医院に通院したのはいつですか。

該当数	半年以内	半年～1年前	1～3年前	3年以上前	いったことがない	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	817 45.6	342 19.1	253 14.1	243 13.6	48 2.7	90 5.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 134

3) 最後に、「治療以外」(健診など)で歯科医院に通院したのはいつですか。

該当数	半年以内	半年～1年前	1～3年前	3年以上前	いったことがない	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	751 41.9	247 13.8	189 10.5	195 10.9	299 16.7	112 6.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 135

4) 過去6カ月以内に、歯や歯ぐき、入れ歯の問題はありましたか(すべてに○)

該当数	食事をするのが困難だった	うまく話せることができなかった	歯を見せたい気分がなかった	音や臭い、味がよくない	家族等と一緒に問題がなかった	無回答	回答計
**【総数】**	1793 100.0	245 13.7	75 4.2	92 5.1	34 1.9	18 1.0	1294 72.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 136

5) どれくらいの頻度で歯みがきしますか(人にやってもらった場合も含む)。

該当数	1日3回以上	1日2回	1日1回	ときどきみがく	みがかない	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	468 26.1	860 48.0	360 20.1	23 1.3	12 0.7	70 3.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 137

6) 歯みがきの際に利用しているものを選んでください(すべてに○)。

該当数	歯ブラシ	歯みがき粉	糸ようじ・歯間ブラシ	液体歯みがき	歯ブラシ	その他	無回答	回答計
**【総数】**	1793 100.0	1649 92.0	1075 60.0	860 48.0	316 17.6	135 7.5	89 5.0	85 4.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 138

7) お口などの食事以外の開食をどのくらいの頻度でしますか。

該当数	毎日3回以上	毎日2回	毎日1回	週2～6回	週1回以下	しない	無回答
**【総数】**	1793 100.0	54 3.0	331 18.5	664 37.0	309 17.2	123 6.9	234 13.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 139

8) この1年間に、自然に歯が抜けたり、治療で抜いてもらったことはありますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	298 16.6	1379 76.9	116 6.5

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 140

9) よりはずし式の「入れ歯」を使っていますか(すべてに○)。

該当数	食事の時に使用する	外出する時に使用する	寝ている時に使用する	1～3以外に使用する	入れ歯は持っているが使っていない	入れ歯は持っていない	無回答	回答計
**【総数】**	1793 100.0	676 37.7	570 31.8	136 7.6	172 9.6	87 4.9	722 40.3	175 9.8

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 141

10) 9)で「1. 食事の時に使用する」～「4. 1～3以外に使用する」と答えた方にお聞きします。ご自身で行なっている入れ歯の洗い方を教えてください(すべてに○)。

該当数	はずして入れ歯洗剤で洗う	はずして歯ブラシで洗う	はずして水洗い	はずさずに歯ブラシやうがい	はずさずにうがいのみ	洗わない	無回答	回答計
**【総数】**	809 100.0	502 69.5	505 62.4	194 24.0	11 1.4	2 0.2	1 0.1	22 2.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 142

A【問17】 あなたの住んでいる地域についてお聞きします。

1) あなたのお住まいの地域には、次のような場所はどのくらいありますか。

①歩行が困難な方や目・耳の自由な方でも、利用に支障がない公共施設

該当数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
**【総数】**	1793 100.0	40 2.2	418 23.3	327 18.2	140 7.8	802 44.7	66 3.7	458 25.5

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 143

②歩行が困難な方や目・耳の自由な方でも、利用に支障がない電車やバスの車両

該当数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
**【総数】**	1793 100.0	76 4.2	548 30.6	278 15.5	81 4.5	731 40.8	79 4.4	624 34.8

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 144  
2) あなたの家から徒歩圏内(10~15分以内で歩ける範囲)に、次のような場所はどのくらいありますか。  
①車いす・杖・歩行器などを利用される方でも、歩行に支障のない通り

該当数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
**【総数】**	1793 100.0	94 4.7	601 33.5	423 23.6	153 8.5	452 25.2	80 4.5	685 38.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 145  
②電車・地下鉄などの駅やバス停

該当数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
**【総数】**	1793 100.0	206 11.5	989 55.2	233 13.0	74 4.1	218 12.2	73 4.1	1195 66.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 146  
③手頃な価格の住まい

該当数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
**【総数】**	1793 100.0	34 1.9	426 23.8	310 17.3	62 3.5	855 47.7	106 5.9	460 25.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 147  
A【問18】緑茶を飲む習慣についてお答えいただけます。  
1) 緑茶を、1日に何杯くらい飲めますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当数	ほとんど飲まない	1日に1杯くらい	1日に2杯くらい	1日に4杯くらい	1日に7杯以上	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	272 15.2	302 16.8	636 35.5	408 22.8	132 7.4	43 2.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 148  
2) 緑茶は誰と飲むことが多いですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

該当数	ひとり	配偶者	子ども	孫	友人	その他	飲まない	無回答	回答計
**【総数】**	1793 100.0	821 45.8	943 52.6	235 13.1	56 3.1	215 12.0	79 4.4	154 8.6	77 4.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 149  
A【問19】あなたはこの1年間に、誰から次のようなことをされた経験はありますか。  
1) 服られる、けられる、物を投げつけられる、とじこめられるなどの身体的暴行

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	14 0.8	1741 97.1	38 2.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 150  
2) 暴言を吐かれる、嫌味を言われる、長い間無視されるなどの自尊心を傷つけられる行為

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	89 5.0	1663 92.7	41 2.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 151  
3) あなたの預金や年金を、あなたの了解なしに使ったり取り上げたりされた(家族からも含む)

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1793 100.0	0 0.0	1747 97.4	37 2.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 152  
B【問16】過去1か月間の眠りについてお聞きます。  
1) 1日あたりの平均睡眠時間(起床を含む)はどれくらいでしたか。

該当数	5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上8時間未満	8時間以上9時間未満	9時間以上	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	128 6.9	479 25.9	624 33.7	405 21.9	152 8.2	33 1.8	30 1.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 153  
2) どれくらいの頻度で、眠るための薬を服用しましたか。

該当数	なし	週1回未満	1週間に1~2回	1週間に3回以上	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	1464 79.1	60 3.2	35 1.9	218 11.8	74 4.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 154  
B【問17】過去1か月間に、少なくとも週3回以上経験したものを1つずつ選んでください。  
1) 寝つき(起床してから眠るまでに要する時間)について

該当数	いつも寝つきはよかったです	少し寝つきはよかったです	寝つきは普通にかかった	寝つきは悪かったです	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	1102 59.5	482 26.0	151 8.2	28 1.5	88 4.8

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 155  
2) 夜間、睡眠の途中で目が覚めることについて

該当数	問題になるほどのことはなかった	少し困ることがあった	かなり困った	深刻だった・全く眠れなかった	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	1230 66.5	408 22.0	115 6.2	13 0.7	85 4.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 156  
3) 希望する起床時刻より早く目覚め、それ以上眠れないことについて

該当数	そのようなことはなかった	少し早かった	かなり早かった	非常に早かった・全く眠れなかった	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	904 48.8	676 36.5	141 7.6	31 1.7	99 5.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 157

4) 総睡眠時間について

該当数	十分だった	少し足りなかった	かなり足りなかった	全く足りない・全く眠れなかった	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1007 54.4	634 34.3	117 6.3	14 0.8
					79 4.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 158

5) 全体的な睡眠の質について(睡眠時間の長さに関わらない)

該当数	満足だった	少し不満だった	かなり不満だった	非常に不満・全く眠れなかった	無回答
**【総数】**	1851 100.0	953 51.5	669 36.1	132 7.1	15 0.8
					82 4.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 159

6) 日中の気分について

該当数	いつもどおりだった	少しめいだった	かなりめいだった	非常にめいだった	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1481 80.0	253 13.7	28 1.5	5 0.3
					84 4.5

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 160

7) 日中の身体的な活動、および精神的な活動について

該当数	いつもどおりだった	少し低下した	かなり低下した	非常に低下した	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1325 71.6	355 19.2	71 3.8	12 0.6
					88 4.8

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 161

8) 日中の眠気について

該当数	全くなかった	少しあった	かなりあった	激しかった	無回答
**【総数】**	1851 100.0	474 25.6	1181 63.8	115 6.2	5 0.3
					76 4.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 162

B【問18】あなたのご家庭の食料調達についてお聞きします。  
1) あなたの日頃の食事は、主にどのように準備されますか。最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

該当数	自分で調理	家族が調理	弁当・惣菜等の購入	宅配・食サービスの利用	その他	無回答
**【総数】**	1851 100.0	972 52.5	665 35.9	54 2.9	14 0.8	16 0.9
						130 7.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 163

2) サロン活動や地域での会食など、町内会やその他のグループや行政などの主催の事業や行事で、みんなと食事をするのはどのくらいありますか。友人などとの個人的な会食は含みません。

該当数	週2回以上	週1回くらい	月1~3回	年に数回	ほとんどない	全くない	無回答
**【総数】**	1851 100.0	30 1.6	43 2.3	163 8.8	301 16.3	349 18.9	912 49.3
							53 2.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 164

B【問19】あなたの調理技術についてお聞きします。  
1) 自分で調理する頻度はどのくらいですか。インスタント食品は含めなくてください。

該当数	週に5回以上	週3~4回	週1~2回	週1回未満	していない	無回答
**【総数】**	1851 100.0	933 50.4	151 8.2	116 6.3	117 6.3	471 25.4
						63 3.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 165

2) 夕食する頻度はどのくらいですか。

該当数	週に5回以上	週3~4回	週1~2回	週1回未満	していない	無回答
**【総数】**	1851 100.0	36 1.9	63 3.4	267 14.4	696 37.5	703 38.0
						87 4.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 166

3) 以下の項目であてはまる番号1つに○をつけてください。(「よくできる」を1、「全くできない」を6としてご記入ください)  
①あなたの調理技術はどのくらいですか。

該当数	よくできる1	2	3	4	5	全くできない6	無回答
**【総数】**	1851 100.0	519 28.0	252 13.6	482 26.0	178 9.6	195 10.5	131 7.1
							94 5.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 167

②野菜や果物の皮をむくことができますか。

該当数	よくできる1	2	3	4	5	全くできない6	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1166 63.0	259 14.0	212 11.5	58 3.1	44 2.4	46 2.5
							66 3.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 168

③野菜や卵をゆでることができますか。

該当数	よくできる1	2	3	4	5	全くできない6	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1153 62.3	261 14.1	209 11.3	55 3.0	47 2.5	54 2.9
							72 3.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 169

④焼き魚を作ることができますか。

該当数	よくできる1	2	3	4	5	全くできない6	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1075 58.1	226 12.2	230 12.4	76 4.1	68 3.7	108 5.8
							68 3.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 170  
⑤野菜や肉の炒め物を作ることができますか。

該当数	よくて できる 1	2	3	4	5	全くて できない 6	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1053 57.0	222 12.0	236 12.7	71 3.8	91 4.9	102 5.5
							74 4.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 171  
⑥味噌汁を作ることができますか。

該当数	よくて できる 1	2	3	4	5	全くて できない 6	無回答
**【総数】**	1851 100.0	1083 58.5	238 12.9	218 11.8	67 3.6	78 4.2	97 5.2
							70 3.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 172  
⑦漬物を作ることができますか。

該当数	よくて できる 1	2	3	4	5	全くて できない 6	無回答
**【総数】**	1851 100.0	956 51.6	186 10.0	218 11.8	115 6.2	127 6.9	183 9.9
							66 3.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 173  
B【問20】過去の経験についておうかがいします。  
1) あなたが子どもの頃、  
①あなたのお住まいは、持ち家でしたか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	1376 74.3	411 22.2	64 3.5

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 174  
2) あなたが18歳になるまでの間に以下の経験をしたことがありますか。  
①親が戦争に出征した。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	435 23.5	1327 71.7	89 4.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 175  
②親が戦死した。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	61 3.3	1697 91.7	93 5.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 176  
③その他の理由で親が亡くなった。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	485 26.2	1273 68.8	93 5.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 177  
④親が離婚した。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	69 3.7	1690 91.3	92 5.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 178  
⑤親が精神疾患を患っていた。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	14 0.8	1739 93.9	98 5.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 179  
⑥父親が母親に対して暴力をふるっていた。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	71 3.8	1688 91.2	92 5.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 180  
⑦親にひどく殴られてケガをした。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	26 1.4	1737 93.8	88 4.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 181  
⑧親から愛されていると感じていた。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	1593 86.1	177 9.6	81 4.4

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 182  
⑨親から傷つくことを言われたり侮辱されたりした。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1851 100.0	108 5.8	1651 89.2	92 5.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 183  
 経済的に苦しかった。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	183 100.0	718 38.8	1050 56.7	83 4.5

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 184  
 C【問16】各項目において、あなたの今日の健康状態を最もよく表しているのはどれですか。

1) 歩き回すのに

該当数	問題はない	少し問題がある	中度の問題がある	かなり問題がある	歩き回すことができない	無回答	
**【総数】**	1803 100.0	1056 58.6	427 23.7	129 7.2	65 3.6	35 1.9	91 5.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 185  
 2) 着替えをするのに

該当数	問題はない	少し問題がある	中度の問題がある	かなり問題がある	身体を洗ったり着替えたりできない	無回答	
**【総数】**	1803 100.0	1572 87.2	114 6.3	18 1.0	7 0.4	4 0.2	88 4.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 186  
 3) あなたの活動(例:仕事、家族・余暇活動、日常生活)を行うのに

該当数	問題はない	少し問題がある	中度の問題がある	かなり問題がある	自分の活動を行うことができない	無回答	
**【総数】**	1803 100.0	1371 76.0	260 14.4	46 2.6	26 1.4	8 0.4	92 5.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 187  
 4) 痛みや不快感は

該当数	ない	少しある	中度ある	かなりある	極度にあり	無回答	
**【総数】**	1803 100.0	664 36.8	800 44.4	171 9.5	65 3.6	8 0.4	95 5.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 188  
 5) 不安/ふさぎ込み

該当数	不安でもふさぎ込みでもない	少し不安/ふさぎ込み	中度不安/ふさぎ込み	かなり不安/ふさぎ込み	極度に不安/ふさぎ込み	無回答	
**【総数】**	1803 100.0	1372 76.1	221 12.3	64 3.5	11 0.6	8 0.4	127 7.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 189  
 C【問17】自治体や社会福祉協議会などのサロン活動への参加や参加期間についてお答えください。  
 1) サロン活動への参加期間はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。複数参加している場合には最も長く参加している活動についてお答えください。

該当数	参加したことがない	参加して1年未満	参加して1年以上～2年未満	参加して2年以上～3年未満	参加して3年以上～4年未満	参加して4年以上	参加しているが期間不明	無回答		
**【総数】**	1803 100.0	1315 72.9	64 3.5	42 2.3	44 2.4	28 1.6	24 1.3	129 7.2	29 1.6	128 7.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 190  
 2) 1)で「3. 参加1年未満」～「8. 参加しているが期間不明」と答えた人にお聞きします。参加しているサロン活動のプログラムで、頻度が高いものに3つまで○をつけてください。

該当数	健康体操	創作活動(手工芸)	健康講話	世代間交流	音楽活動(歌唱や楽器演奏)	お茶とおしゃべり	文化活動(習字・俳句・川柳など)	脳トレーニング	室内ゲーム	その他	無回答	回答計	
**【総数】**	296 100.0	98 33.1	28 9.5	35 11.8	4 1.4	68 23.0	53 17.9	27 9.1	11 3.7	17 5.7	39 13.2	69 23.3	449 151.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 191  
 C【問18】目や耳の状態についてお答えください。  
 1) あなたは耳がよく聞こえますか。補聴器を使っている方は補聴器を使った状態を教えてください。

該当数	とてもよく聞こえる	よく聞こえる	聞こえる	あまり聞こえない	聞こえない	無回答			
**【総数】**	1803 100.0	345 19.1	539 29.9	607 33.7	227 12.6	18 1.0	67 3.7	1491 82.7	245 13.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 192  
 2) あなたは目がよく見えますか。メガネを使っている方はメガネを使った状態を教えてください。

該当数	とてもよく見える	よく見える	見える	あまり見えない	見えない	無回答			
**【総数】**	1803 100.0	163 9.0	536 29.7	900 49.9	140 7.8	5 0.3	59 3.3	1599 88.7	145 8.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 193  
 3) これまでに白内障の手術を受けた経験がありますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1803 100.0	403 22.4	1285 71.3	115 6.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 194  
 C【問19】インターネットやメール(パソコン、携帯電話など)についてお答えください。  
 1) あなたは過去1年間に、インターネットやメールを使いましたか。使う頻度もお知らせください。

該当数	いいえ	はい(月に数回以下)	はい(週に2～3回使う)	はい(ほぼ毎日使う)	無回答	
**【総数】**	1803 100.0	682 37.8	230 12.8	242 13.4	557 30.9	92 5.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 195  
 2) はい(月に数回以下)、「3. はい(週に2～3回使う)」、「4. はい(ほぼ毎日使う)」と答えた人にお聞きします。  
 2) インターネットやメールの使用目的について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

該当数	健康や医療に関する情報収集・検索	各種の家族とのコミュニケーション	友人や家族とのコミュニケーション	地域や交際圏内	商品やサービスの購入	銀行取引	税金、証券、保険などの手続き	その他	無回答	回答計	
**【総数】**	1029 100.0	265 25.8	420 40.8	762 74.1	525 51.0	256 24.9	149 14.5	149 14.5	93 9.0	19 1.8	2639 256.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 196  
3) インターネットやメールは何かから利用しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

該当数	パソコン	携帯電話	スマートフォン	タブレット	その他	無回答	回答計
**【総数】**	1029 100.0	592 57.5	548 53.3	236 22.9	105 10.2	2 0.2	10 1493 145.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 197  
4) インターネットやメールを利用し始めた時期はいつですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

該当数	10年以上前	5年以上前	3~4年前	1~2年前	この1年以内	無回答	
**【総数】**	1029 100.0	722 70.2	210 20.4	50 4.9	28 2.7	5 0.5	14 1.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 198  
D【問1.6】かかりつけ医や、人生最期の時期に望む療養場所や医療について、おうかがいします。  
1) あなたには「かかりつけの医師※」はいますか。  
※健康などのことで困った時に相談する医師のことで、その医師の診療科(専門)は問いません。

該当数	いる	いない	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	1398 76.8	331 18.2	91 5.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 199  
2) あなたは、ご自分が病気などで最期を迎えたら、どこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

該当数	自宅	何かしら の施設	わからない	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	547 30.1	764 42.0	382 21.0	127 7.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 200  
2) と回答した方へ  
①どのような施設ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当数	病院	ホスピス・緩和ケア病棟	老人ホームなどの福祉施設	高齢者向けのケア付き集合住宅	無回答	
**【総数】**	764 100.0	429 56.2	123 16.1	96 12.6	90 11.8	26 3.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 201  
②施設を選択しない理由すべてに○をつけてください。

該当数	家族の介護負担が心配	看取ってくれる医師がいらない	お金が大変そう	自宅で介護に苦しみそう	医師等の働き方など最期までみてほしい	その他	無回答	回答計
**【総数】**	764 100.0	451 59.0	49 6.4	110 14.4	208 27.2	175 22.9	25 3.3	151 19.8 153.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 202  
3) 上記2)について、誰かと話し合いをしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当数	全くない	話し合ったことがある	話し合ったことがない	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	834 45.8	703 38.6	26 1.4	257 14.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 203  
2、3、と回答した方へ  
②がたと話し合いましたか。すべてに○をつけてください。

該当数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣の方	友人	医療従事者(医師・看護師・看護士)	保健師	お寺・教会等の関係者	終末期に携わる民間の業者や団体	その他	無回答	回答計
**【総数】**	729 100.0	480 65.8	163 22.4	244 33.5	95 13.0	17 2.3	103 14.1	10 1.4	2 0.3	6 0.8	6 0.8	34 4.7	1166 159.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 204  
4) あなたは、あなたに死期が迫った時に延命治療を受けたいかについて、家族と話し合いをしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当数	十分に話し合っている	話し合ったことがある	全く話し合ったことがない	家族はいない	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	210 11.5	844 46.4	599 32.9	57 3.1	110 6.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 205  
5) あなたの家族が高齢となり、日常生活が困難であり、治る見込みが極めて低い状態となった場合、最期はどこで療養させたいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当数	病院	ホスピス・緩和ケア病棟	老人ホームなどの福祉施設	高齢者向けのケア付き集合住宅	自宅	わからない	家族はいない	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	485 26.6	248 13.6	145 8.0	81 4.5	305 16.8	295 16.2	76 4.2	185 10.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 206  
6) 過去10年くらいで、あなたの家族や親しい知人でご自宅で最期を迎えた方はいますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	459 25.2	1239 68.1	122 6.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 207  
D【問1.7】医療費の自己負担(窓口での支払い)についておうかがいします。  
1) あなたの先月一か月の医療費(薬剤費含む)の自己負担額はいくらかですか。

該当数	病院していない	0円	5000円未満	5000円~1万円未満	1万円~2万円未満	2万円以上	わからない	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	162 8.9	84 4.6	751 41.3	388 21.3	170 9.3	94 5.2	32 1.8	139 7.6

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 208  
2) 1)で「3、5、000円未満」~「6、2万円以上」と答えた方におうかがいします。  
1)で答えた金額は、経済的につらいですか。

該当数	とてもつらい	つらい	なんとかなる	余裕がある	無回答	
**【総数】**	1403 100.0	37 2.6	150 10.7	802 57.2	196 14.0	218 15.5

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 209

3) 受診を控えることが最も多い診療科1つに○をつけてください。

該当数	受診を控えることはない	内科	歯科	整形外科	眼科	皮膚科	救急科(救急車を呼ぶことを含む)	その他	無回答	
**【総数】**	1820 100.0	931 51.2	177 9.7	112 6.2	69 3.8	27 1.5	48 2.6	59 3.2	27 1.5	370 20.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 210

4) 3)で「2. 内科」～「8. その他」と答えた方におうかがいします。

受診を控える理由すべてに○をつけてください。

該当数	治療費の負担が大変大きい	交通費の負担が大変大きい	どこに相談したらいいかわからない	適切な医療機関が近くにない	治療の必要性を感じない	時間が長い	健康保険に加入していない	その他	無回答	回答計	
**【総数】**	519 100.0	110 21.2	12 2.3	38 7.3	32 6.2	74 14.3	17 3.3	3 0.6	40 7.7	246 47.4	572 110.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 211

D【問18】医療機関での経験についておうかがいします。

1) 担当医は、あなたの症状などについてどの程度話を聞いてくれましたか。一番最近のことを思い出してお答えください。

該当数	とてもよく聞いてくれた	よく聞いてくれた	まあ聞いてくれた	あまり聞いてくれた	ほとんど聞いてくれた	無回答	聞いてくれた(計)	聞いてくれなかった(計)	
**【総数】**	1820 100.0	331 18.2	708 38.9	513 28.2	70 3.8	22 1.2	176 9.7	1552 85.3	92 5.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 212

2) わからないことについて、担当医に質問できましたか。

該当数	できた	まあできた	あまりできなかった	まったくできなかった	無回答	できた(計)	できなかった(計)	
**【総数】**	1820 100.0	636 34.4	817 44.9	173 9.5	14 0.8	190 10.4	1443 79.3	187 10.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 213

3) 治療について、あなたほどの考えが望ましいと思いますか。

該当数	すべて医師にまかせ	医師の説明と相談の上で決める	医師の説明と相談の上で患者が決める	医師の説明と相談の上で患者が決める	わからない	無回答
**【総数】**	1820 100.0	197 10.8	1235 67.9	177 9.7	36 2.0	175 9.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 214

4) 実例はどうですか。(現在、医療機関にかかっている方は、一番最近のことについてお答えください)

該当数	すべて医師にまかせ	医師の説明と相談の上で決める	医師の説明と相談の上で患者が決める	医師の説明と相談の上で患者が決める	わからない	無回答
**【総数】**	1820 100.0	229 12.6	977 53.7	175 9.6	49 2.7	390 21.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 215

E【問16】体操についておうかがいします。ここの体操とは、軽い体操やラジオ体操などを示し、体操競技(器械体操)は除きます。

1) 平均的な1か月において、1回以上行う体操は何ですか。あてはまるすべてに○をつけてください。

該当数	ラジオ体操	テレビ体操	ご当地体操	その他の体操	特に行わない	無回答	回答計	
**【総数】**	1831 100.0	300 16.4	237 12.9	41 2.2	426 23.3	851 46.5	121 6.6	1976 107.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 216

1～4.と回答した方へ

2) 平均的な1か月において、体操はどのくらいの頻度で行っていますか。(1つに○)

該当数	週4日以上	週2～3日	週1日	月1～3日	無回答	
**【総数】**	859 100.0	366 42.6	271 31.5	121 14.1	82 9.5	19 2.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 217

3) 体操を行う日は、通常、1日合計してどのくらいの時間行いますか。(1つに○)

該当数	15分未満	15～29分	30～44分	45～59分	60分以上	無回答	
**【総数】**	859 100.0	372 43.3	206 24.0	95 11.1	68 7.9	104 12.1	14 1.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 218

4) 体操はどの程度の頻度で行うことが多いですか。(1つに○)

該当数	身体的にきついたり、疲労感や痛みを感じるような程度	身体的にやや負担がかかる程度	左記の2よりも軽い負担	無回答	
**【総数】**	859 100.0	29 3.4	390 45.4	403 46.9	37 4.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 219

5) 体操はだれと行うことが多いですか。(1つに○)

該当数	ほとんど1人	どちらかといえば1人	どちらかといえば家族・友人・知人	ほとんど家族・友人・知人	無回答	
**【総数】**	859 100.0	471 54.8	92 10.7	117 13.6	153 17.8	26 3.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 220

E【問17】喫煙・運動についておうかがいします

1) あなたは禁煙することによってどのくらい関心がありますか。(1つに○)

該当数	タバコを吸っていないが、関心がない	現在喫煙中であるが、関心がない	喫煙中、6ヵ月以内に禁煙予定なし	喫煙中、6ヵ月以内に禁煙予定あり	喫煙中、1ヵ月以内に禁煙予定あり	無回答	
**【総数】**	1831 100.0	1571 85.8	63 3.5	60 3.3	15 0.8	14 0.8	106 5.8

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 221

2) 以下の質問項目のうち、今の自分に最もあてはまる番号はどれですか。なお、「定期的な運動」とは、1回20分以上の運動を週1回以上行うことです。

該当数	現在運動していない、運動予定なし	現在運動していない、近いうちに運動予定あり	現在多少運動をしている、非定期的な運動	最近定期的に運動している、非定期的な運動も継続	6ヵ月以上前から定期的な運動	無回答	
**【総数】**	1831 100.0	553 30.3	131 7.2	387 21.1	75 4.1	590 32.2	93 5.1



(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 222

E【問18】仕事からの引退と趣味関係のグループへの参加についてお聞きします。  
1) あなたはいつ頃の間に仕事を引退しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当数	54歳以前	55～59歳	60～64歳	65歳	66～69歳	70～74歳	75歳以降	引退して いない(就 労中/求 職中)	暇に暇い たことが ない	無回答
**【総数】**	1831	246	140	386	171	191	132	58	297	93
	100.0	13.4	7.6	21.1	9.3	10.4	7.2	3.2	16.2	5.1

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 223

2) 現在、何らかの趣味関係のグループに月1回以上、参加していますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1831	756	987	88
	100.0	41.3	53.9	4.8

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 224

1. と回答した方へ  
3) 参加している趣味関係のグループに入ってきたきっかけで、あてはまるものすべてに○をつけてください。

該当数	家族の紹介・勧誘	友人・知人の紹介・勧誘	行政職員(保健師等)の紹介・勧誘	テレビ	ラジオ	新聞	インターネット	市区町村の広報誌	回覧板	地域の掲示板	市区町村や近隣の行事	その他	無回答	回答計
**【総数】**	756	49	442	18	11	3	23	20	112	38	58	43	128	47
	100.0	6.5	58.5	2.4	1.5	0.4	3.0	2.6	14.8	5.0	7.7	5.7	16.9	6.2

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 225

4) 何らかの趣味関係のグループに月1回以上、継続して参加するようになったのはいつ頃ですか。

該当数	54歳以前	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以降	無回答
**【総数】**	756	232	76	166	140	77	29
	100.0	30.7	10.1	22.0	18.5	10.2	3.8

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 226

5) 1) で1～7のいずれかと答えられた方(上記4)で回答した年齢は、仕事の引退前後のいつ頃ですか。

該当数	引退の1年以上前	引退の前1年未満	引退の1年以上あと	無回答	
**【総数】**	597	168	143	186	100
	100.0	28.1	24.0	31.2	16.8

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 227

1) 幸せについて再度お聞きします。  
あなたに二自分が幸せだと思えますか。あてはまる点数1つに○をつけてください。

該当数	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	無回答	平均(点)
**【総数】**	1831	225	232	450	302	186	251	50	21	12	18	84
	100.0	12.3	12.7	24.6	16.5	10.2	13.7	2.7	1.1	0.7	1.0	4.6

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 228

E【問20】過去のスポーツ経験についてお聞きします。  
1) 過去に部活動や社会人クラブ等、スポーツ関係の団体やグループに所属して定期的に運動やスポーツを行っていた時期はありますか。(あてはまる時期すべてに○)。体育の授業は含まないでください。※定期的には「少なくとも1回20分以上・週1回以上・6ヵ月以上の継続」を指します。

該当数	6～12歳	13～15歳	16～18歳	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全くない	無回答	回答計
**【総数】**	1831	64	322	355	201	222	223	247	287	133	513	244
	100.0	3.5	17.6	19.4	11.0	12.1	12.2	13.5	15.7	7.4	28.0	13.3

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 229

1) で1～3.のいずれかに1つでも○をつけた方にお聞きします。  
2) 6歳～18歳の間で、定期的に行っていたスポーツ種目の分類を教えてください。行っていた種目が複数ある場合は、あてはまる分類すべてに○をつけてください。  
※団体競技:野球、ラグビー、サッカー、バレーボール、バスケットボールなど、チームで試合を行う種目  
※個人+団体:柔道、剣道、スキー、陸上、水泳、テニス、卓球など個人戦やダブルス、団体戦のある種目

該当数	団体競技	個人+団体	どちらにもあてはまらない	無回答	回答計
**【総数】**	547	128	129	29	272
	100.0	23.4	23.6	5.3	49.7

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 230

F【問16】ご家族の介護についてお聞きします。  
1) 現在あなたはご家族の介護をしていますか。

該当数	主に介護をしている	主には介護をしていないが介護を手伝っている	無回答		
**【総数】**	1810	76	59	1498	177
	100.0	4.2	3.3	82.8	9.8

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 231

2) ～5)は「1.主に介護をしている」「2.主にはないが、介護を手伝っている」とお答えした人のお聞きします。  
2) 平均的な介護頻度はどのくらいですか。

該当数	ほぼ毎日	週2～4日	週に1日	月に1～3日以下	無回答
**【総数】**	135	82	17	13	16
	100.0	60.7	12.6	9.6	11.9

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 232

3) 1日の介護時間はどのくらいですか。

該当数	ほとんど終日	半日程度	2～3時間程度	必要ときに手をかけ程度	その他	無回答
**【総数】**	135	26	19	17	60	7
	100.0	19.3	14.1	12.6	44.4	5.2

(N,%)  
健康とくらしの調査

集計表 233

4) あなたからみて、介護の必要な方はあなたにありますが(あてはまるものすべてに○)。

該当数	夫または妻	自分の親	配偶者の親	その他の親族	無回答	回答計
**【総数】**	135	66	30	11	28	3
	100.0	48.9	22.2	8.1	20.7	2.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 234

5) あなたが介護している方には認知症と思われる症状法)がありますか。  
注) 「年齢相応以上の健忘」、「周囲や場所がわからなくなる」、「今までできていたことができなくなる」などの症状を指します。(複数の方を介護している場合は、一人でも該当すれば「ある」としてください)

該当数	ある(医師から認知症と診断を受けていない)	ある(認知症診断を受けていない)	ない	無回答
**【総数】**	135	40	27	62
	100.0	29.6	20.0	45.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 235

F【問17】窓口サービスについてお聞きいたします。  
1) 地域には、医療や介護の制度やサービスに関わる様々な窓口があります。次の中で、あなたがご存じの窓口はどれですか。(名前だけ知っている場合も含みます。あてはまるものすべてに○)

該当数	市区町村の担当部署	福祉事務所	保健所・保健センター	地域包括支援センター	社会福祉協議会	地域の民生委員	その他	知っているものはない	無回答	回答計
**【総数】**	1810	887	734	836	567	453	773	26	124	143
	100.0	49.0	40.6	46.2	31.3	25.0	42.7	1.4	6.9	251.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 236

2) 今までにあなたが利用したことのある窓口はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

該当数	市区町村の担当部署	福祉事務所	保健所・保健センター	地域包括支援センター	社会福祉協議会	地域の民生委員	その他	利用したものはない	無回答	回答計
**【総数】**	1810	456	186	242	206	73	90	23	826	182
	100.0	25.2	10.3	13.4	11.4	4.0	5.0	1.3	45.6	10.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 237

3) あなたが、医療や介護についての情報を得たい時に、気軽に相談できる窓口もしくは人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

該当数	市区町村の担当部署	福祉事務所	保健所・保健センター	地域包括支援センター	病院の相談窓口	医師・看護師など医療関係者	地域のサロンのなど	民生委員・自治会役員など	家族・親族	友人	その他	相談できる窓口(人)はない	無回答	回答計
**【総数】**	1810	637	265	217	311	357	654	28	223	748	441	32	87	95
	100.0	35.2	14.6	12.0	17.2	19.7	36.1	1.5	12.3	41.3	24.4	1.8	4.8	5.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 238

F【問18】有料老人ホームや高齢者向け住宅についてお聞きいたします。

1) 有料老人ホームや高齢者向け住宅に住もうと思いませんか。

該当数	住んでいる	近いうちに住もうかと思う	将来住むかもしれない	住もうとは思わない	わからない	無回答
**【総数】**	1810	19	19	441	572	145
	100.0	1.0	1.0	24.4	31.7	8.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 239

1) 「住んでいる」、「近いうちに住もうかと思う」、「将来住むかもしれない」と答えた人にお聞きします。  
2) その理由として、従来の家ではどのような問題があるからですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、最も重要な理由1つに◎をつけてください。

該当数	急に倒れた時など心配	介護が必要になったときに心配	食事づくり・掃除などが大変	家の中の段差などで住みにくい	玄関から道路までの階段や坂がある	不慣れた場所にある	子どもの世話にたたくない	その他	特に理由はない	無回答	回答計
**【総数】**	479	204	342	165	32	53	15	233	19	8	12
	100.0	42.6	71.4	34.4	6.7	11.1	3.1	48.6	4.0	1.7	25.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 240

(最も重要な理由)

該当数	急に倒れた時など心配	介護が必要になったときに心配	食事づくり・掃除などが大変	家の中の段差などで住みにくい	玄関から道路までの階段や坂がある	不慣れた場所にある	子どもの世話にたたくない	その他	特に理由はない	無回答
**【総数】**	479	25	113	9	1	2	1	39	3	-
	100.0	5.2	23.6	1.9	0.2	0.4	0.2	8.1	0.6	-

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 241

F【問19】運転免許についてお聞きいたします。

1) 運転免許について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

該当数	免許を所持している	免許を所持しているが運転しないうち/失効している	免許所持していない	無回答
**【総数】**	1810	624	599	221
	100.0	34.5	33.1	12.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 242

4) と回答した方へ  
おおよそ何年何ヶ月前に返上/失効しましたか。

該当数	1年前以内	1～5年前以内	5～10年前以内	10～15年前以内	15～20年前以内	20～25年前以内	25～30年前以内	30～35年前以内	35～40年前以内	40～45年前以内	45～50年前以内	50年前以上	無回答	平均(ヶ月前)
**【総数】**	274	30	95	48	34	12	12	11	5	1	3	-	4	19
	100.0	10.9	34.7	17.5	12.4	4.4	4.4	4.0	1.8	0.4	1.1	-	1.5	6.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 243

G【問16】サプリメント・健康食品などについてお聞きいたします。

1) この1年間に、以下の(A)であげた治療法や商品を利用しましたか。

該当数	利用した	利用していない	無回答
**【総数】**	1873	814	917
	100.0	43.5	49.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 244

1) と回答した方へ  
(A) 具体的には、どの治療法や商品を利用しましたか。あてはまる商品や療法すべてに○をつけてください。

該当数	サプリメント・健康食品	漢方薬	鍼灸	マッサージ	電気療法・温熱療法など	整体	カイロプラクティック	氣功・ヨガ・太極拳	アロマセラピー・ハーブ療法	食事療法	免疫療法・解毒療法	音楽療法	森林療法	温泉療法	ホメオパシー	その他	無回答	回答計
**【総数】**	814	646	159	41	155	89	79	6	31	4	52	4	4	4	20	1	25	10
	100.0	79.4	19.5	5.0	19.0	10.9	9.7	0.7	3.8	0.5	6.4	0.5	0.5	0.5	2.5	0.1	3.1	1.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 245

(B) また、その治療法や商品でこれまでに体調を崩したことはありませんか。あてはまる商品や療法すべてに○をつけてください。

該当数	サプリメント・健康食品	漢方薬	鍼灸	マッサージ	電気療法・温熱療法など	整体	カイロプラクティック	氣功・ヨガ・太極拳	アロマセラピー・ハーブ療法	食事療法	免疫療法・解毒療法	音楽療法	森林療法	温泉療法	ホメオパシー	その他	体調を崩したことはない	無回答	回答計
**【総数】**	814	41	12	1	6	2	6	2	1	-	6	-	1	1	3	-	7	557	185
	100.0	5.0	1.5	0.1	0.7	0.2	0.7	0.2	0.1	-	0.7	-	0.1	0.1	0.4	-	0.9	68.4	22.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 246  
2) 過去1ヶ月間でこれらの治療法や商品にどれくらいお金を使いましたか。

該当数	1000円未満	1000円以上 3000円未満	1000円以上 3000円未満	3000円以上 5000円未満	5000円以上 10000円未満	10000円以上	無回答
**【総数】**	814 100.0	73 9.0	214 26.3	192 23.6	146 17.9	143 17.6	46 5.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 247  
3) 上の2)の金額のうち、サプリメントや健康食品につかった金額はいくらですか。

該当数	1000円未満	1000円以上 3000円未満	3000円以上 5000円未満	5000円以上 10000円未満	10000円以上	無回答	
**【総数】**	814 100.0	91 11.2	229 28.1	176 21.6	106 13.0	97 11.9	115 14.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 248  
4) (金額の方へ) あなたは今後、サプリメントや健康食品を買おうと思いませんか。

該当数	とても そう 思う 1	2	3	どちら も い え な い 4	5	6	まったく そう 思 わ な い 7	無回答	そう 思 う (計)	そう 思 わ な い (計)	
**【総数】**	1873 100.0	189 10.1	97 5.2	133 7.1	538 28.8	96 4.8	160 8.5	451 24.1	186 10.4	419 22.4	701 37.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 249  
5) 以下のことについて、あなたほどの程度同意しますか。あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。  
①わたしは、何が起るかわからないような新しいことは楽しめない

該当数	とても そう 思う 1	2	3	どちら も い え な い 4	5	6	まったく そう 思 わ な い 7	無回答	そう 思 う (計)	そう 思 わ な い (計)	
**【総数】**	1873 100.0	184 9.8	68 3.6	96 5.1	883 47.1	126 6.7	144 7.7	161 8.6	211 11.3	348 18.6	431 23.0

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 250  
②わたしは、予断できないことは好きではない。

該当数	とても そう 思う 1	2	3	どちら も い え な い 4	5	6	まったく そう 思 わ な い 7	無回答	そう 思 う (計)	そう 思 わ な い (計)	
**【総数】**	1873 100.0	257 13.7	102 5.4	128 6.8	823 43.9	110 5.9	119 6.4	122 6.5	212 11.3	487 26.0	351 18.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 251  
6) 健康情報についておうかがいします。過去1か月のことをふりかえり、以下のような人や媒体から、健康情報などの程度入手していますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

1) テレビのニュース番組の報道や特集を見る

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	1187 63.4	284 15.2	176 9.4	71 3.8	155 8.3

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 252  
2) テレビの(ニュース以外の)情報番組を見る

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	1116 59.6	278 14.8	177 9.5	104 5.6	198 10.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 253  
3) 新聞の記事を読む

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	1109 59.2	192 10.3	139 7.4	228 12.2	205 10.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 254  
4) 特集された雑誌を読む

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	247 13.2	156 8.3	357 19.1	781 41.7	332 17.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 255  
5) ラジオを聴く

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	487 26.0	107 5.7	149 8.0	816 43.6	314 16.8

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 256  
6) ご家族やご友人と話しをする

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	952 50.8	247 13.2	287 15.3	152 8.1	235 12.5

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 257  
7) 行政からのお知らせ(広報誌など)を読む

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	450 24.0	239 12.8	593 31.7	325 17.4	266 14.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 258  
8) ウェブサイトをパソコンで閲覧する

該当数	週2回 以上	週1回 程度	週1回 未満	全く 見 て い な い	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	251 13.4	75 4.0	130 6.9	1100 58.7	317 16.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 259  
9) ウェブサイトを携帯電話で閲覧する

	該当数	週2回以上	週1回程度	週1回未満	全く見ていない	無回答
**【総数】**	1873	123	37	68	1310	335
	100.0	6.6	2.0	3.6	69.9	17.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 260  
10) ソーシャルメディア(ツイッターなど)を携帯電話やパソコンやタブレット端末で閲覧する

	該当数	週2回以上	週1回程度	週1回未満	全く見ていない	無回答
**【総数】**	1873	153	42	76	1280	322
	100.0	8.2	2.2	4.1	68.3	17.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 261  
7) 健康情報についておうかがいします。あなたはどの人や媒体からの健康に関する情報を信頼していますか。あてはまるものに1つずつを付けてください。  
1) 医師や医療従事者

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	18	152	1002	544	157
	100.0	1.0	8.1	53.5	29.0	8.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 262  
2) 家族や友人

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	37	432	943	237	224
	100.0	2.0	23.1	50.3	12.7	12.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 263  
3) テレビ番組

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	107	673	792	87	214
	100.0	5.7	35.9	42.3	4.6	11.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 264  
4) テレビの宣伝(コマーシャル)

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	565	737	272	34	265
	100.0	30.2	39.3	14.5	1.8	14.1

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 265  
5) ラジオ番組

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	410	555	351	54	503
	100.0	21.9	29.6	18.7	2.9	26.9

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 266  
6) ラジオでの宣伝

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	586	541	215	36	495
	100.0	31.3	28.9	11.5	1.9	26.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 267  
7) 新聞の記事

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	155	635	742	98	243
	100.0	8.3	33.9	39.6	5.2	13.0

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 268  
8) 新聞の宣伝

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	514	716	328	28	287
	100.0	27.4	38.2	17.5	1.5	15.3

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 269  
9) 雑誌の記事

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	452	734	314	41	332
	100.0	24.1	39.2	16.8	2.2	17.7

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 270  
10) 雑誌の宣伝

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	680	586	194	33	380
	100.0	36.3	31.3	10.4	1.8	20.2

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 271  
11) インターネットでの記事

	該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答
**【総数】**	1873	531	463	240	41	598
	100.0	28.4	24.7	12.8	2.2	31.9

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 272  
1.2) インターネットでの宣伝 (パソコンやスマートフォン)

該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	667 35.6	401 21.4	164 8.8	40 2.1	601 32.1

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 273  
1.3) 行政機関のお知らせ (広報誌など)

該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	100 5.3	381 20.3	817 43.6	210 11.2	365 19.5

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 274  
1.4) インターネットのソーシャルメディア・交流サイト (フェイスブックやツイッター等)

該当数	全く信頼していない	少し信頼している	ある程度信頼している	とても信頼している	無回答	
**【総数】**	1873 100.0	686 34.5	426 22.7	129 6.9	42 2.2	630 33.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 275  
H【問1.6】ストレスについておろかいますか。  
1) あなたは、日常生活の中でどの程度ストレスを感じていますか。

該当数	非常に強く感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	無回答	感じる(計)	感じない(計)	
**【総数】**	1792 100.0	54 3.0	630 35.2	908 50.7	144 8.0	56 3.1	684 38.2	1052 58.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 276  
2) ストレスは、身体に悪いと思いますか。

該当数	おおいに思う	思う	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)	
**【総数】**	1792 100.0	463 25.8	1088 60.7	174 9.7	14 0.8	53 3.0	1551 86.6	188 10.5

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 277  
H【問1.7】日常生活についておろかいますか。  
1) バスや電車を使って1人で外出できますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1792 100.0	1664 92.9	81 4.5	47 2.6

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 278  
2) 日用品の買い物ができますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1792 100.0	1699 94.8	43 2.5	48 2.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 279  
3) 自分で食卓の用意ができますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1792 100.0	1622 90.5	119 6.6	51 2.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 280  
4) 請求書の支払いができますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1792 100.0	1690 94.3	52 2.9	50 2.8

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 281  
5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分できますか。

該当数	はい	いいえ	無回答	
**【総数】**	1792 100.0	1658 92.5	86 4.8	48 2.7

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 282  
H【問1.8】認知症についておろかいますか。  
1) 自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)	
**【総数】**	1792 100.0	668 37.3	389 21.7	283 15.8	246 13.7	130 7.3	76 4.2	1057 59.0	376 21.0

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 283  
2) 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方がよいと思いますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)	
**【総数】**	1792 100.0	419 23.4	481 26.8	404 22.5	309 17.2	91 5.1	88 4.9	900 50.2	400 22.3

(N,%)

健康とくらしの調査

集計表 284  
3) 認知症の人の大声や暴力、歩み回などの行動は、必要なことが満たされない時に起まると思いますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)	
**【総数】**	1792 100.0	506 28.2	562 31.4	355 19.8	201 11.2	57 3.2	111 6.2	1068 59.6	258 14.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 285

4) 認知症の人は、記憶力が低下し判断することができないので、日々の生活をこちらで決めてあげる必要があると思いますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	485	713	342	130	30	92	1198	160
100.0	27.1	39.8	19.1	7.3	1.7	5.1	66.9	8.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 286

5) 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	762	574	207	135	33	81	1336	168
100.0	42.5	32.0	11.6	7.5	1.8	4.5	74.6	9.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 287

H【問19】あなたが住んでいる地域の交流や防災についてお考えをお願いします。  
1) 別居の親せき・家族と会う機会はどれくらいありますか。

該当数	週に4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	会っていない	別居の親せき・家族はいない	無回答
1792	96	113	165	481	691	122	34	91
100.0	5.3	6.3	9.2	26.8	38.6	6.8	1.9	5.1

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 288

2) 過去3年間に地域の遊園訓練など、災害や緊急時の訓練の行事に1回以上参加しましたか。

該当数	参加した	地域に訓練の行事があるが不参加	地域に訓練の行事がない	無回答
1792	691	809	214	78
100.0	38.6	45.1	11.9	4.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 289

3) もしあなたが近所の活動(町内会などの活動)に参加しなかったら、近所の人は参加しなかったことをわらく思いますか。

該当数	わるく思う	まあわるく思う	あまり思わない	思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	37	210	841	573	111	267	1414
100.0	3.2	11.7	46.9	32.0	6.2	14.9	78.9

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 290

4) 地域の人は、子どもが良いおこないをしているのを見かけて、子どもや親をほめると思いませんか。

該当数	思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	499	779	314	84	116	1278	398
100.0	27.8	43.5	17.5	4.7	6.5	71.3	22.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 291

5) 地域の人は、子どもが良くないおこないや危険なことをしているのを見かけて、注意すると思いませんか。

該当数	思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	394	698	494	101	105	1092	595
100.0	22.0	39.0	27.6	5.6	5.9	60.9	33.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 292

6) 悩みがあるときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。

該当数	そう思う	どちらかというそう思う	どちらかという思わない	そうは思わない	わからない	無回答	そう思う(計)	そうは思わない(計)
1792	86	299	411	775	134	87	385	1186
100.0	4.8	16.7	22.9	43.2	7.5	4.9	21.5	66.2

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 293

7) あなたは地域の人々から大切にされ、地域の一員となっていると感じますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	193	377	601	352	174	95	570	526
100.0	10.8	21.0	33.5	19.6	9.7	5.3	31.8	29.4

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 294

8) あなたは自治会・町内会やその他の場で、地域のものごとの決定に参加していますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	262	330	442	356	251	157	592	601
100.0	14.6	18.4	24.7	19.5	14.0	8.8	33.0	33.5

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 295

9) あなたが日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスによって、提供されていますか。

該当数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う(計)	思わない(計)
1792	226	497	432	377	119	141	723	496
100.0	12.6	27.7	24.1	21.0	6.6	7.9	40.3	27.7

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 296

10) あなたが住んでいる住宅は何年頃に建設されましたか。

該当数	昭和46(1971)年以前	昭和47(1972)~56(1981)年	昭和57(1982)~平成12(2000)年	平成13(2001)年以降	わからない	無回答
1792	322	482	549	247	91	101
100.0	18.0	26.9	30.6	13.8	5.1	5.6

健康とくらしの調査 (N,%)

集計表 297

11) あなたが住んでいる存在の構造はどれですか。

該当数	木造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	その他	わからない	無回答
1792	971	173	540	13	15	80
100.0	54.2	9.7	30.1	0.7	0.8	4.5

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 298  
1.2) あなたの住まいは地震保険・共済に加入していますか。

	該当数	はい	いいえ	無回答
***【総数】***	1792	1119	598	115
	100.0	62.4	33.1	6.4

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 299  
1.3) 地域の町内会・自治会には防災用の備蓄倉庫がありますか。

	該当数	はい	いいえ	わからない	無回答
***【総数】***	1792	1049	83	580	80
	100.0	58.5	4.6	32.4	4.5

健康とくらしの調査

(N,%)

集計表 300  
1.4) あなたは地域の避難場所・経路を把握していますか。

	該当数	避難場所・経路を把握している	場所把握しているが経路していない	どちらも把握していない	その他	無回答
***【総数】***	1792	1127	484	178	7	76
	100.0	62.9	27.5	9.9	0.4	4.2



# 日本老年学的評価研究

## Japan Gerontological Evaluation Study

### JAGESとは

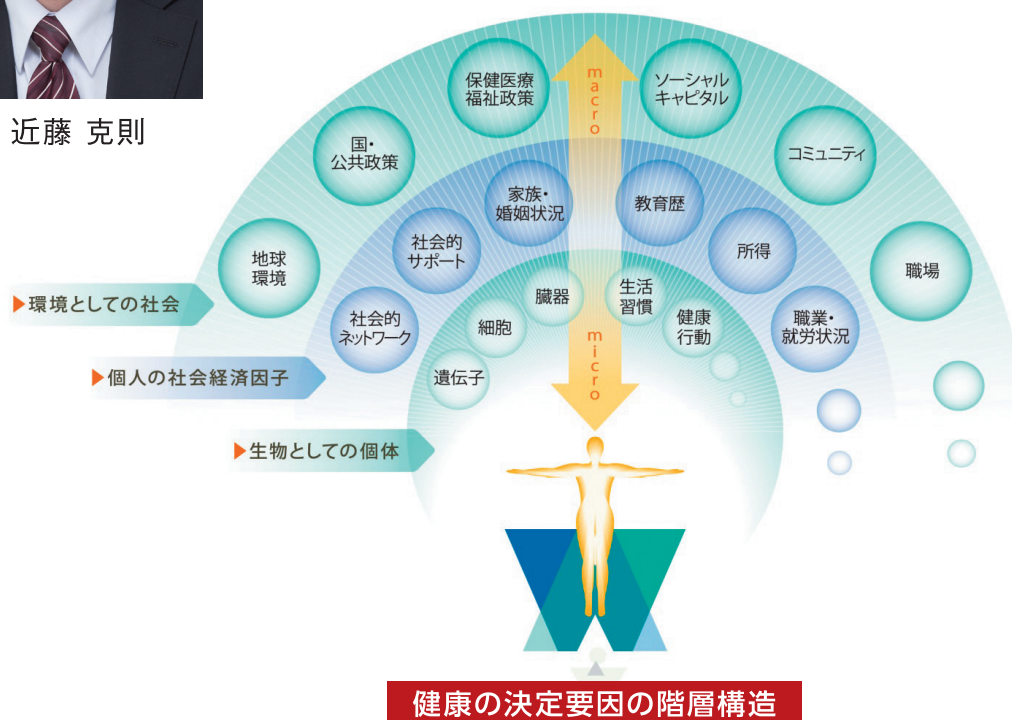
JAGES (Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究) プロジェクトは、健康長寿社会をめざした予防政策の科学的な基盤づくりを目標とした研究プロジェクトです。全国40の市町村と共同し、30万人の高齢者を対象に調査し、全国の大学・国立研究所に所属する研究者が多面的な分析を進めています。文部科学省、厚生労働省、米国National Institute of Health (国立衛生研究所) を始めとする多数の研究助成を受けて進められています。



代表 近藤 克則

### Well-being (幸福・健康) な社会づくりに向けた社会疫学研究とその応用

社会的決定要因を解明する社会疫学。当プロジェクトではWell-being (幸福・健康) な社会づくりに向け、社会疫学研究を進めています。大規模データを用いた実証研究と、得られた知見を社会に応用するための政策研究や社会への情報発信を行っています。





# 7

## Well-being (幸福・健康)の社会的決定要因の研究

JAGES研究班では、健康格差の問題や、幸福や健康に影響を及ぼす社会的決定要因を明らかにするための研究を行っています。研究成果は行政の政策決定においても活用されています。

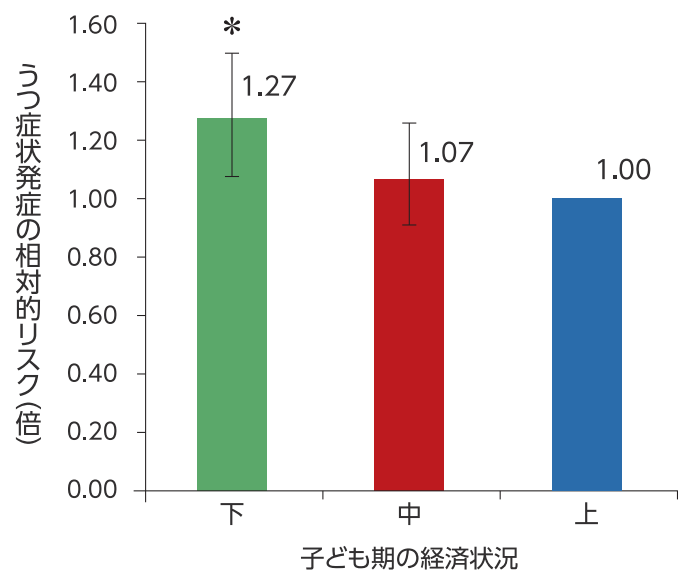
### ◎研究成果の一例

#### 健康の社会的決定要因・ライフコース仮説

### 子ども期の社会経済状況低い場合にうつ症状新規発生1.3倍

2010年にうつ症状のない要介護認定を受けていない65歳以上の10,458名を対象として、子ども期の生活環境とうつ症状との関係性を評価しました。平均2.6年間の追跡調査の結果、子ども期の経済状況が高かった人に比べて低かった人は1.3倍多くうつ症状を発症しており、子ども期の生活環境が高齢期のうつ症状にも影響する可能性があることがわかりました。

Tani Y et al. Am J Geriatr Psychiatry 2016  
(doi: 10.1016/j.jagp.2016.06.001)

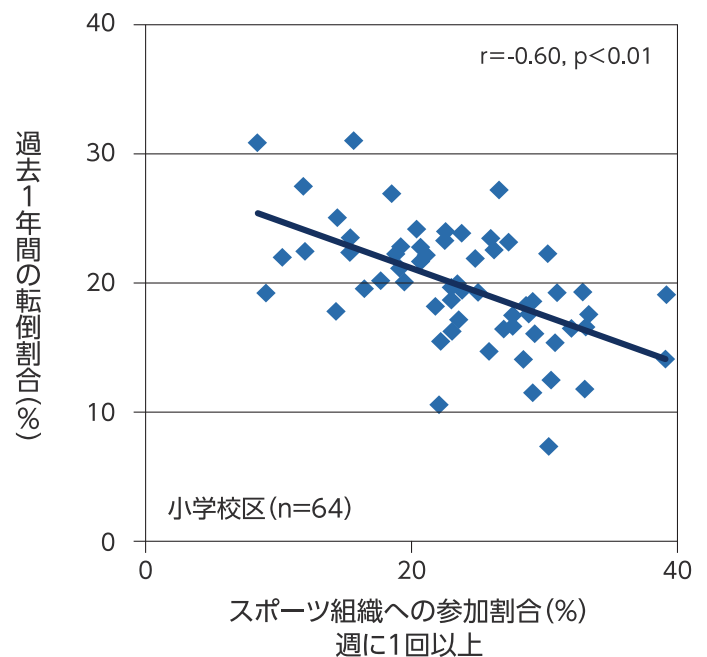


#### 政策研究 | 研究成果は第47回社会保障審議会介護保険部会資料として活用されました

### 4倍転びやすいまちがある!!

9市区町村に在住する前期高齢者16,102人を対象に分析したところ、スポーツ組織への参加割合が高い地域ほど、高齢者の転倒歴が少ない傾向に。まちにより転倒率の4倍もの差があることが判明しました。

林尊弘・近藤克則ほか, 厚生指標 61 (7) : 1-7, 2014



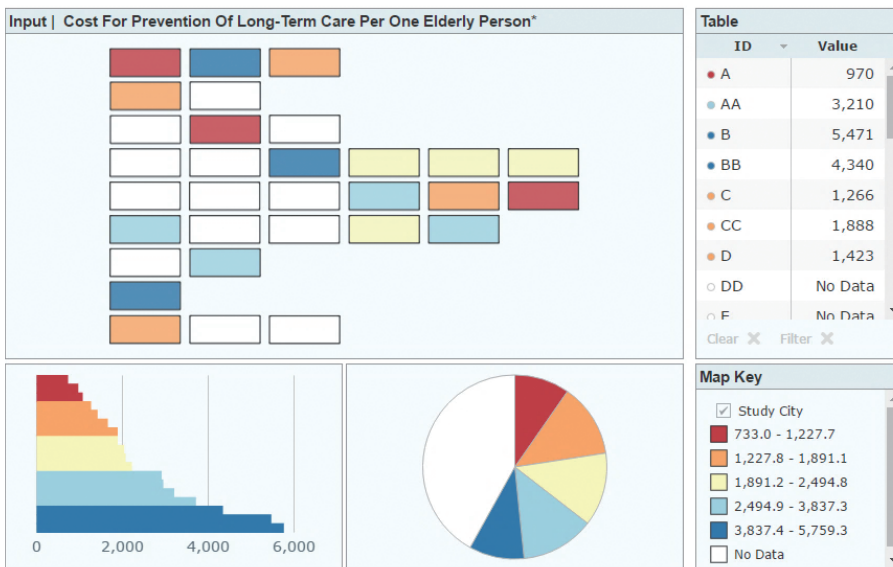
# 2

## Well-being な社会の研究

JAGES研究班では、全国の地方公共団体と共同研究を実施し、健康課題や社会環境要因のベンチマークと地域課題の「見える化」を行っています。WHOとの協働や、国が構築中の「見える化」システムのプロトタイプづくりを担っています。

### WHOとの協働 - JAGES HEART -

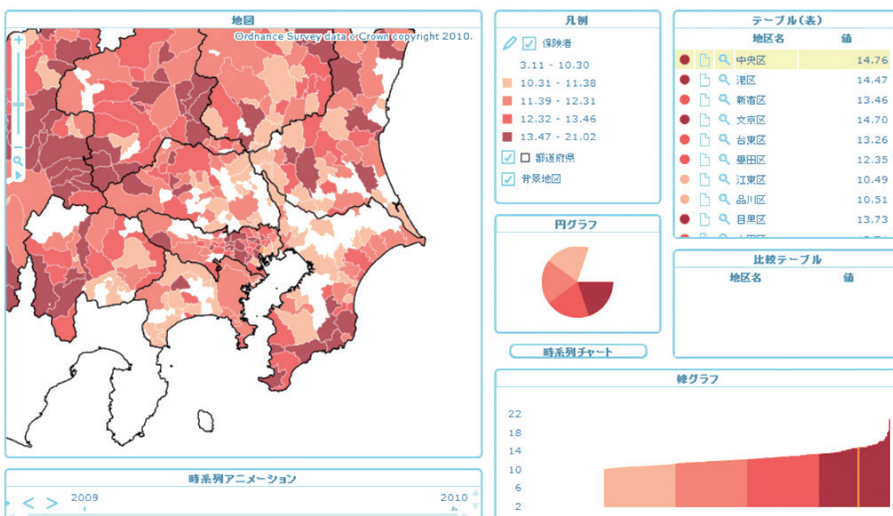
Urban HEART (Urban Health Equity Assessment and Response Tool) for Japanese Older People



JAGESプロジェクトでは、介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発を行っています。特に力を入れているのが、日本の政策立案者が高齢者間での健康格差について評価・対応できるようなツールの開発。WHO神戸センター(WKC)と協働で、WHOのアーバンハート(都市における健康の公平性評価・対応ツール)に対応するツールの開発を進めています。

<http://sdh.umin.jp/heart/>

### 厚生労働省 地域包括ケア「見える化」システムのプロトタイプ開発



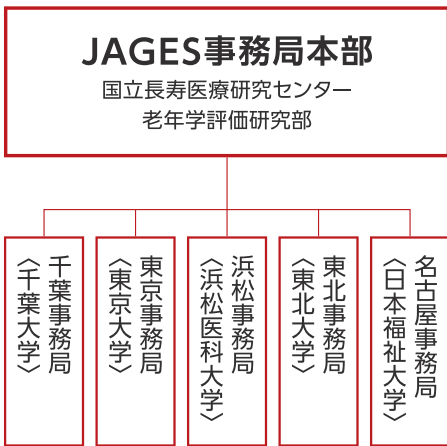
介護予防事業報告などの情報を「見える化」し、各介護保険者の現状把握を支援するシステムのプロトタイプを開発しました。地域包括ケア「見える化」システム(<http://mieruka.mhlw.go.jp/>)として運用が始まり、関係者の情報共有や他の保険者や全国との比較が可能となりました。

# 3

## Well-being (幸福・健康) な社会づくりへの応用

JAGES研究班では、全国調査の結果をもとに、ベンチマークと地域ごとの課題の「見える化」を行い、その課題の解決に向けて行政と協力して研究を進めています。

### 日本全国にわたる大規模調査の実施

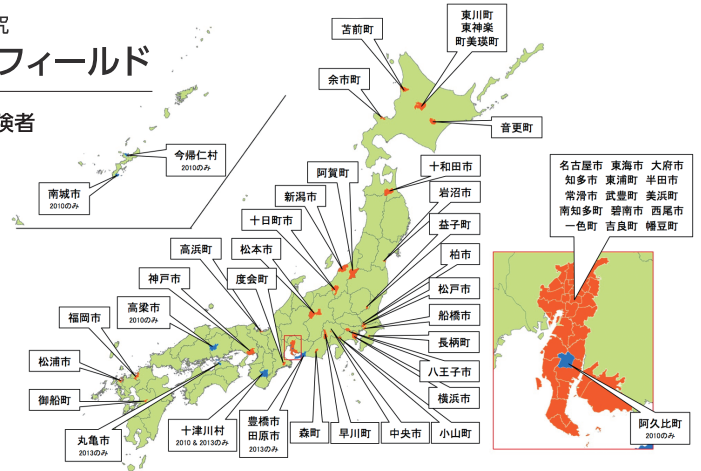


### 日本老年学的評価研究 JAGES調査フィールド

2016調査協力保険者  
過去の協力保険者

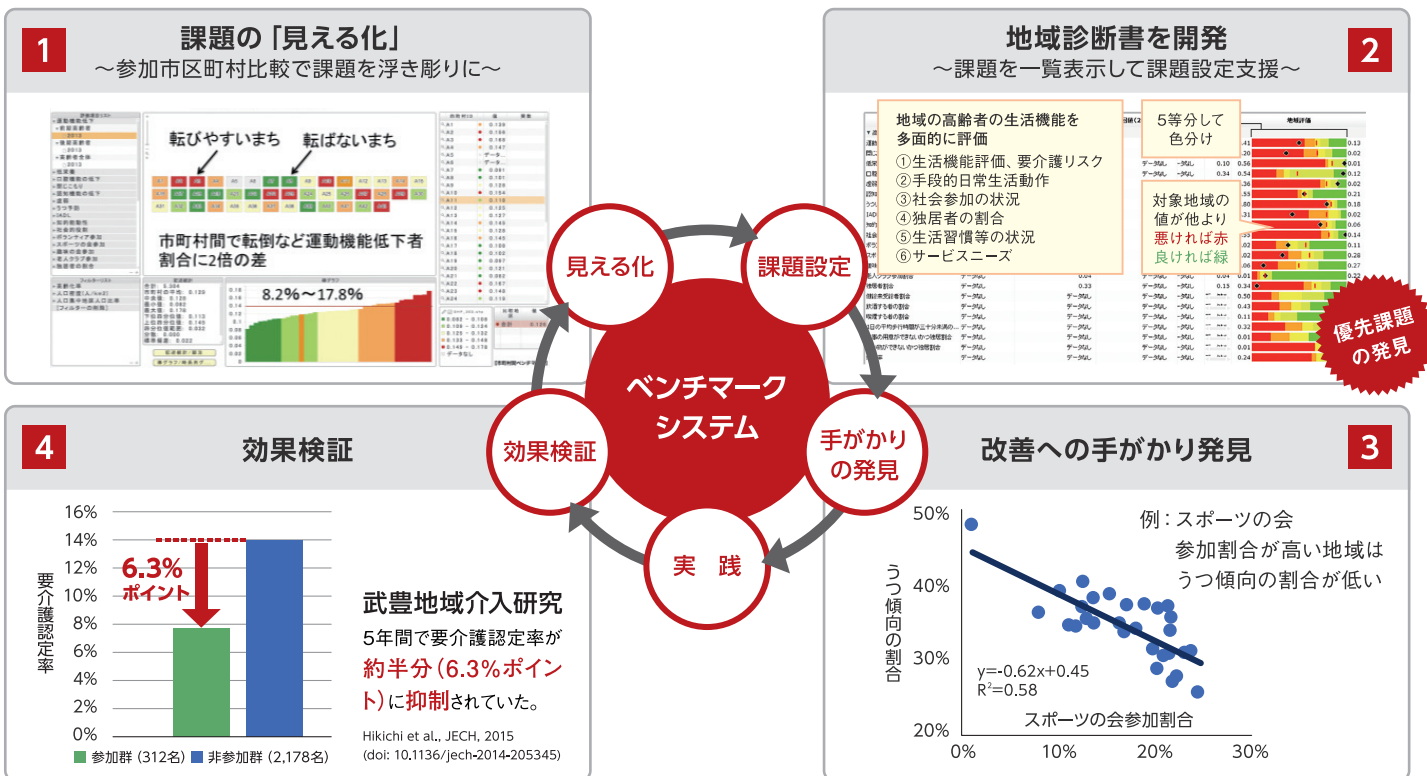
JAGES 2013/14  
参加市町村数30  
回答数…約13.8万人  
回答率…約70.8%

JAGES 2016/17  
参加市町村数40  
回答数…約20万人  
回答率…約69.5%



### 地域課題の解決に向けPDCAサイクルを回す取組み

JAGES研究班では、地域課題の「見える化」とベンチマークシステムで地域診断、介護予防に資する研究や地域の介護予防事業や健康づくり事業の効果検証によりPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回す支援を行います。



# 4

## 行政担当者の方へ

あらゆる世代の健やかな暮らしを支える  
 良好な社会環境を構築することにより、健康格差の縮小を実現する

健康日本21(第二次)厚生労働大臣告示

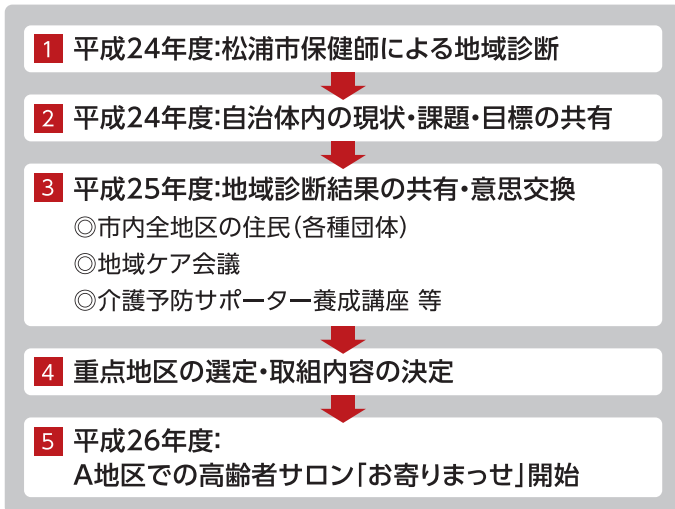
JAGES研究班は上記を地方公共団体が実行するための具体策の支援を行っています。

介護予防に関して、JAGES研究班の大規模調査は3年毎に行われ、  
 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と同様の項目を含み、介護保険計画の策定に役立てることができます。

日本各地で見える化とベンチマークシステムを活用した地域のマネジメントの仕組みにより、住民主体の取組みが始まっています。

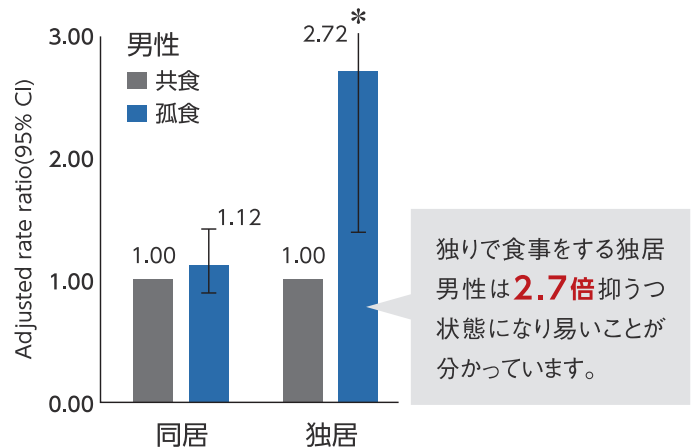
### 長崎県松浦市の取組み

地域診断により共食の取組みが始まりました。



### 愛知県名古屋市取組み

団地住民の孤立防止を目的に団地内でボランティアによる通いの場作りが行われ、お弁当の試食会等が行われました。

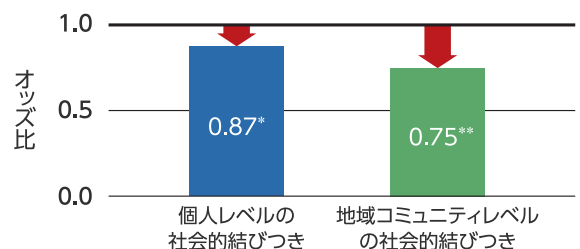


Tani et al. Age Ageing 2015 (doi: 10.1093/ageing/afv145)

### 災害に強いまちづくり

東日本大震災前の地域の結びつきが  
 外傷後ストレス障害 (PTSD) の発症を4分の3に抑制

地域の結びつきが強いと被災後のPTSDが少ないと明らかになったこと  
 により、地域の結びつきの強いまちづくりで「人間のレジリエンス」の高い、  
 災害に強いまちをつくれる可能性が示されました。



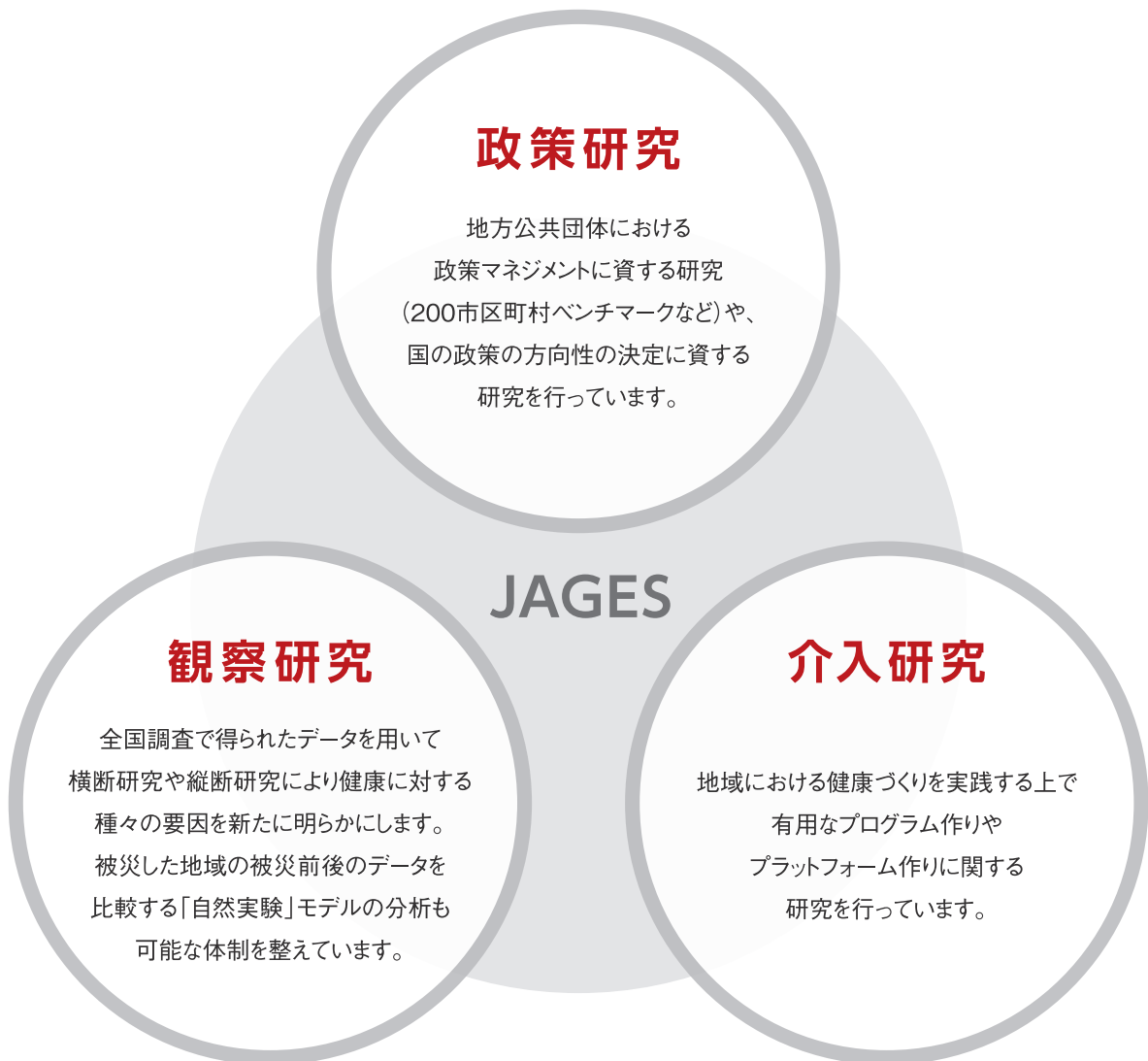
Hikichi H et al. Am J Epidemiol, 2016 (doi: 10.1093/aje/kwv335)

# 5

## 研究者の方へ

### JAGESプロジェクトで取り組む研究内容

JAGESプロジェクトでは、医歯薬学・栄養学・社会医学・社会学・心理学・体育科学・経済学・建築学他、様々な分野の研究者が一堂に集い分野横断的な研究を行っています。



JAGESプロジェクトは  
セミオープンデータ化しています

JAGESプロジェクトは、公的研究助成を受け市町村との共同研究として進められています。公的な財源で収集されたデータですので、プロジェクトの目的に沿う公益性が高い研究計画であれば、データ収集に関わらなかった研究者の方にも申請によりデータ利用をしていただく共同研究に取り組みます。

JAGES研究会

JAGESでは、毎月1回研究会を開催しています。研究内容等にご関心のある方はご参加ください。参加には登録が必要です。ご興味のある方は、[admin@jages.net](mailto:admin@jages.net) までご連絡ください。

JAGES研究班の研究成果は様々なメディアを通じて発信し、アドボカシー（社会還元や政策提言など）に努めております。

メディア  
掲載

## NHKスペシャル

2016年9月19日（月）放送

### 私たちのこれから #健康格差 あなたに忍び寄る危機

代表の近藤克則も出演し、  
大きな反響をいただきました。

市民参加型の討論番組「私たちのこれから」。番組の生投票には、過去最高の3万5千人を超える方が参加。「気になるボタン」投票は、89万回を超える反響、そしてツイッター・番組HPからは、放送中1万件に迫る質問・意見を頂きました。

番組ホームページより

#### ■ NHK ニュース (2015.12.21)

「高齢者の歩く割合増の地域ほど転倒の割合減」(長嶺由依子、横田千尋)

#### ■ 読売新聞 朝刊 (2015.12.22)

「被災高齢者3000人調査 近所付き合いでPTSD危険減」(引地博之)

#### ■ 毎日新聞 朝刊 (2016.1.8)

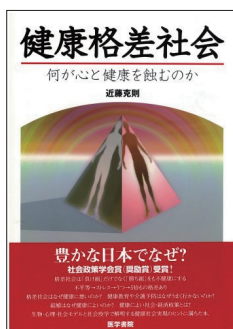
くらしナビ連載企画「家族2016弧をいきる」

「地域の人との支え合いが豊かであれば、うつ傾向の高齢者の割合は低くなる。近隣の人や友人との接触機会を増やす環境整備が、高齢者のうつ予防に必要と考えられる」(佐々木由理)

#### ■ 日本経済新聞 (2016.2.4)

「笑わないお年寄り」「健康状態良くない」1.5倍東大など調査」(林慧) その他多数

書籍



### 健康格差社会 医学書院 (2005/9/1)

格差社会はなぜ健康に悪いのか?健康教育や介護予防はなぜうまく行かないのか?結婚はなぜ健康によいのか?健康によい社会・経済政策とは?生物・心理・社会モデルと社会疫学で解明する健康社会実現のヒントに満ちた本。



### 健康格差社会への処方箋 医学書院 (2017/1/30)

社会・経済的因子による健康格差の実態とその生成機序を「健康格差社会」の言葉で明らかにし各界にインパクトを与えた著者が、その後の研究や社会の動向を見つめ、「どうすべきか」を示す「処方箋」。

格差の要因を示すだけでなく「格差対策に取り組むべきか」という判断の根拠をも提供し、その上で国内外で実証されつつあるマイクロ・メゾ・マクロレベルの戦略を紹介する。医療政策関係者や公衆衛生関係者にとって必読!の一冊。

## 厚生労働省、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、 日本学術振興会等からの研究助成

- 研究代表者:近藤克則、平成25年度厚生労働省老健局老人保健健康増進等事業  
課題名:「日常生活圏域ニーズ調査データを活用した地域診断支援システムの開発に関する調査研究事業」
- 研究代表者:竹田徳則、平成27年度 厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)  
課題名:「ポピュレーションアプローチによる認知症予防のための社会参加支援の地域介入研究」
- 研究代表者:近藤克則、平成28年度 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)  
課題名:「介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究」
- 研究代表者:尾島俊之、平成28年度厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)  
課題名:「認知症発生リスクの減少および介護者等の負担軽減を目指したAge-Friendly Citiesの創生に関する研究」
- 研究代表者:近藤克則、平成28年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構(パーソナルヘルスレコード(PHR)利活用研究事業)  
課題名:「介護予防政策へのパーソナル・ヘルス・レコード(PHR)の利活用モデルの開発」
- 研究代表者:近藤克則、平成27年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構(長寿科学研究開発事業)  
課題名:「地域づくりによる介護予防を推進するための研究」
- 研究代表者:近藤克則、平成23~27年度科学研究費補助金基盤研究A  
課題名:「社会的排除としてのwell-being格差とソーシャル・キャピタルの研究」

その他多数

## National Institutes of Health (NIH, 米国国立衛生研究所) からの研究助成

Department of Health and Human Services, National Institutes of Health, National Institute on Aging  
Research Grant Number 1R01AG042463-01A1.

Principal Investigator: Ichiro Kawachi.

Sub-contract Principal Investigator: Katsunori Kondo.

Project Title: Impact of social cohesion on functional recovery after earthquake and tsunami.

Project Period: 07/01/2013 - 06/30/2018.

.....

- Hikichi H, Aida J, Kondo K, Tsuboya T, Matsuyama Y, Subramanian S, Kawachi I : Increased risk of dementia in the aftermath of the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami. PNAS 2016 113 (45) E6911-E6918 doi: 10.1073/pnas.1607793113
- Yazawa A, Inoue Y, Fujiwara T, Stickley A, Shirai K, Amemiya A, Kondo N, Watanabe C, Kondo K: Association between social participation and hypertension among older people in Japan: The JAGES Study. Hypertension Research 2016 Jul 7. doi: 10.1038/hr.2016.78
- Tani Y, Fujiwara T, Kondo N, Noma H, Sasaki Y, Kondo K :Childhood socioeconomic status and onset of depression among Japanese older adults: The JAGES prospective cohort study. Am J Geriatr Psychiatry. 2016 Sep;24(9):717-26. doi: 10.1016/j.jagp.2016.06.001.
- Tani Y, Kondo N, Nagamine-Takahashi Y, Shinozaki T, Kondo K, Kawachi I, Fujiwara T :Childhood socioeconomic disadvantage is associated with lower mortality in older Japanese men: the JAGES cohort study. International Journal of Epidemiology, 2016, 1-10,doi: 10.1093/ije/dyw146,Original article.
- Hikichi H, Aida J, Tsuboya T, Kondo K, Kawachi I: Can Community Social Cohesion Prevent Posttraumatic Stress Disorder in the Aftermath of a Disaster? A Natural Experiment From the 2011 Tohoku Earthquake and Tsunami. Am J Epidemiol. 2016 May 15;183(10):902-10. doi: 10.1093/aje/kwv335.
- Yamamoto T, Aida J, Kondo K, Fuchida S, Tani Y, Saito M, Sasaki Y: Oral health and incident depressive symptoms: JAGES project longitudinal study in older Japanese. Journal of the American Geriatrics Society. Journal of the American Geriatrics Society, 2016 doi: 10.1111/jgs.14777
- Koyama S, Aida J, Saito M, Kondo N, Sato Y, Matsuyama Y, Tani Y, Sasaki Y, Kondo K, Ojima T, Yamamoto T, Tsuboya T, Osaka K : Community social capital and tooth loss in Japanese older people:a longitudinal cohort study. BMJ Open. 2016 Apr 5;6(4):e010768. doi: 10.1136/bmjopen-2015-010768.

他,国内外問わず多数

健康な  
体と心をつくる  
ヒント



皆さまにご協力いただいた  
研究成果をご報告します。



日本老年学的評価研究(JAGES)



# 日本老年学的評価研究 (JAGES<sup>※</sup>)とは？

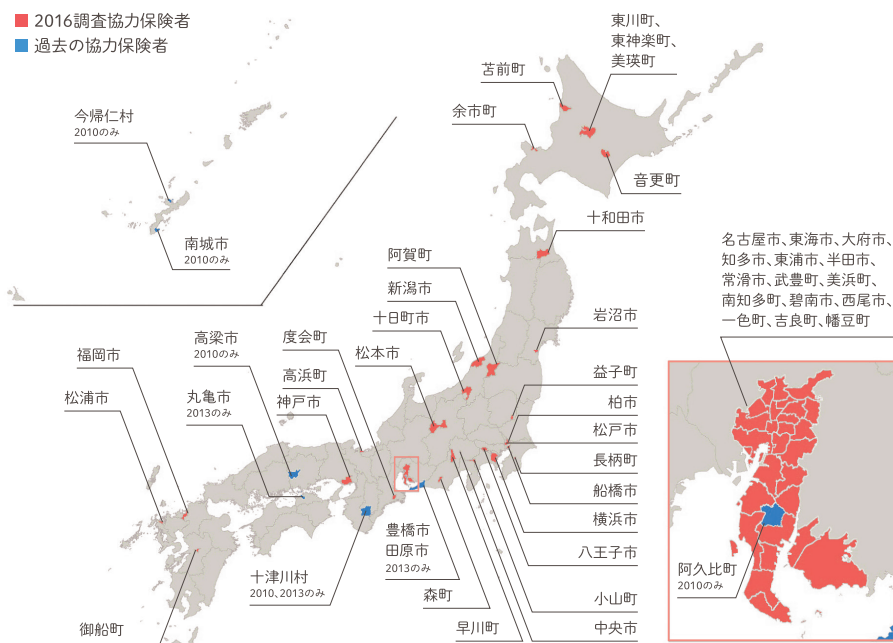
※Japan Gerontological Evaluation studyの頭文字

私たちは健康長寿を実現する“地域づくり”の秘訣を研究しています。

全国40以上の市町村で、約20万人の高齢者の調査をし、  
全国の大学や国立研究所などで分析に取り組んでいます。

皆さんが「健康で長生きをするためには？」についてだけでなく、  
「健康長寿のまちをつくるためには？」についても考えています。

日本老年学的評価研究(JAGES)調査フィールド



# 日本老年学的評価研究 (JAGES)のねらい

JAGESの目的は、世界一の健康長寿を誇る日本の  
高齢者の実態を多面的に描き出すことです。  
この研究を進めることで、以下の効果が期待されます。

## 健康を決める要因を明らかにする

運動・食事などの生活習慣、ストレスなどの心理的な要因のほかに、教育歴や所得のような社会・経済的な要因、地域の人間関係の豊かさなどの環境要因など、健康に関わる要因にはさまざまなものがあります。このような健康を決める要因を解明しています。

## 「健康格差」の実態を明らかにする

日本の高齢者において、社会経済的な要因や地域間における健康状態の格差(健康格差)が、どの程度見られるのかを明らかにし、「健康格差の縮小」をめざしています。

## 介護予防戦略の方向性を明らかにする

日本人の4人に1人以上が高齢者であるため、効果的な介護予防戦略を考える必要があります。要介護状態になりそうな人を見つけ出し、予防活動をする戦略だけでは限界があることがわかりました。そのため、地域住民全体を対象とした予防戦略の方向性を明らかにしています。

本冊子では、JAGESの研究成果から見えてきた  
**健康づくりのヒント** についてご紹介いたします。

## 健康に長生きする秘訣は、積極的に人と会うこと？

親戚や友人、ご近所の人など同居者以外の他者との交流が、「毎日頻繁」である人に比べ、「月1回～週1回未満」の人は1.3～1.4倍ほど要介護認定や認知症になりやすく、「月1回未満」の人は、さらに1.3倍ほど早く亡くなりやすいという結果がわかりました。ここでいう「交流」とは、直接会うことだけでなく、手紙や電話、メールなどで連絡を取り合うことも含まれています。

(斉藤雅茂ら. 日公衛誌2015)



健康づくりのヒート

親戚や友人、ご近所の人と交流を

## 運動は仲間とすると介護予防に効果的？

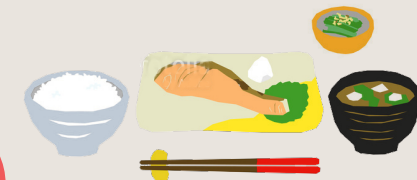
週1回以上の運動をしていても、1人でしか行っていない人は、運動の集まりに参加している人に比べ、要介護状態になる可能性が1.3倍高いことがわかりました。

(Kanamori et al. PLoS ONE 2012)

## 1人で食事をしているとうつになりやすい？

1人暮らしの男性は、1人で食事をしていると、誰かと一緒に食事をする人に比べ、2.7倍うつになりやすいことがわかりました。女性の場合は、1人暮らしでも誰かと暮らしていても、1人で食事をしていると1.4倍うつになりやすいことがわかりました。

(Tani et al. Age Ageing 2015)



健康づくりのヒート

運動や食事は、みんなと一緒に

## 「憩いのサロン」に行くと 活動的になる？

まちに開設された交流の場「憩いのサロン」に行き、談笑したり、みんなで体操などをしたりすることで、1年後に外出する機会が増えた人は47%、会話する機会が増えた人は62%いました。

(細川ら. 社医研 2016)

## 頻繁に参加すると 介護や認知症予防に？

「憩いのサロン」に頻繁に参加している人は、そうでない人と比べ、5年間のうちに要介護認定を受ける可能性が5割低く、7年間のうちに認知症になる可能性が3割低いことがわかりました。

(Hikichi et al. J Epidemiol Community Health 2015, Hikichi et al. Alzheimers Dement (NY) 2017)



健康づくりのヒート

まちにある交流の場「憩いのサロン」へ

## 「憩いのサロン」参加者の声

憩いのサロンに参加している方の感想を  
いくつかご紹介します。



参加者M・Sさん

人と人とのふれあいの場。知らなかった人たちと友達になり、サロンの参加が楽しみです。歌などは大きな声を出して歌うので、若くなった気分になります。



参加者T・Uさん

サロンに行き始めた頃、あまり腕が上がらなかったり、膝が痛かったりして大変でしたが、3年経ってすごくよくなり、感謝しています。毎月のサロンが楽しみです。



参加者A・Wさん

サロンへは初年度から欠かさず出席していますが、ボランティアの方がいつも楽しいことを計画してくださり、感謝しています。お茶タイムのおしゃべりも楽しく、健康で毎回参加できるのはとても幸せです。



ボランティアの方

初めてマイクを持ったとき、緊張で心臓が止まりそうでした。今はみなさんの笑顔に支えられ、サロンの日が待ち遠しく思えるようになりました。

「武豊町 憩いのサロン5周年記念誌」より抜粋・一部改変

## 集まりへの参加が 体を健康にする？

スポーツや趣味の会などの組織に参加している人は、そうでない人と比べ、歯の本数が1.3倍多いことがわかりました。また、月1回以上参加している人は、高血圧が約6%少ないことがわかりました。



(Takeuchi et al. PLoS ONE 2013, Yazawa et al. Hypertens Res 2016)

## 参加する組織が多いほど 要介護になりにくい？

複数の組織に参加している人ほど、4年間のうちに要介護状態になりにくいことがわかりました。種類別では、スポーツの会への参加で34%、趣味の会で25%、町内会・自治会で15%ほど要介護認定を受ける確率が低くなっています。

(Kanamori et al. PLoS ONE 2014)



健康づくりの  
ヒート

スポーツや趣味の会などに参加を

## 男性は役割を持つと うつになりにくい？

男性の場合、自治体など地域組織に参加している人は、していない人と比べ、3年後にうつになる可能性が5~6割少ないことがわかりました。さらに、参加の程度は同じくらいでも、組織の中で役割を持っている人がうつになる確率は、持っていない人の約7分の1であることがわかりました。

(Takagi et al. BMC Public Health 2013)

## 役割を持っている人は 長生きする？

地域組織に参加している人のうち、役員をしている人は、していない人と比べ、約5年間のうちに亡くなる確率が12%低いことがわかりました。

(Ishikawa et al. BMC Public Health 2016)



健康づくりの  
ヒート

地域組織で役割を持つのがおすすめ

## 交流が盛んな地域に住むと 歯の健康によい？

自治体などの組織に参加している人が多い地域に住むと、そうでない地域に住む人と比べ、個人の様々な状況を考慮した上でも、3年間のうちに歯を失う可能性が7%少ないことがわかりました。

(Koyama et al. BMJ Open 2016)



## 人の絆が強い地域に住むと 女性は介護予防になる？

女性の場合、助け合いや情報交換が活発な地域に住む人は、そうでない地域に住む人と比べ、個人の様々な状況を考慮した上でも、4年間のうちに要介護状態になりにくいことがわかりました。

(Aida et al. J Epidemiol Community Health 2012)

\*これら2つの研究から、人間関係が豊かな地域は住むだけで健康につながる可能性があるためそのような地域づくりが重要になります。



健康づくりの  
ヒント

人間関係が豊かな地域づくりに貢献を

ここまでご紹介してきた内容は、

調査にご協力いただいた皆さまのおかげで、  
研究成果として論文やメディアに発信することができています。

今後も皆さまの健康づくりのお役に立てる研究を

続けていきたいと思っておりますので、

引き続き、調査へのご協力をお願いいたします。

日本老年学的評価研究(JAGES)について、

さらに詳しく知りたい方はホームページをご参照ください。

<https://www.jages.net/>

NHKの番組に  
JAGES代表・近藤克則が出演  
大きな反響をいただきました

### 2016年9月19日(月) 放送 NHKスペシャル 「私たちのこれから #健康格差 あなたに忍び寄る危機」

市民参加型の討論番組NHKスペシャル「私たちのこれから」に、JAGESの代表・近藤克則が出演しました。番組の生投票には、過去最高の3万5000人を超える方が参加。「気になるボタン」投票は89万回を超え、ツイッターや番組ホームページからは、放送中1万件に迫る質問や意見をいただきました。